

ネクスペース コリドー 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結晶は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするが接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 本商品は、樹脂材を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れ、または破損する恐れがあります。
- 床板に工具等固いものを落としたりしないでください。破損する恐れがあります。
- 床板端部等でケガをしないように、軍手、安全靴を使用してください。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。

- 床板上・階段の手すりに乗ったり、揺すったりしないでください。
- 床板上の手すりに雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。
- 階段の手すりに電線などを直接載せないでください。
- 階段の手すりには転落防止機能はありません。防護柵としての使用はできません。



使用上のご注意について

- 床板上のパネルに鉢等をかける場合は、1枚当り5kgを越えないようにしてください。
- 夏場の直射日光下では、表面温度が高温になることがありますので、素足で歩かないようにしてください。必ず、スリッパ等の履物を使用してください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- 重い物や鋭利な物を引きずったり、落としたりしないでください。キズ、割れの原因となります。
- 床板・ポリカーボネートの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。



手すりの取付けについては、下記取付説明書を合わせて参照してください。

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

もくじ

施工前の確認.....	3	3. 階段の取付け.....	43
梱包明細.....	4	3-1 施工前の確認.....	43
各部の名称.....	6	3-1-1 階段踏板の種類.....	43
納まり図.....	8	3-1-2 施工前の確認.....	43
柱配置図.....	18	3-2 階段桁の組立て.....	43
1. 柱・桁の設置.....	19	3-3 階段手すり接続部品の取付け.....	45
1-1 桁の取付け.....	19	3-4 階段接続部品（ステアー側）の取付け.....	46
1-1-1 桁の加工（※階段を取付ける場合）.....	19	3-5 階段桁カバーの取付け.....	46
1-1-2 階段接続部品（コリドー側）の取付け.....	20	3-5-1 階段桁カバーの切出し.....	46
1-1-3 桁の組立て.....	21	3-5-2 階段桁カバーの取付け.....	46
1-2 手すり接続部品の取付け.....	23	3-6 階段の接続.....	47
1-2-1 手すり接続部品（正面側）の取付け.....	23	3-7 手すり柱（ステアー用）の取付け.....	48
1-2-2 手すり接続部品（妻面側）の取付け.....	24	3-8 踏板の取付け.....	49
1-3 ユニットの連結（※連結納まりの場合）.....	25	3-8-1 踏板の組立て.....	49
1-3-1 並列連結納まりの場合.....	25	3-8-2 踏板の取付け.....	50
1-3-2 直列連結納まりの場合.....	26	3-9 階段の設置.....	50
1-3-3 直列連結（出巾違い）納まりの場合.....	27	4. 手すりの取付け.....	51
1-3-4 直角連結納まりの場合.....	28	4-1 手すり柱控え金具の取付け.....	51
1-4 桁カバー・桁キャップの取付け.....	29	4-2 パネルの取付け.....	53
1-4-1 桁カバーの切出し.....	29	4-3 笠木の取付け.....	55
1-4-2 桁カバー・桁キャップの取付け.....	30	4-4 ワイヤーの取付け（※コリドー用の場合）.....	56
1-5 柱の設置.....	32	4-5 階段の設置（※手すりを取付ける場合）.....	58
1-6 手すり柱（コリドー用）の取付け.....	33	4-6 ワイヤーの取付け（※ステアー用の場合）.....	59
2. 床板の取付け.....	35	4-7 手すり柱カバーの取付け.....	60
2-1 施工前の確認.....	35	4-7-1 手すり柱カバーの加工.....	60
2-1-1 床板の種類.....	35	4-7-2 手すり柱カバーの取付け.....	60
2-1-2 床板取付金具について.....	35	■施工工事店様、販売店様へのお願ひ.....	60
2-1-3 取付イメージ図.....	36		
2-1-4 床板の切詰めについて.....	37		
2-1-5 再生木床の色について.....	37		
2-1-6 床板の水抜きについて.....	37		
2-2 床板の取付け.....	38		
2-2-1 床板取付位置の確認.....	38		
2-2-2 床板補強部品の取付け（※手すりを取付ける場合）.....	38		
2-2-3 床板の取付け.....	39		

施工前の確認

●施工前に確認してください。

水平・垂直・直角について

●水平・垂直・直角を、必ず正確に出して施工を行ってください。

セルフドリリングビスについて

- 本説明書では、セルフドリリングビスを直接打込む方法で説明しています。
- 先に下孔加工を行うことをお勧めします。特に樹脂材の場合、表面をきれいに仕上げることができます。
- 錆びの原因となりますので、セットビス以外を使用しないでください。

切詰め・下孔加工について

●本説明書に切詰め寸法および下孔加工位置寸法を説明していますが、現物合わせで寸法・位置を確認してください。

柱の埋め込みについて

- 柱を埋め込む場合は、地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように設置位置を決めてください。
- 埋込柱については、「納まり図」を参照し、位置をあらかじめ決めておいてください。

床板の水抜きについて

●床板の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため、躯体などから 10mm 以上のすき間をあけて床板を取付けてください。

手すりの取付けについて

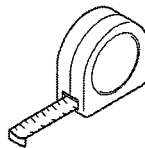
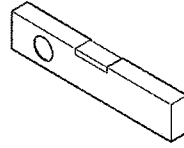
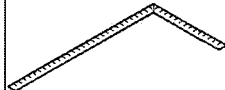
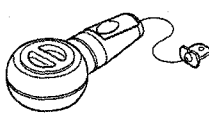
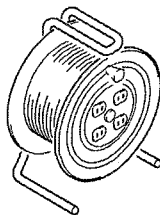
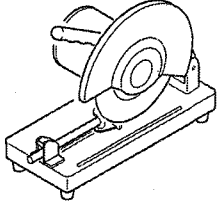
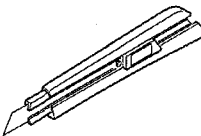
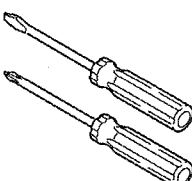
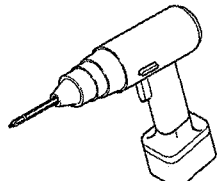
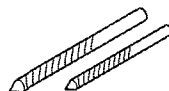
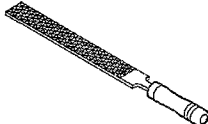
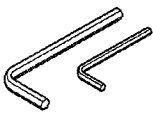
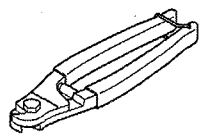
- 手すり柱およびパネル・ワイヤーの取付けについては、「4. 手すりの取付け」を参照してください。
- 手すり笠木の取付けについては、手すりおよび継手に梱包されている取付説明書を参照してください。

参照取付説明書

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

工具について

●本商品を施工するにあたり、以下の工具が必要となります。

巻尺（コンベックス）	水平器	差し金
5m 用 		
(赤) 墨つぼ	電気コード	サッシャー
		
カッターナイフ	ドライバー（＋／－）	電気ドライバー
		
ドリル刃	ヤスリ	六角棒スパナ
φ 4.5mm / φ 3.5mm 		8mm / 5mm 
ワイヤーカッター		
		
※手すりにワイヤーを取付ける場合のみ		

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包内容			梱包内容 ※表内の（ ）は個数を表しています。
コリドー (回廊)	柱	2本入り	柱本体 (2) ・ $\phi 5 \times 16$ トラストタッピン 3 種 (8) ・ アンカー棒 (2)
		3本入り	柱本体 (3) ・ $\phi 5 \times 16$ トラストタッピン 3 種 (12) ・ アンカー棒 (3)
	メイン桁	0.5 間用	メイン桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (20) 床板端部金具セット (1) [床板取付金具 (端部用) (2) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (5)] 取付説明書 [ME-2011] (1) ・ 取扱説明書 [MET-1055] (1)
		1.0 / 1.5 間用	メイン桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (25) 床板端部金具セット (1) [床板取付金具 (端部用) (2) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (5)] 取付説明書 [ME-2011] (1) ・ 取扱説明書 [MET-1055] (1)
	妻面桁	D900 / 1200 用	妻面桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (15) 桁ブラケットセット (1) [桁ブラケット (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8)]
		D1500 用	妻面桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (20) 桁ブラケットセット (1) [桁ブラケット (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8)]
	補強桁	0.5 間用	補強桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (10) 桁ブラケットセット (1) [桁ブラケット (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8)]
		1.0 / 1.5 間用	補強桁本体 (1) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (15) 桁ブラケットセット (1) [桁ブラケット (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8)]
	床板	透光床 再生木床	2 枚入り 床板本体 (2)
			3 枚入り 床板本体 (3)
	桁キャップセット		桁キャップ (2) ・ $\phi 4 \times 20$ 皿タッピン 2 種ガイド付 (4)
	直列連結部品		連結プレート A (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (4) ・ M8 用バネ座金 (4) ・ M8 用平座金 (4) ・ M8 用六角ナット (4) $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (4)
	並列連結部品		連結プレート B1 (2) ・ ジョイント B (4) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8) ・ M12 $\times$ 40 六角ボルト (4) M12 用バネ座金 (4) ・ M12 用平座金 (8) ・ M12 用六角ナット (4)
	直角連結部品		連結プレート B2 (2) ・ ジョイント A (2) ・ ジョイント B (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) M8 用平座金 (8) ・ M8 用六角ナット (8) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8) ・ M12 $\times$ 40 六角ボルト (4) M12 用バネ座金 (4) ・ M12 用平座金 (8) ・ M12 用六角ナット (4)
	デッキ材取付金具	20 個入り	デッキ材取付金具 (20) ・ $\phi 4 \times 13$ セルフドリリングビス (30) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (10) 目地巾調整治具 (1)
		30 個入り	デッキ材取付金具 (30) ・ $\phi 4 \times 13$ セルフドリリングビス (40) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (15) 目地巾調整治具 (1)
	床板端部金具セット※1		床板取付金具 [端部用] (4) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (10)
	デッキ材 小口キャップ	4 個入り	デッキ材小口キャップ (4) ・ $\phi 4 \times 14$ 皿タッピン 1 種 (8)
		10 個入り	デッキ材小口キャップ (10) ・ $\phi 4 \times 14$ 皿タッピン 1 種 (20)

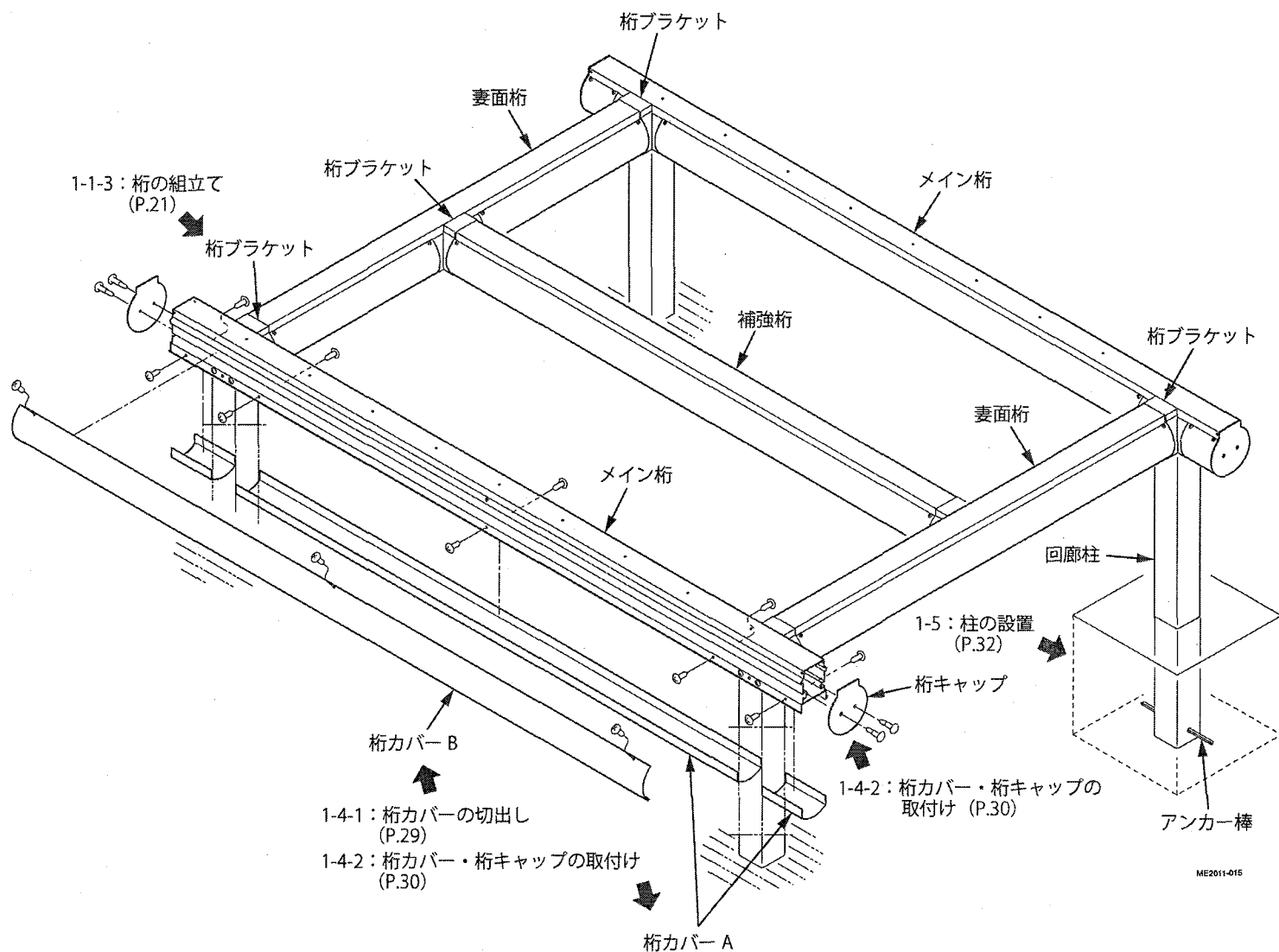
※1：メイン桁を分割して使用する際に必要です。【オプション】

梱包内容			梱包内容 ※表内の () は個数を表しています。
ステアー (階段)	階段桁	2 段 / 3 段	階段桁本体 (2) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (25) 回廊ジョイントセット (1) [ジョイント A (2) ・ 回廊ジョイント (2) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (4) ・ M8 用バネ座金 (4) M8 用平座金 (4) ・ M8 用六角ナット (4) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (4) ・ M5 $\times$ 16 トラストタッピン 3 種 (12) M12 $\times$ 40 六角ボルト (2) ・ M12 用バネ座金 (2) ・ M12 用平座金 (4) ・ M12 用六角ナット (2)]
	踏板	透光踏板 再生木踏板	踏板本体 (1)
	階段用部品箱	2 段用	踏板受材 (4) ・ 踏板上部ブラケット (4) ・ 踏板下部ブラケット (4) ・ $\phi 5 \times 12$ 緩み止め付皿小ネジ (32) M8 $\times$ 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) ・ M8 用六角ナット (8) $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8) ・ M6 $\times$ 15 アップセットボルト (16) ・ M6 用バネ座金 (16) M6 用平座金 (16) ・ 踏板取付裏板 (8)
		3 段用	踏板受材 (6) ・ 踏板上部ブラケット (6) ・ 踏板下部ブラケット (6) ・ $\phi 5 \times 12$ 緩み止め付皿小ネジ (48) M8 $\times$ 20 六角ボルト (12) ・ M8 用バネ座金 (12) ・ M8 用平座金 (12) ・ M8 用六角ナット (12) $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (12) ・ M6 $\times$ 15 アップセットボルト (24) ・ M6 用バネ座金 (24) M6 用平座金 (24) ・ 踏板取付裏板 (12)
手すり	手すり柱	コリドー用 ステアー上部用 ステアー下部用	手すり柱本体 (1) ・ ブラケット受け材セット (1) [ブラケット受け材 (1) ・ M6 $\times$ 15 アップセットボルト (2) M6 用平座金 (2) ・ M6 用バネ座金 (2)] ・ $\phi 4 \times 20$ トラストタッピン 3 種 (12)
	コリドー用手すり接続部品 A		回廊手すりブラケット A (1) ・ 手すり接続部材 A (1) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 $\times$ 25 セムスボルト (12) 接続部材カバー (上・下各 1) ・ 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ 接続部材カバー当て板 (1) 接続部材隙間ふさぎ (2) ・ $\phi 4 \times 20$ ナベタッピン 2 種ガイド付 (2) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (4) $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (2)
	コリドー用手すり接続部品 B		回廊手すりブラケット B (1) ・ 手すり接続部材 B (1) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 $\times$ 25 セムスボルト (8) 桁キャップ [手すり取付用] (1) ・ M4 $\times$ 12 皿小ネジ (1) ・ 接続部材カバー (上・下各 1) 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (2)
	ステアー用手すり接続部品 R		階段手すりブラケット R (1) ・ 手すり接続部材 A (1) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 $\times$ 25 セムスボルト (12) 接続部材カバー (上・下各 1) ・ 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ 接続部材カバー当て板 (1) 接続部材隙間ふさぎ (2) ・ $\phi 4 \times 20$ ナベタッピン 2 種ガイド付 (2) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (4) $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (2) ・ 手すり柱控え金具 A (1) ・ 控え金具裏板 (2) M5 $\times$ 20 トラス小ネジ (4) ・ M5 用平座金 (4) ・ $\phi 4 \times 30$ ナベセルフドリリングビス (2)
	ステアー用手すり接続部品 L		階段手すりブラケット L (1) ・ 手すり接続部材 A (1) ・ M8 $\times$ 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 $\times$ 25 セムスボルト (12) 接続部材カバー (上・下各 1) ・ 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ 接続部材カバー当て板 (1) 接続部材隙間ふさぎ (2) ・ $\phi 4 \times 20$ ナベタッピン 2 種ガイド付 (2) ・ $\phi 4 \times 13$ ナベセルフドリリングビス (4) $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (2) ・ 手すり柱控え金具 A (1) ・ 控え金具裏板 (2) M5 $\times$ 20 トラス小ネジ (4) ・ M5 用平座金 (4) ・ $\phi 4 \times 30$ ナベセルフドリリングビス (2)
	手すり柱控え金具 A		手すり柱控え金具 A (1) ・ $\phi 4 \times 30$ ナベセルフドリリングビス (10) ・ M4 用平座金 (4) $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (12)
	手すり柱控え金具 B		手すり柱控え金具 B (1) ・ $\phi 4 \times 30$ ナベセルフドリリングビス (6) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (12)
	床板補強部品 A		床板補強部品 A (2) ・ 床板補強部品 B1 (4)
	床板補強部品 B		床板補強部品 B2 (1)
	コリドー用ワイヤーセット		ロープテンショナー用片端子付ワイヤー [L=3530] (2) ・ ロープテンショナー (2) ・ テンショナー用取付座金 (4) テンショナー台座 [回廊用] (4) ・ M6 $\times$ 14 六角ボルト (4) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8) テンショナー取付専用スパナ (1) ・ ロックフリー (1)
	ステアー用ワイヤーセット		ロープテンショナー用片端子付ワイヤー [L=745] (2) ・ ロープテンショナー (2) ・ 自在座金 (4) テンショナー台座 [階段用] (4) ・ M6 $\times$ 25 キャップボルト (4) ・ $\phi 4 \times 16$ ナベセルフドリリングビス (8) テンショナー取付専用スパナ (1) ・ ロックフリー (1)
	手すり パネル	コリドー用	手すりパネル本体 (1) ・ パネル部品セット (1) [パネルブラケット (4) ・ $\phi 4 \times 8$ トラストタッピン 3 種 (4) $\phi 4 \times 10$ トラストタッピン 3 種 (4)]

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※ () 内は説明ページを示しています。

●床下構造体 (ユニット)



ME2011-015



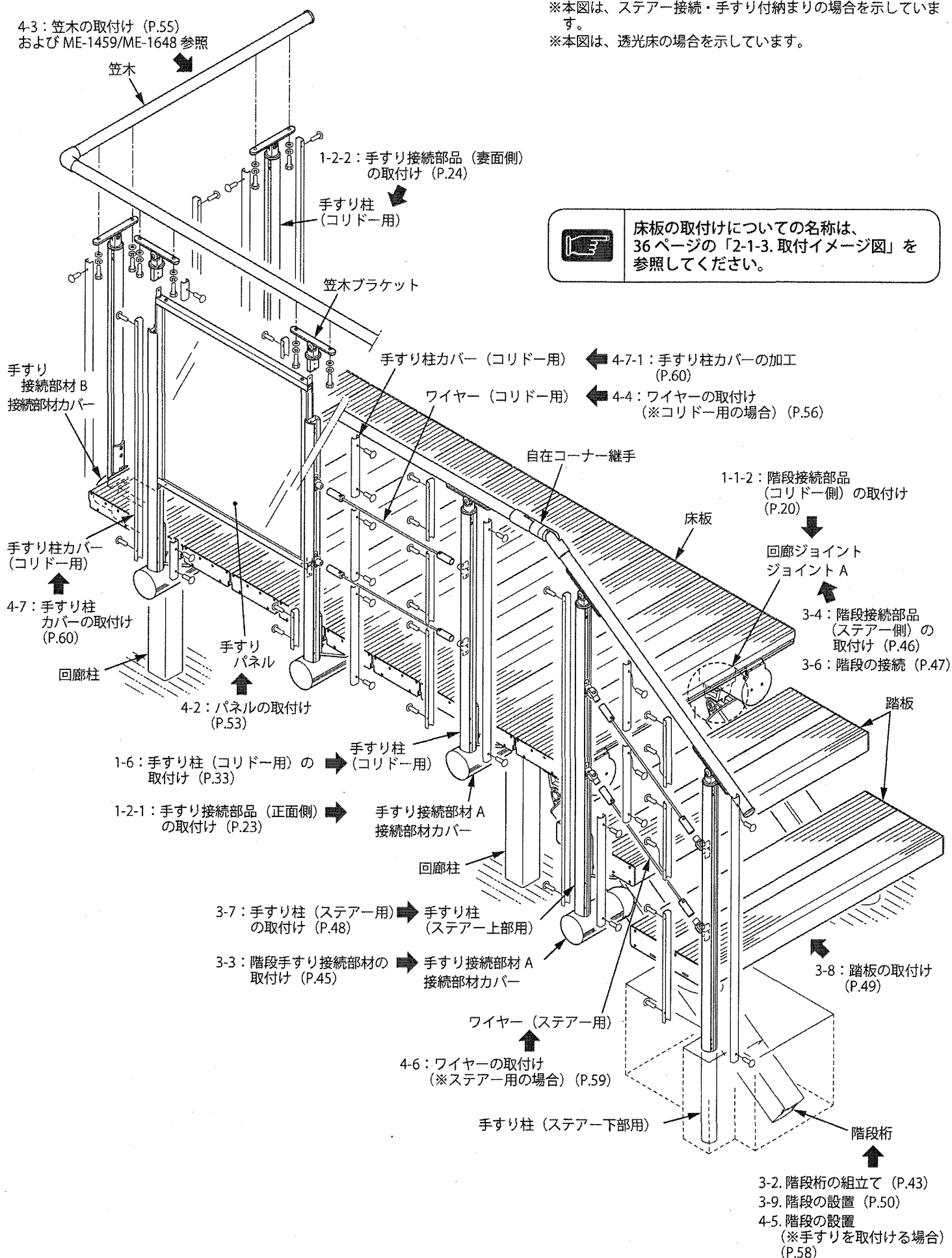
連結納まりの場合は、納まりによって接続部品・施工内容が異なります。詳細については「1-3. ユニットの連結」を参照してください。

※本図は、出巾 D1500・間口 1.0 間の単体納まりの場合を示しています。

4-3: 笠木の取付け (P.55)
および ME-1459/ME-1648 参照

※本図は、ステアー接続・手すり付納まりの場合を示しています。

※本図は、透光床の場合を示しています。



納まり図

ME2011-001

基本納まり図

※本図は、間口 1.0 間・出巾 D1200 の透光床の場合を示しています。

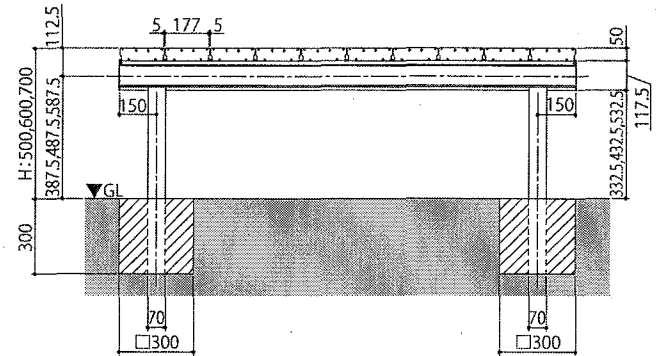
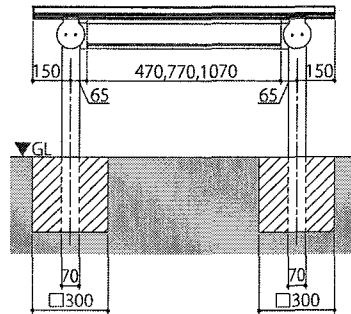
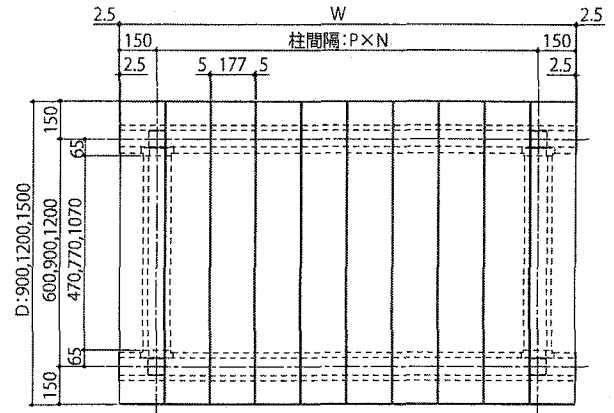


柱の位置および桁の連結の詳細は、「柱配置図」で確認してください。

●寸法一覧表

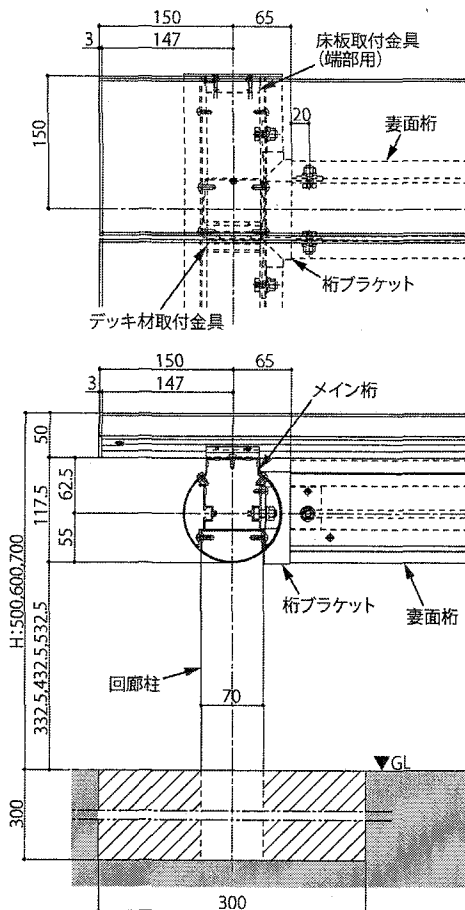
(mm)

間口	W	P	N
0.5 間	910	610	1
1.0 間	1820	1520	1
1.5 間	2730	1215	2



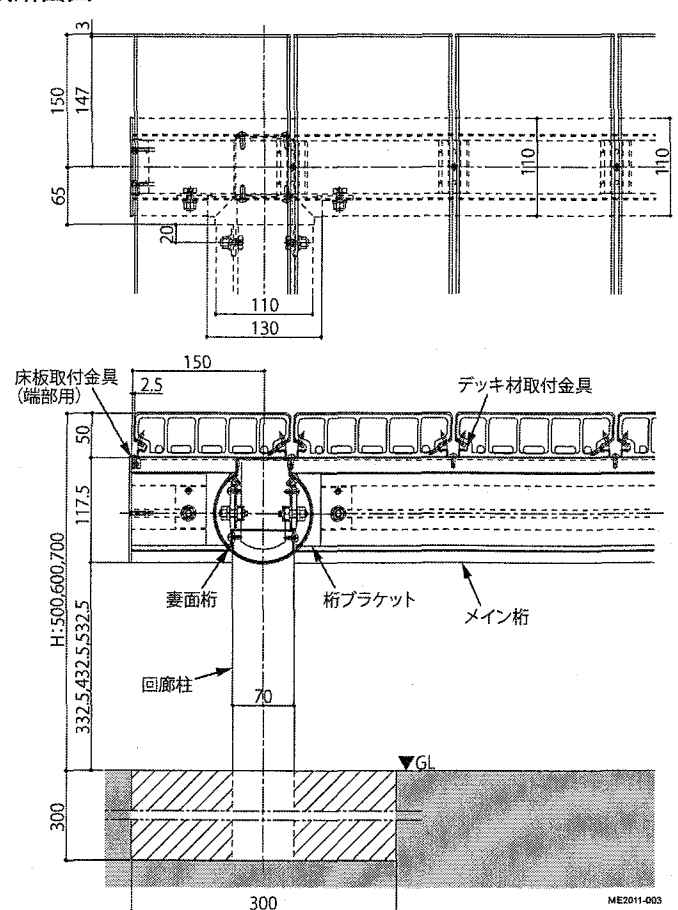
基本断面図

●縦断面図



●横断面図

※本図は、再生木床の場合を示しています。

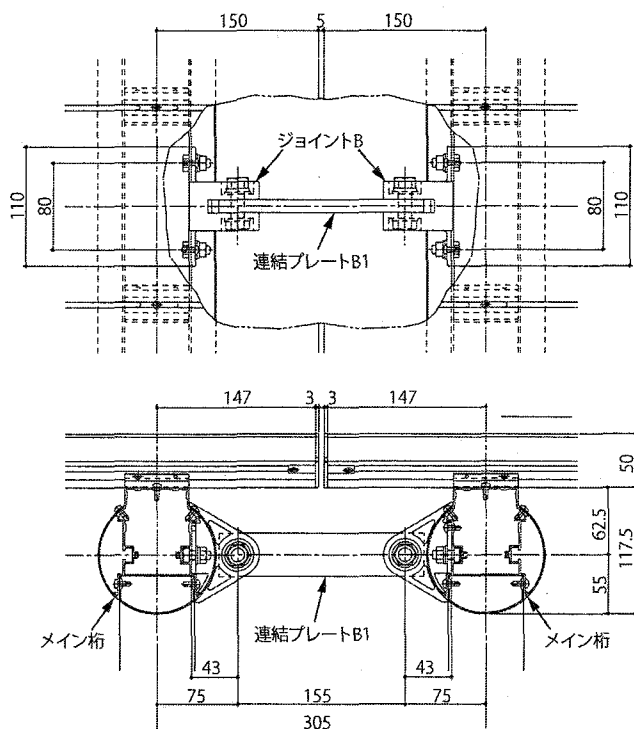


ME2011-002

ME2011-003

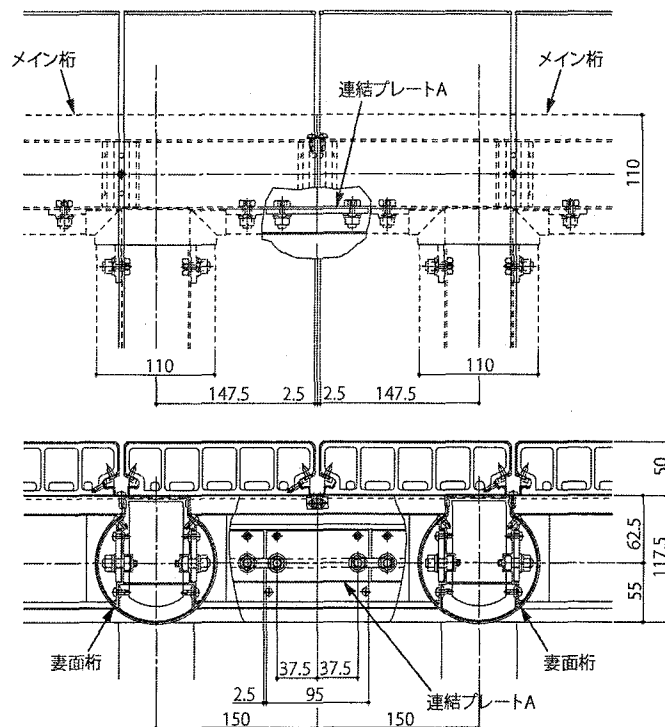
連結納まり断面図

●並列連結納まり



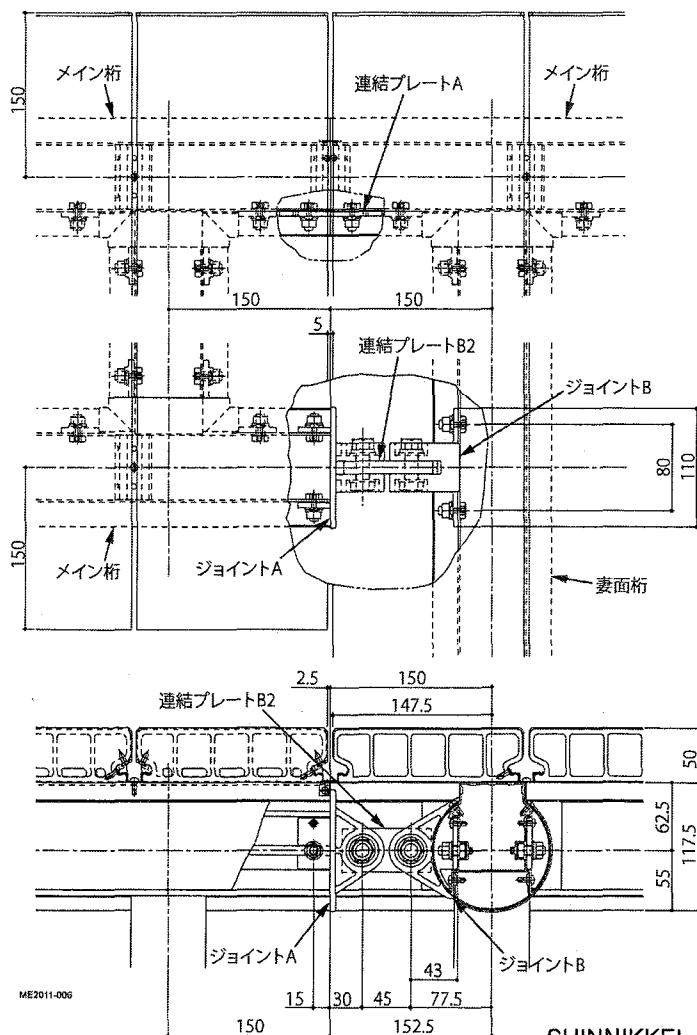
ME2011-004

●直列連結納まり



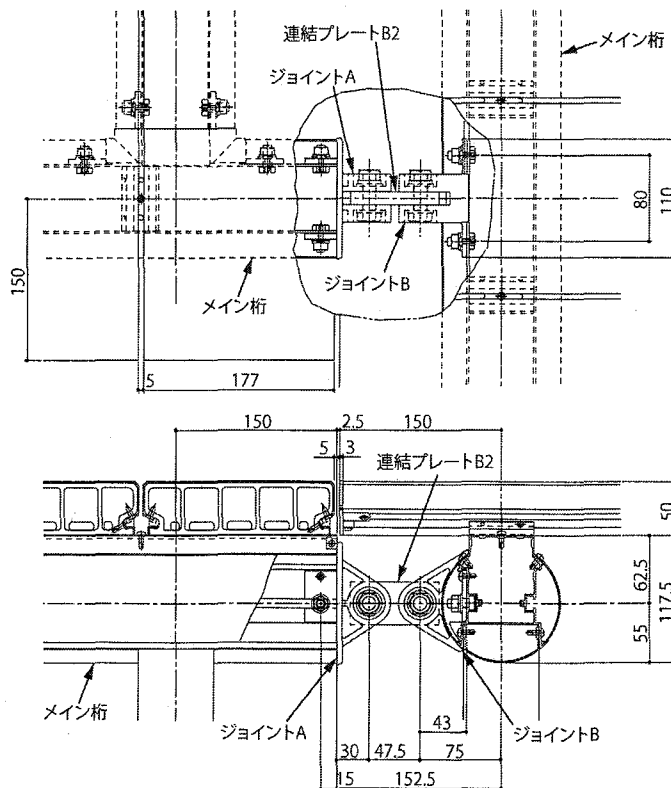
ME2011-005

●直列連結（出巾違い）納まり



ME2011-006

●直角連結納まり



ME2011-007

※本図は、再生木床の場合を示しています。

手すり付納まり

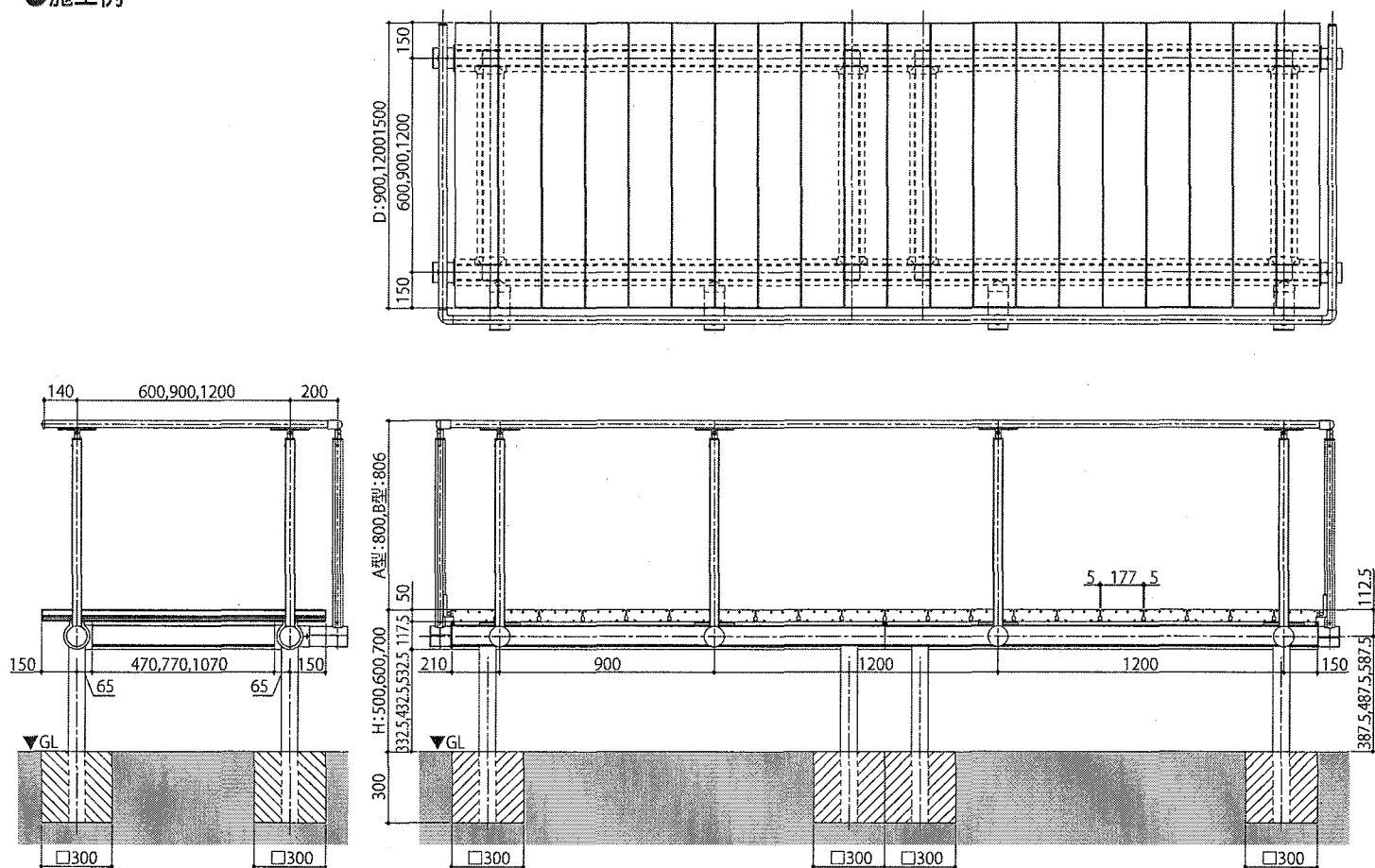


手すりのピッチについては、下記取付説明書を合わせて参照してください。

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

●施工例

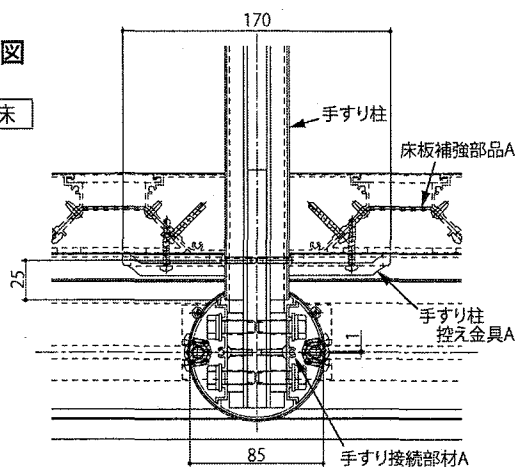
ME2011-013



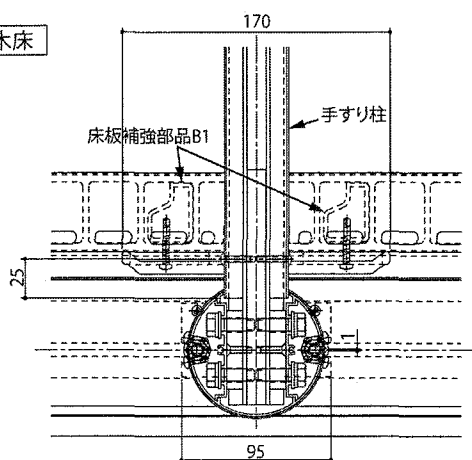
※本図は、直列連結・手すり付納まりの場合を示しています。
 ※本図は、透光床の場合を示しています。

●正面側断面図

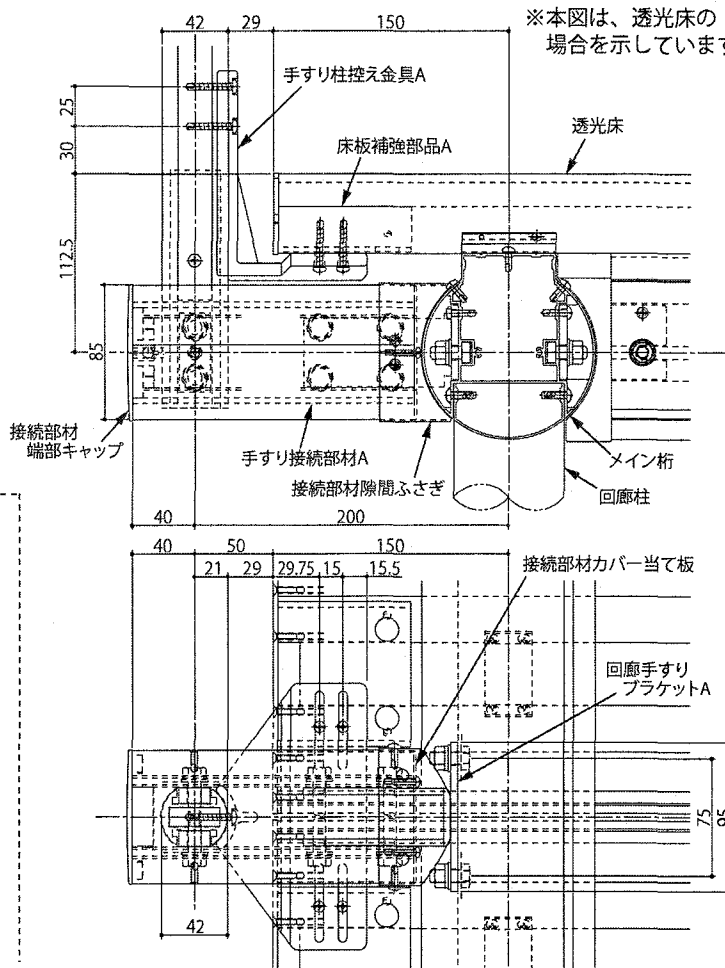
透光床



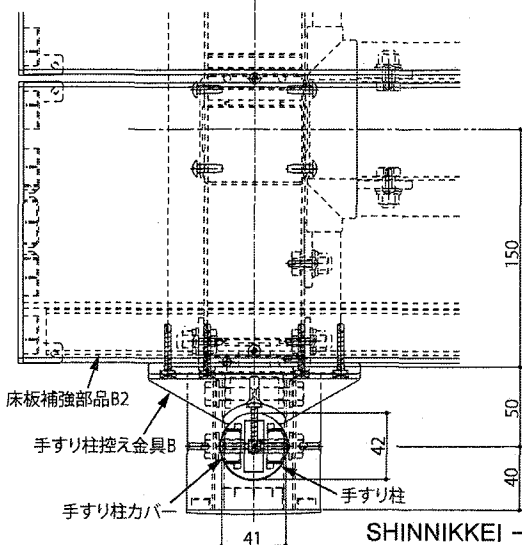
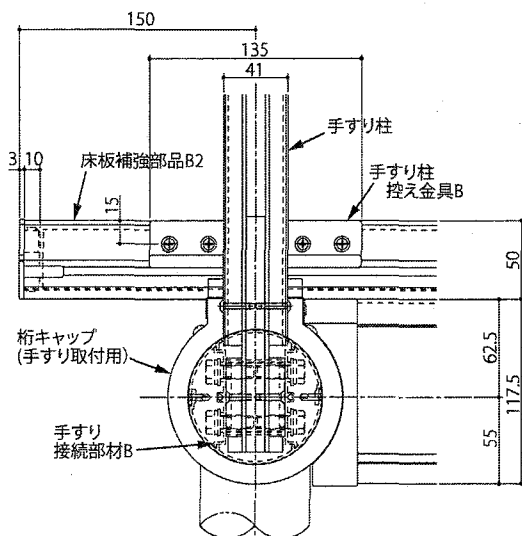
再生木床



※本図は、透光床の場合を示しています。

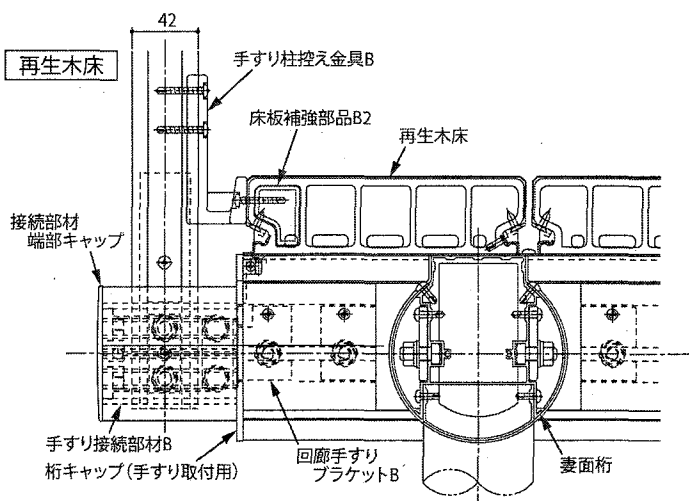


●妻面側断面図

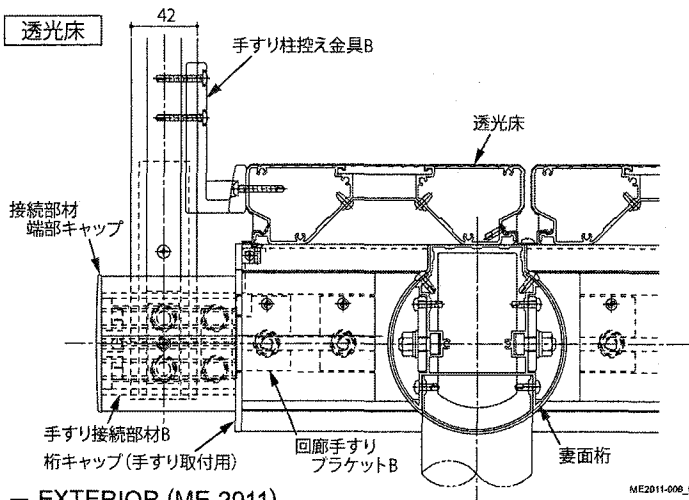


※本図は、再生木床の場合を示しています。

再生木床



透光床



ステアー（階段）接続納まり



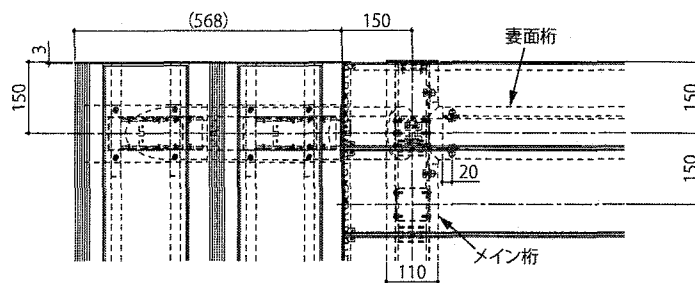
階段は正面側・妻面側のどちらにも取付けることができます。

●寸法一覽表

(mm)

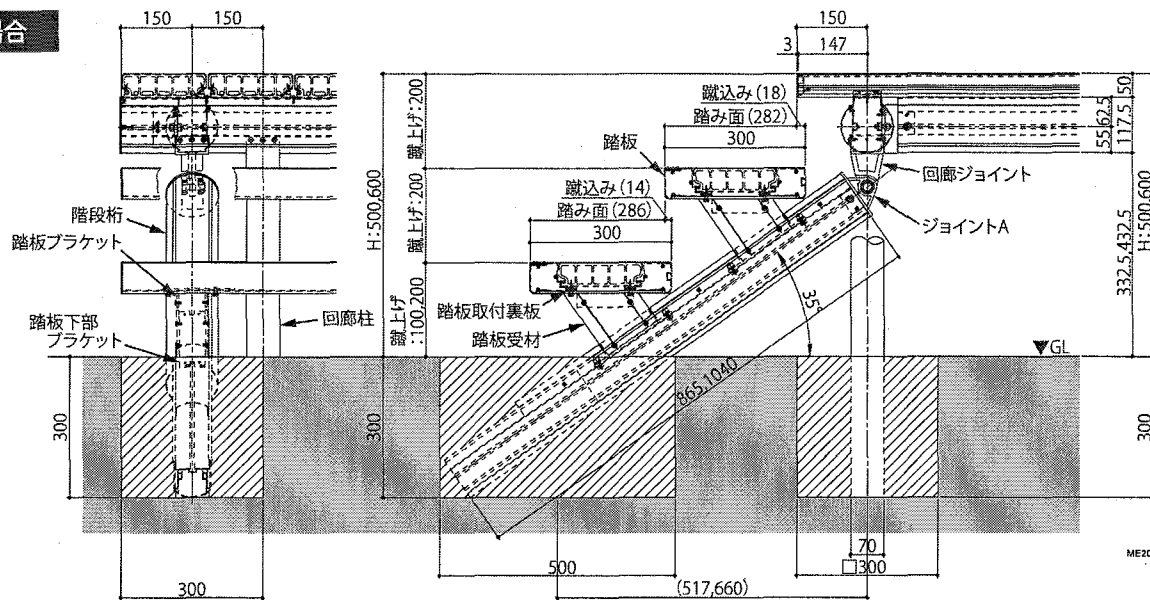
H	対応段数
500	2
600	
700	3

※本図は、再生木踏板の場合を示しています。

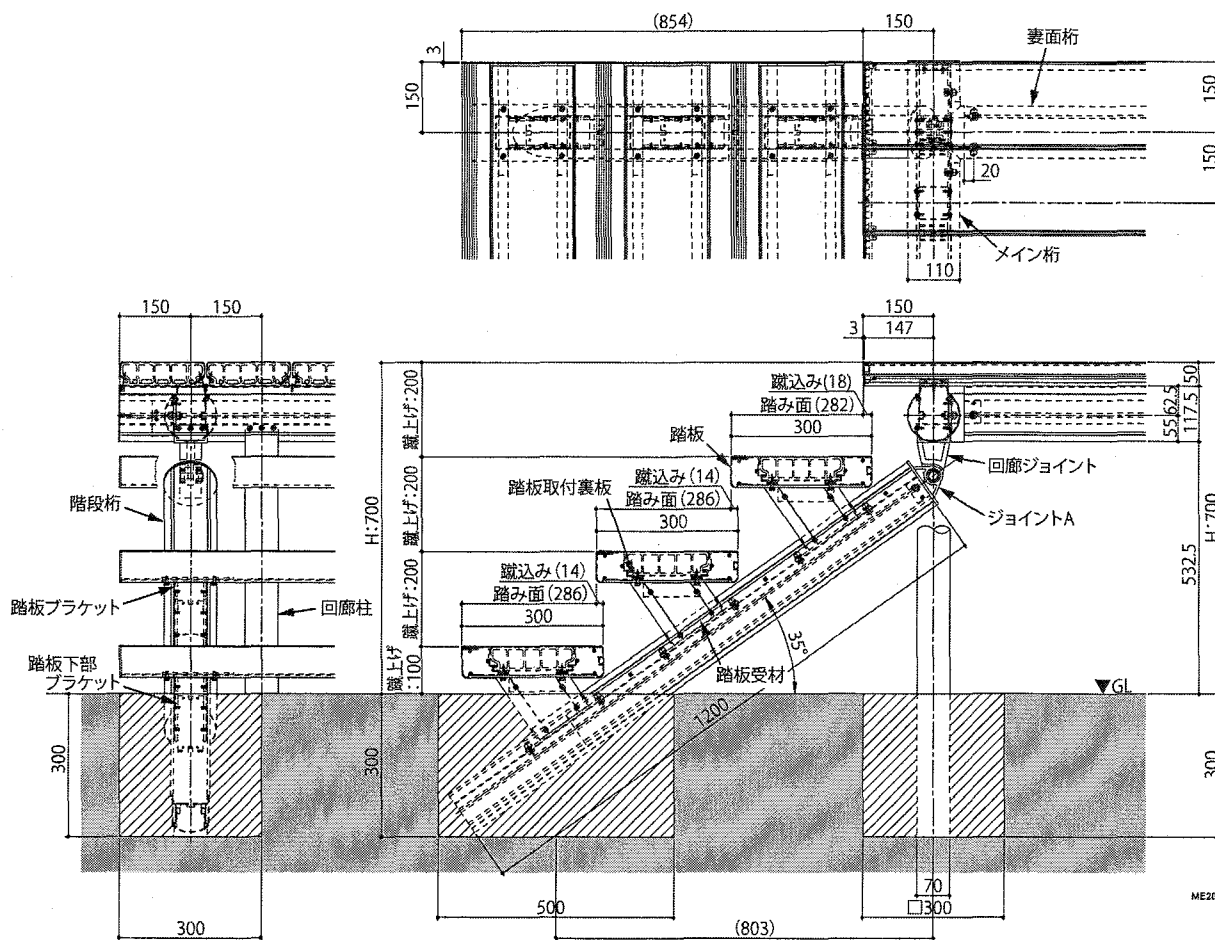


正面側に取り付ける場合

● 2 段納まり



● 3 段納まり

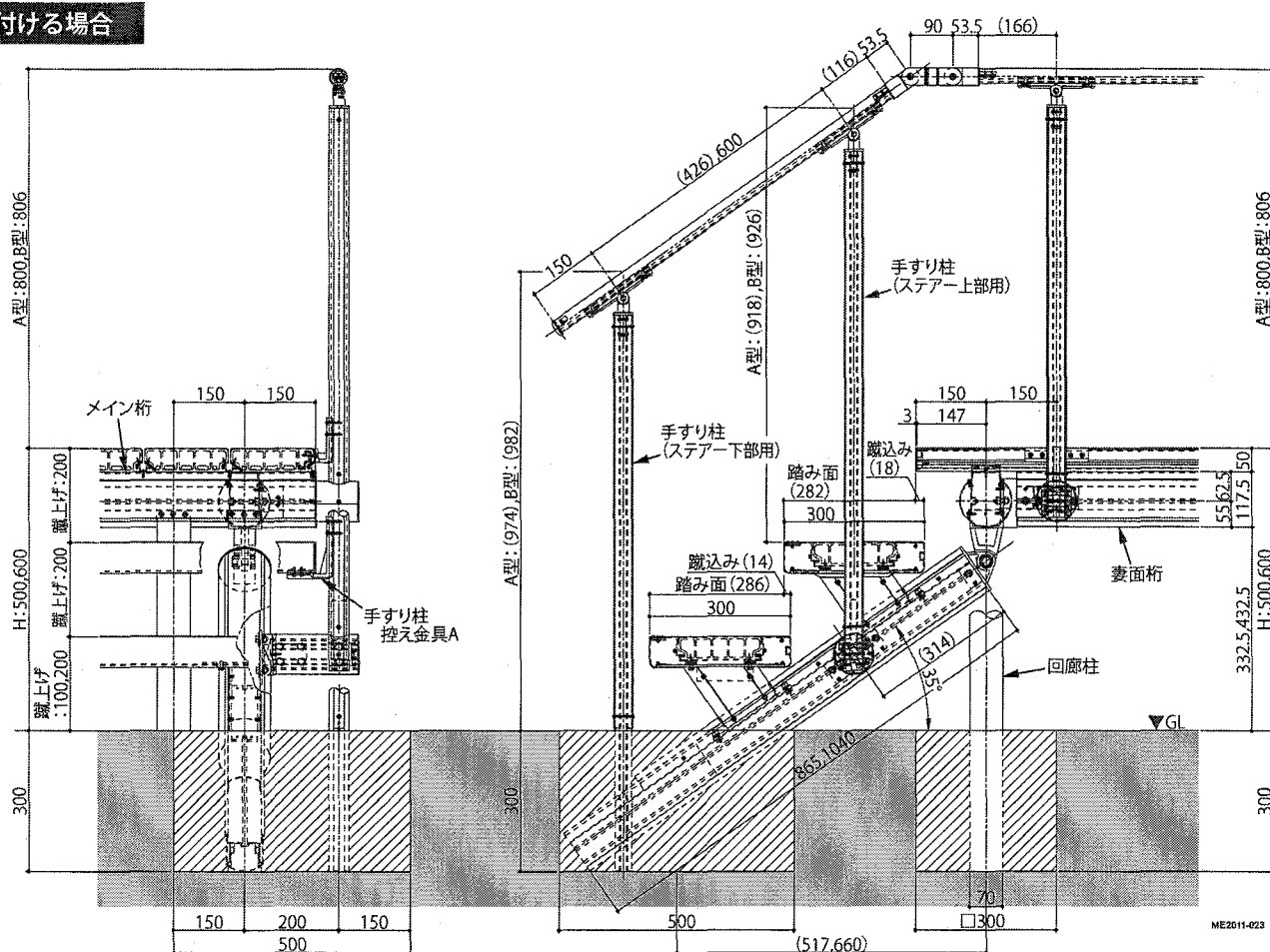


ステアー（階段）接続・手すり付納まり

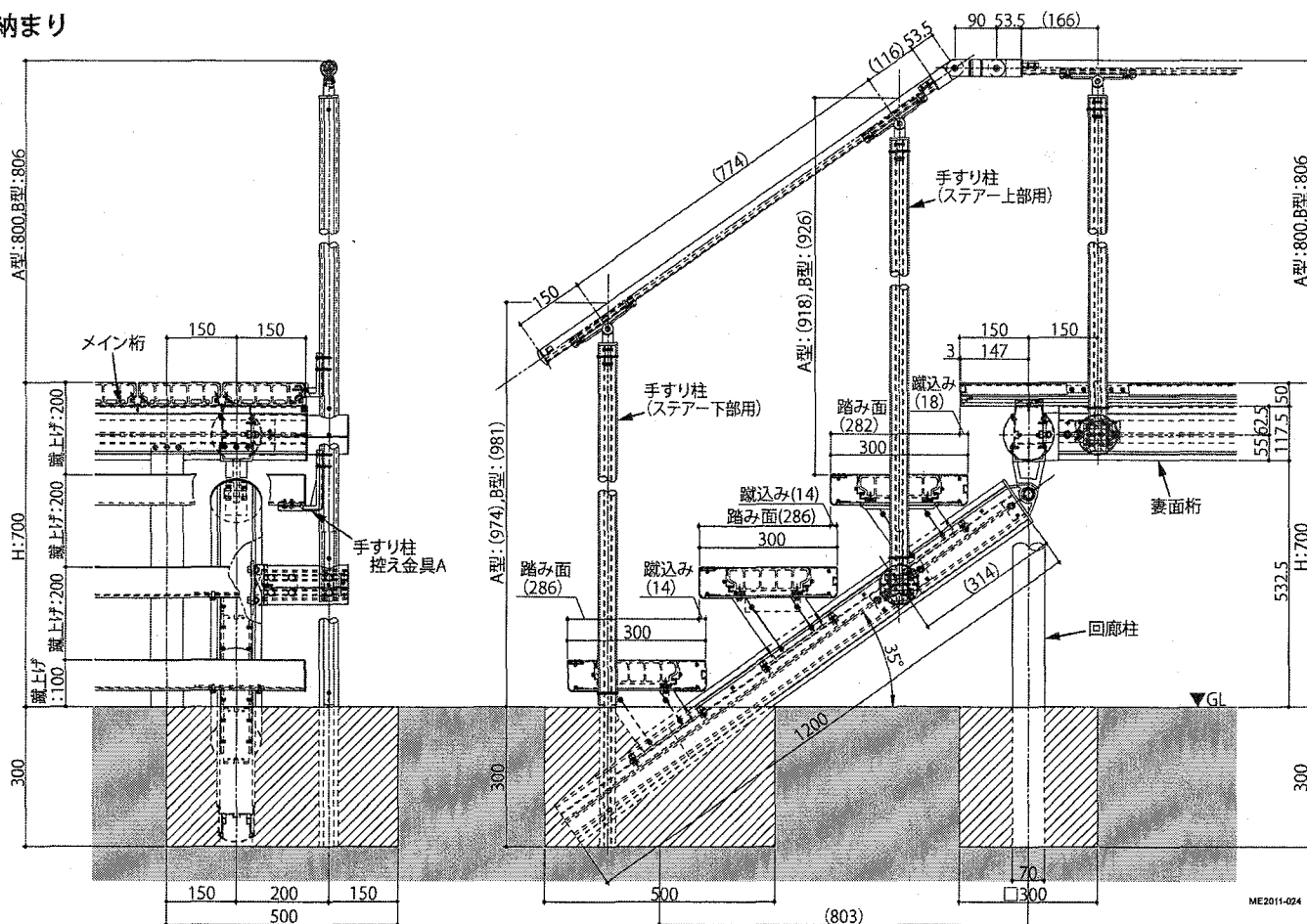
※本図は、再生木踏板の場合を示しています。

正面側に取付ける場合

● 2 段納まり

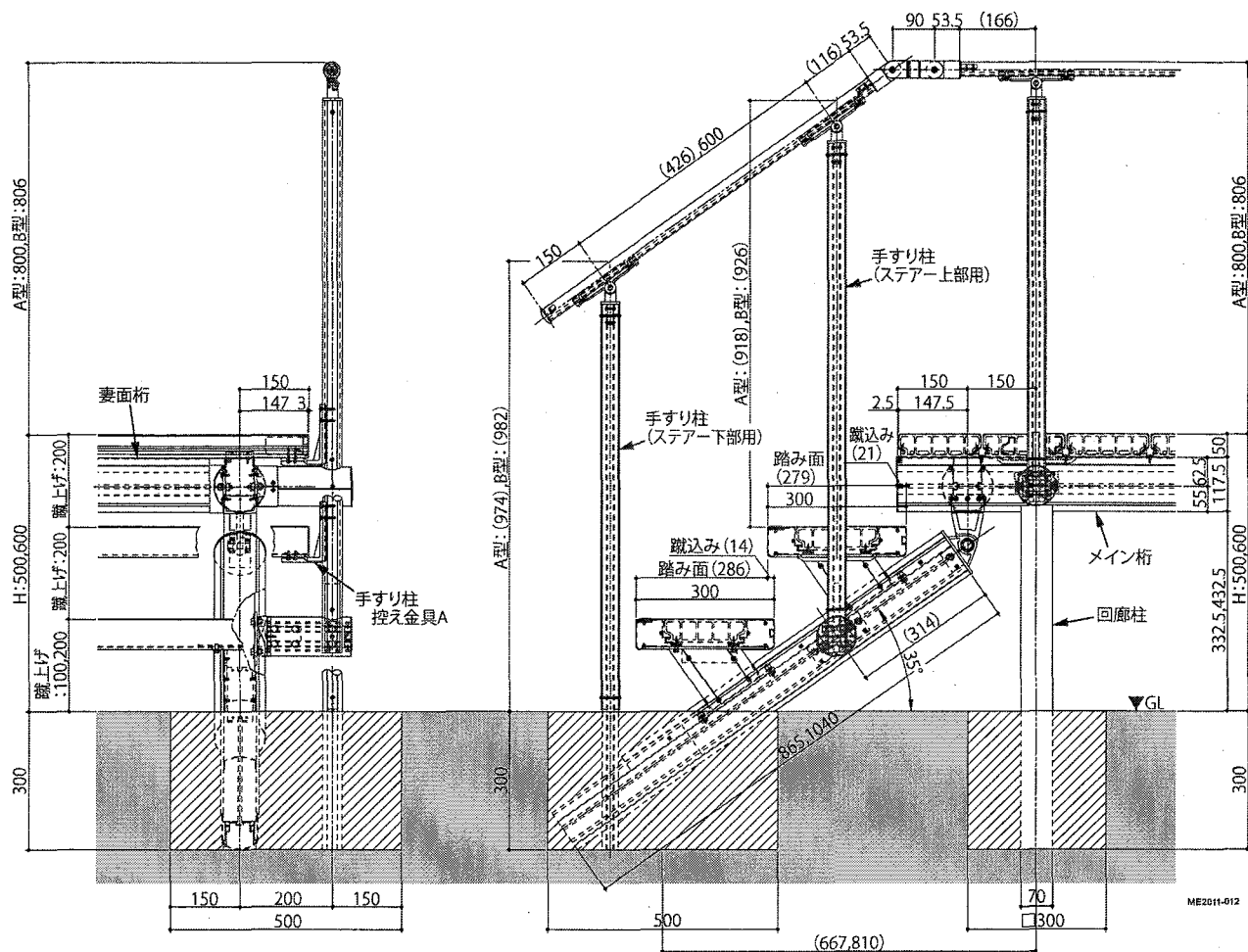


● 3 段納まり

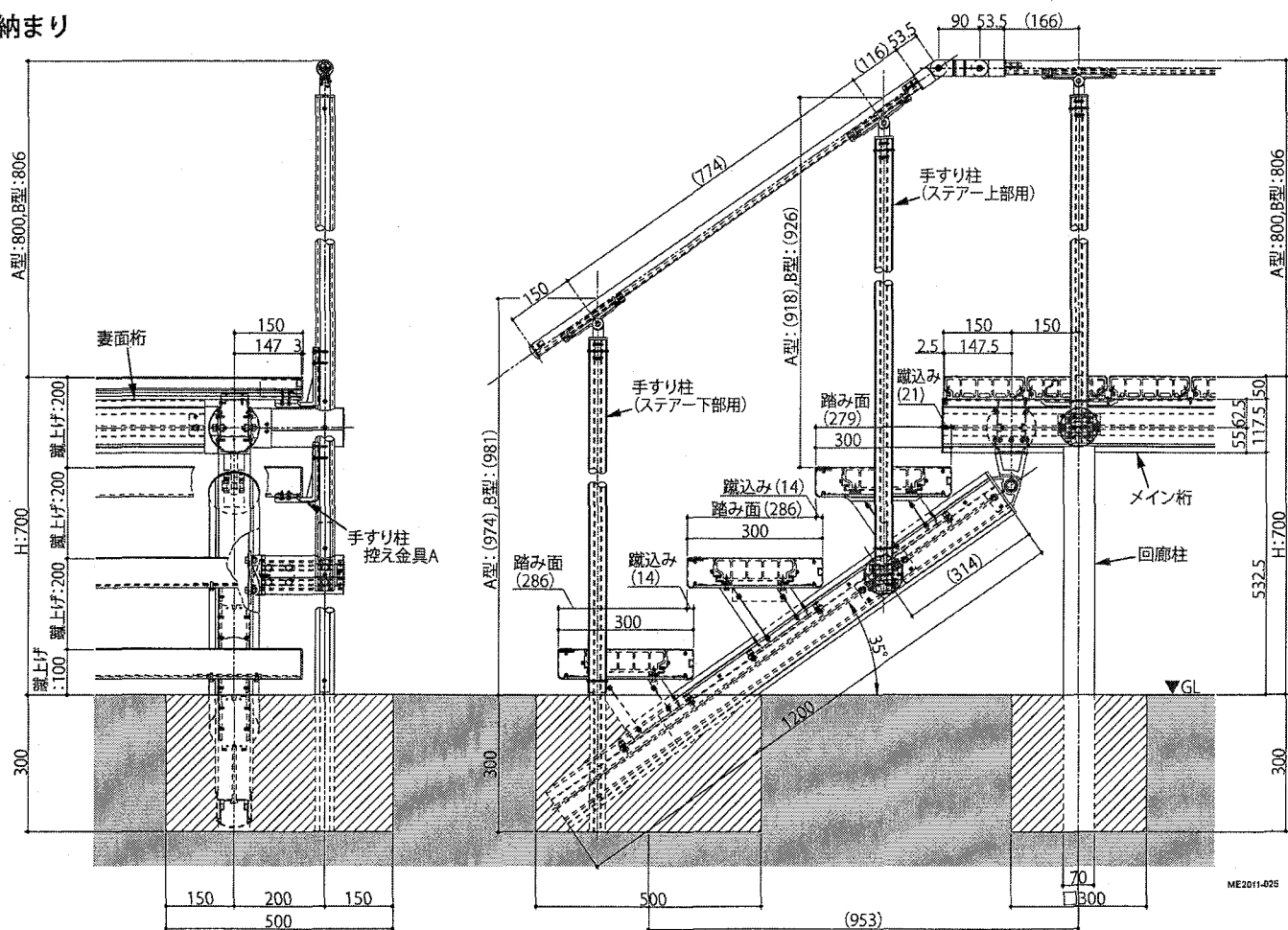


妻面側に取付ける場合

● 2 段納まり



● 3 段納まり

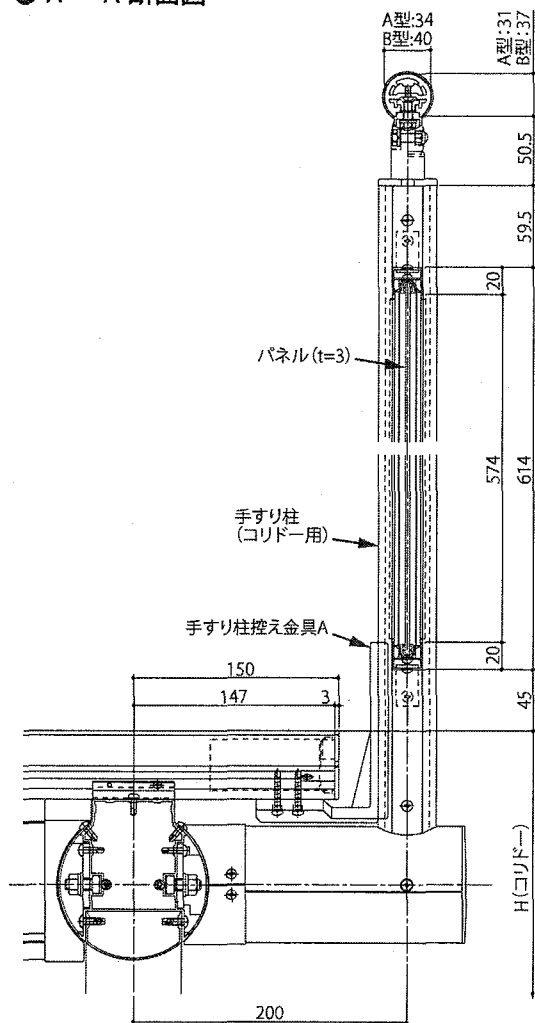


手すり付パネル納まり

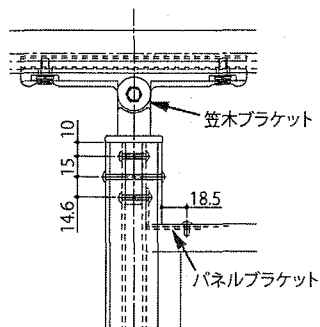


パネル納まりはコリドー用のみです。

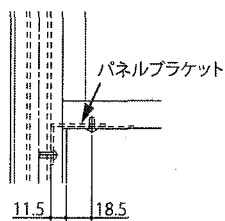
● A - A 断面図



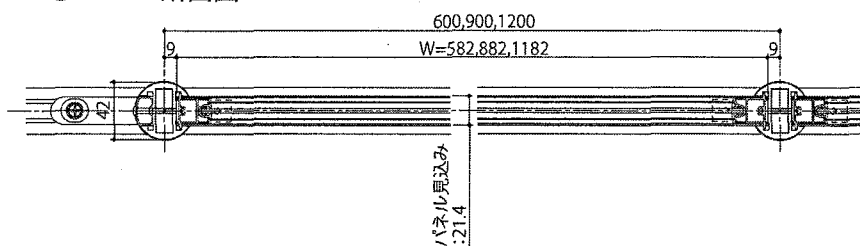
● C 部詳細図



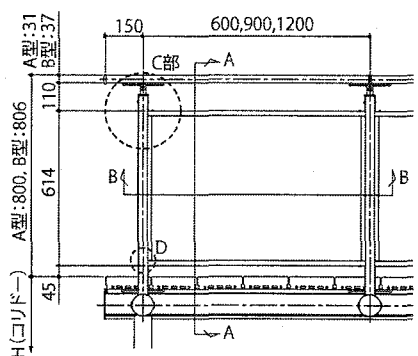
● D 部詳細図



● B - B 断面図



● 姿図



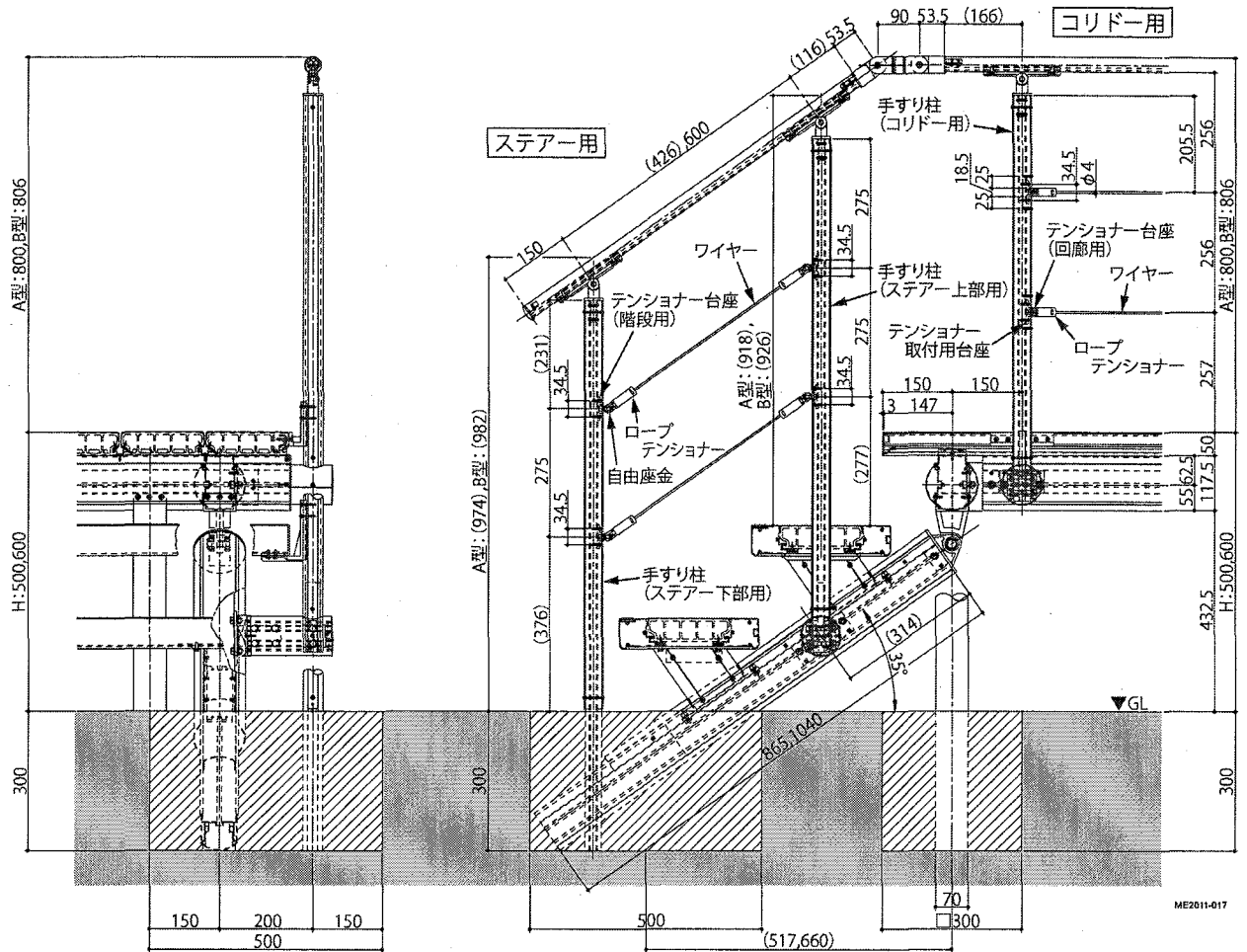
ME2011-018

ME2011-018

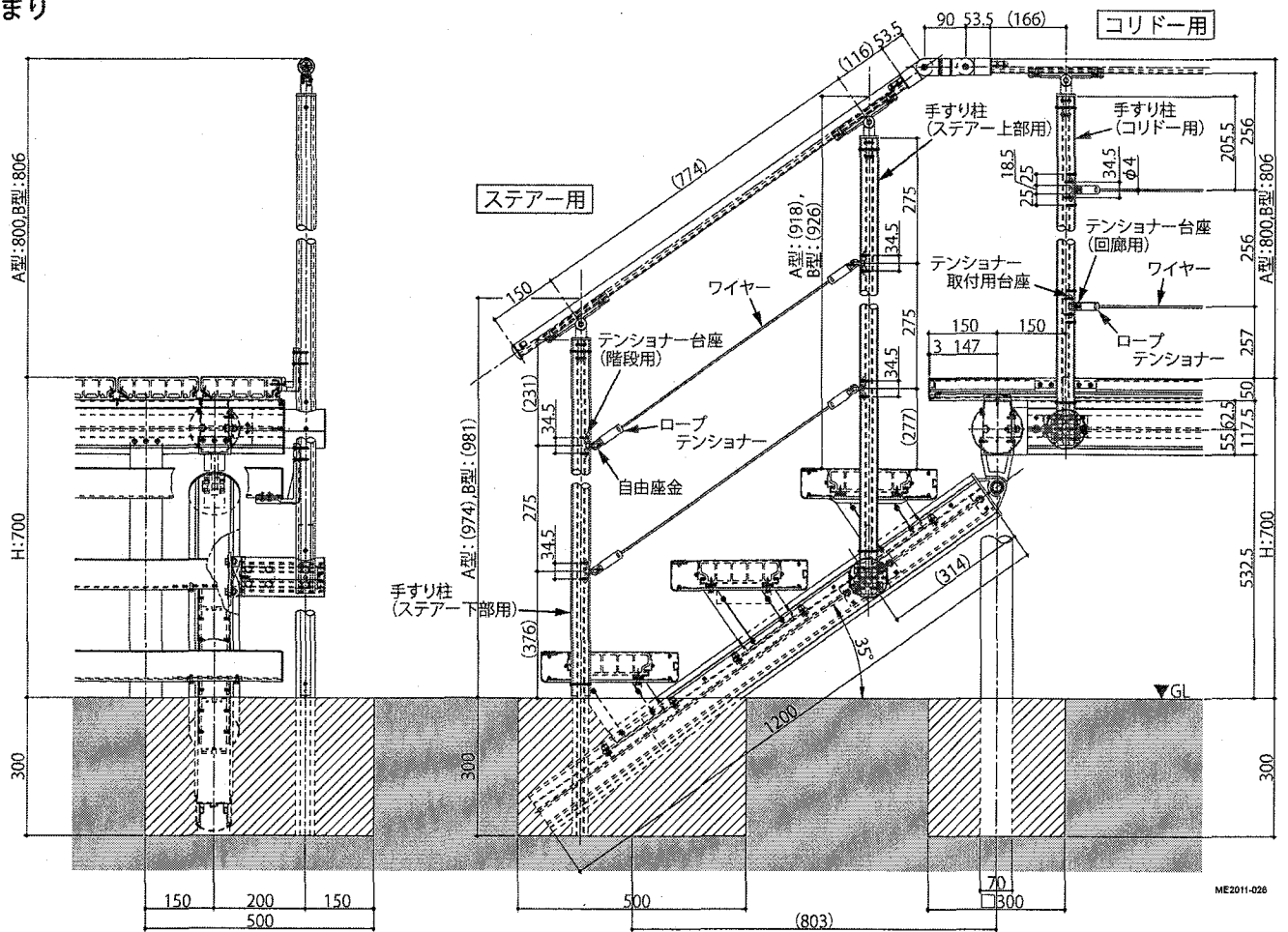
手すり付ワイヤー納まり

※本図は、正面側に階段を取付ける場合を示しています。
※本図は、再生木踏板の場合を示しています。

● 2 段納まり



● 3 段納まり



柱配置図

- ここでは標準納まりの場合を示しています。
- 完成プランによって、柱位置をずらして設置する場合があります。
納まり図で確認してください。

	0.5 間	1.0 間	1.5 間
D 900			
D 1200			
D 1500			

1

柱・桁の設置

1-1 桁の取付け

1-1-1 桁の加工（※階段を取付ける場合）



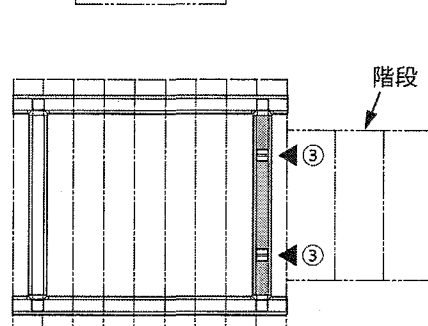
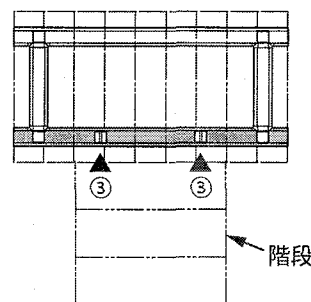
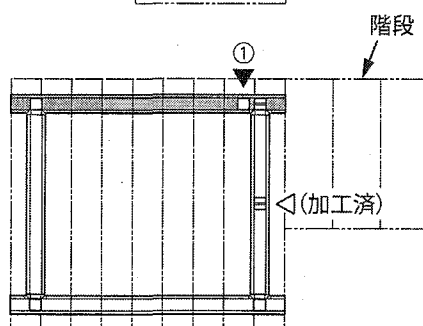
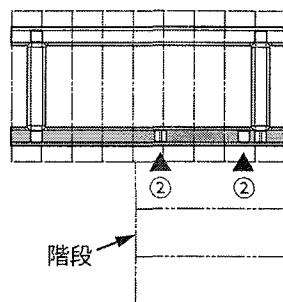
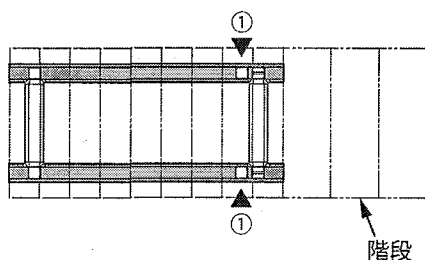
階段を取付ける場合に参照してください。



階段取付プランによっては、柱移動が必要となります。事前に完成プランを確認してください。

●階段取付プラン

- ：加工の必要な桁
- ▼：加工箇所
- ：柱位置
- 日：回廊ジョイント取付位置



①メイン桁または妻面桁に下孔をあけてください。



階段取付プランを確認して、桁に該当する加工パターン①～③を行ってください。

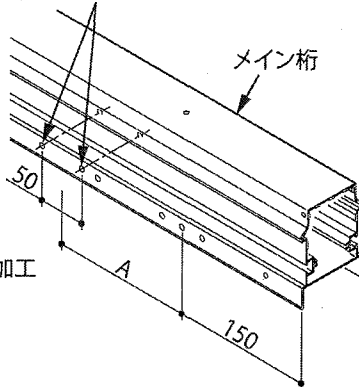
●寸法一覧表

(mm)

階段出巾	A (柱用)	B (階段用)
900	150	600
1200		900
1500		1200

加工パターン①

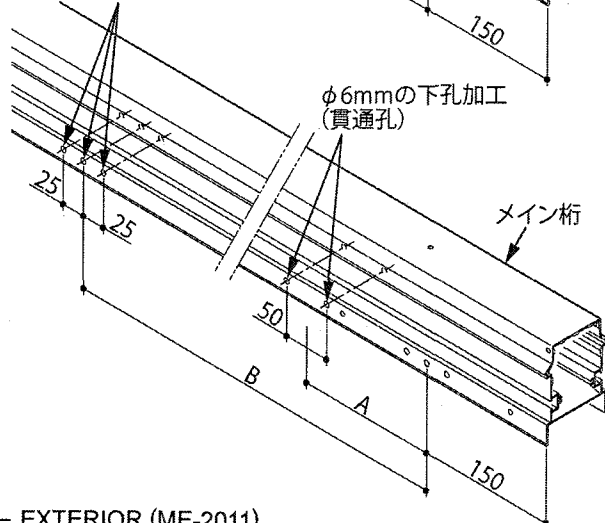
φ6mmの下孔加工(貫通孔)



加工パターン②

φ6mmの下孔加工(貫通孔)

φ6mmの下孔加工(貫通孔)





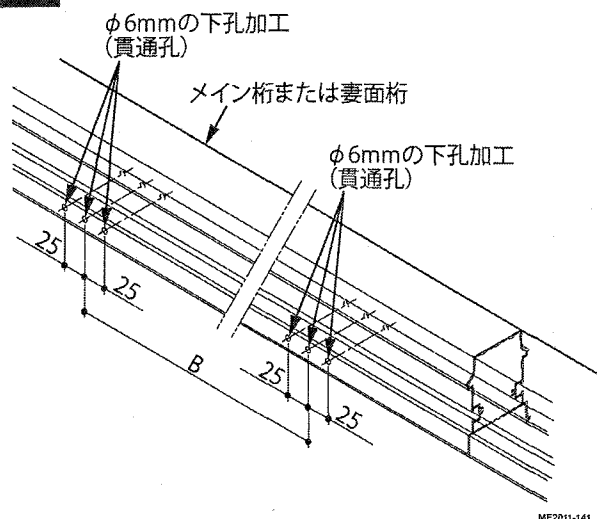
加工パターン③の場合は、桁端部からの寸法は現場合わせで行ってください。



1.5 間用の場合は、中央の加工孔を避けてください。

※ここには後工程で柱が取付きます。

加工パターン③



1-1-2 階段接続部品（コリドー側）の取付け



階段を取付ける場合に参照してください。

①回廊ジョイントを、階段を取付ける桁の底面に取付けてください。

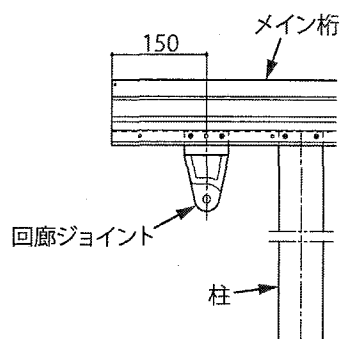


●取付位置は階段取付プランで確認してください。

●端部の回廊ジョイントは、下図の位置に取付けてください。

※正面側・妻面側共通

●回廊ジョイント（端部）取付位置

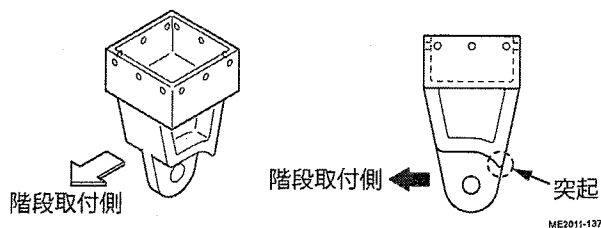


※本図は妻面側に取付ける場合を示しています。

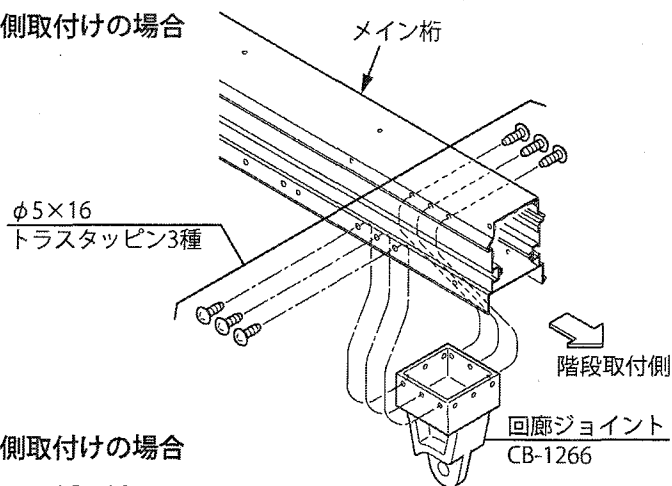


回廊ジョイントには、取付向きがあります。下図で確認してください。

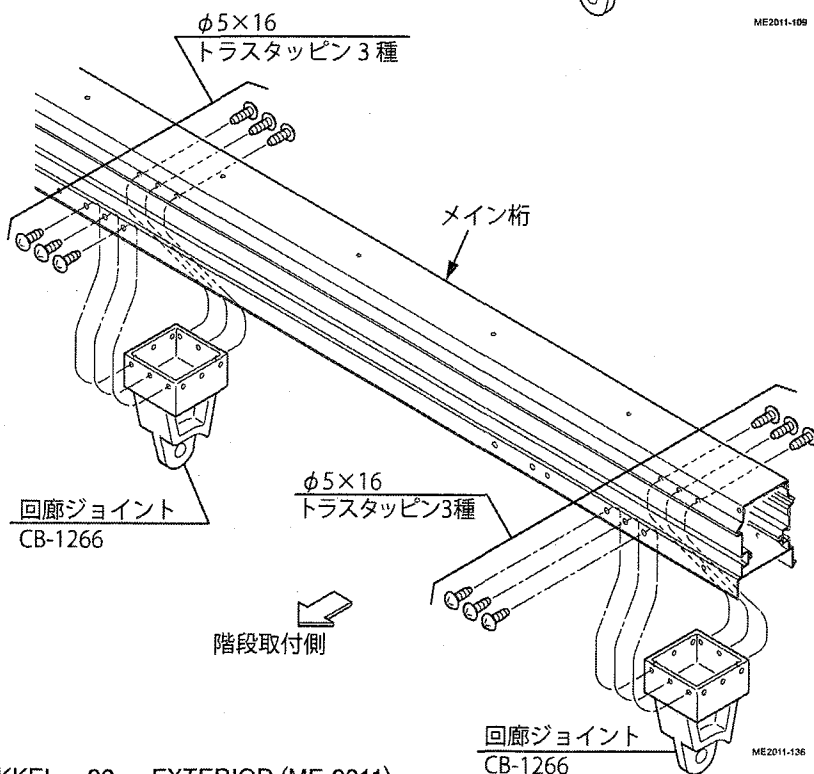
●回廊ジョイント



●妻面側取付けの場合



●正面側取付けの場合



1-1-3 桁の組立て

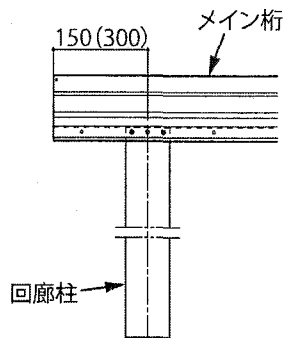
①メイン桁を回廊柱に取付けてください。



端部の柱は、メイン桁端部より以下の位置になるよう配置してください。

- ・標準 : 150mm
- ・階段付 : 300mm
- (※回廊ジョイント付の桁への取付けのみ)

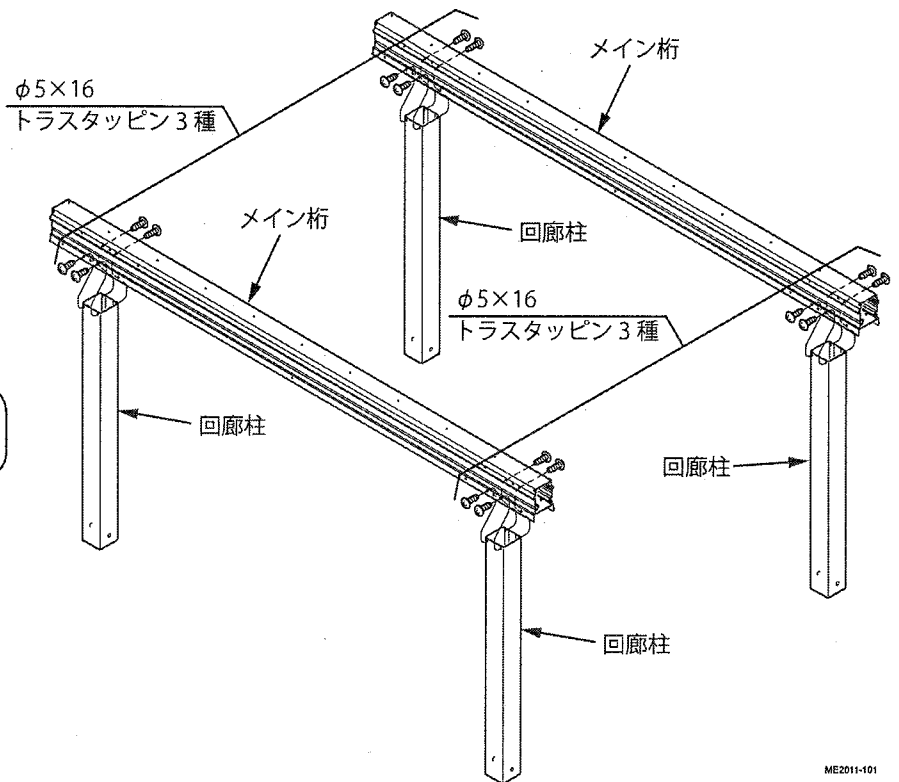
●柱位置



ME2011-149



1.5 間の場合は、メイン桁の中央にも柱が取付きます。



ME2011-101

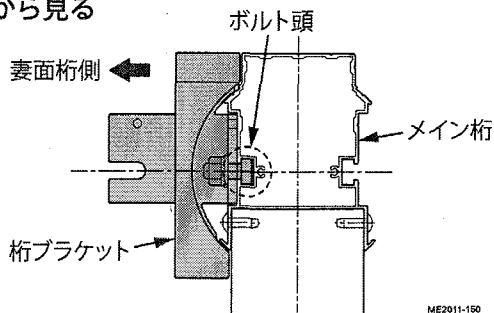
②六角ボルト（ボルト頭）を、メイン桁のミゾにスライドさせて挿入してください。



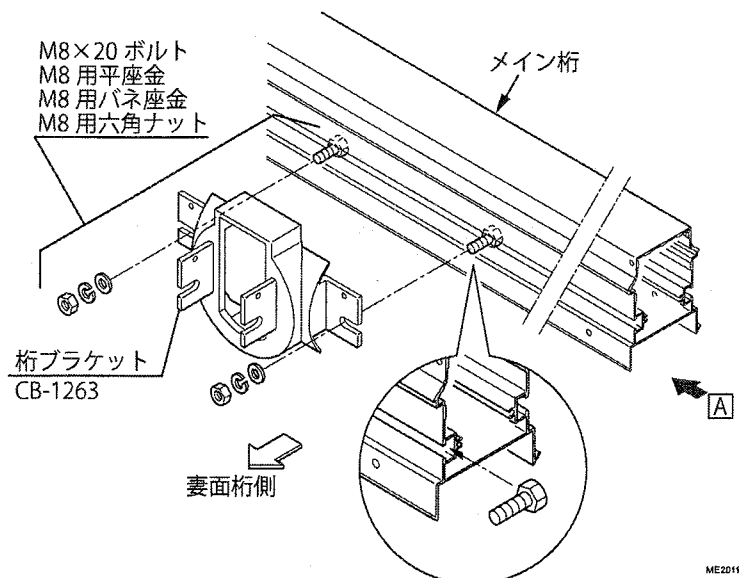
妻面桁側のミゾに挿入してください。

③桁ブラケットを六角ボルトに取付けてください。

●Aから見る



ME2011-150



ME2011-102



事前に完成プランを確認してください。

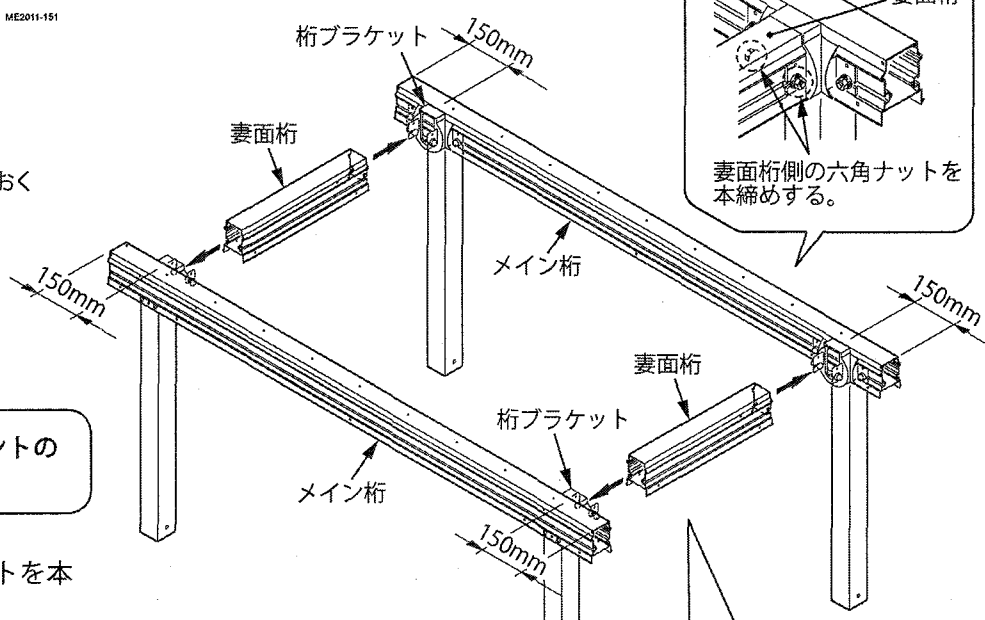
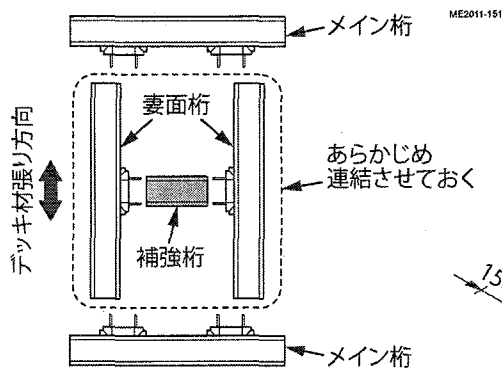
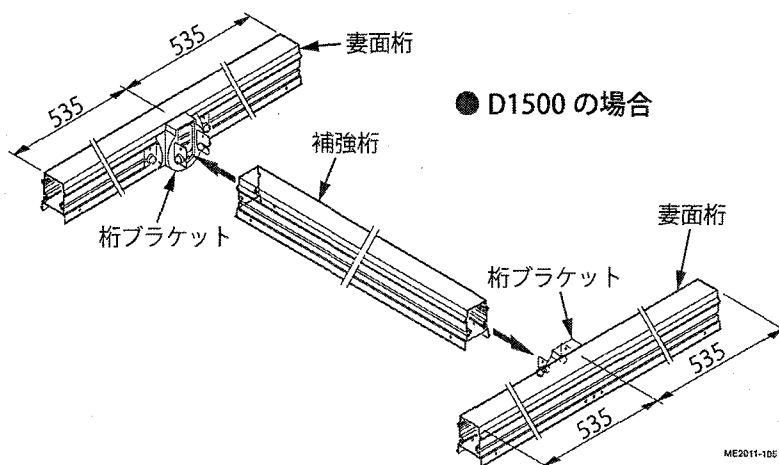
④妻面桁を桁ブラケットに取付け、メイン桁を連結させてください。



● D1500 の場合は、あらかじめ補強桁を妻面桁に取付けてください。

● 施工方法は「手順②～⑧」と同様の手順で、妻面桁を補強桁で連結させてください。

● 連結後、妻面桁側の桁ブラケットを固定してください。



階段取付プラン・回廊ジョイントの位置を確認してください。

⑤妻面桁側の桁ブラケットの六角ナットを本締めしてください。



妻面桁は、必ずメイン桁端部より150mmの位置に固定してください。
※柱移動の場合も同様です。



● 直列連結（出巾違い）納まりの場合は、あらかじめ出巾の大きいユニットの妻面桁にジョイント B を取付けてください。

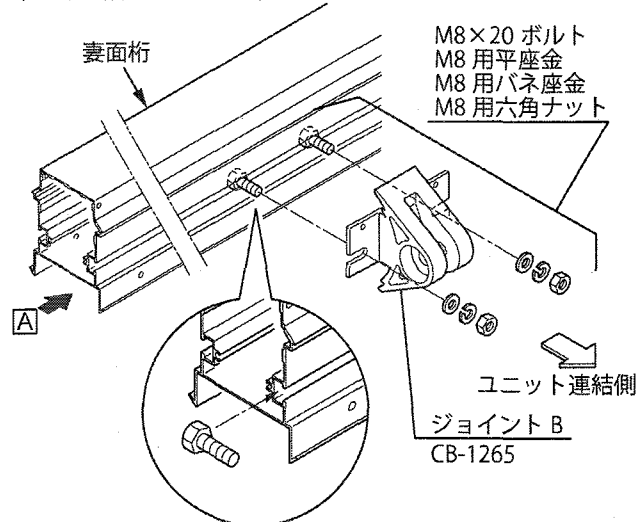
※メイン桁連結後では取付けることができません。

※ジョイント B の数は納まりによって異なります。

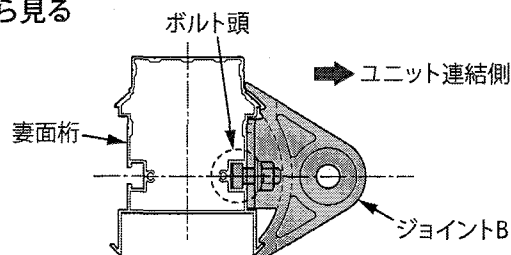
● 六角ボルトを妻面桁のミゾに挿入し、ジョイント B を取付けてください。

※本締めは後工程で行います。

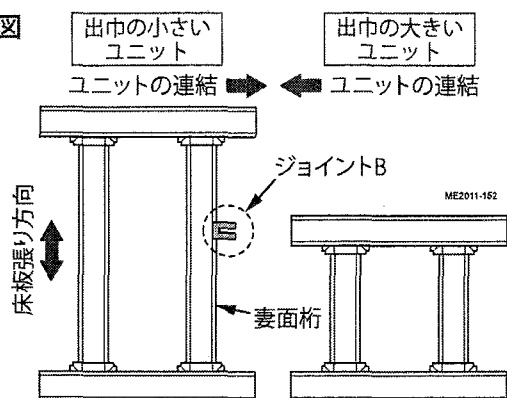
● 直列連結（出巾違い）



● A から見る



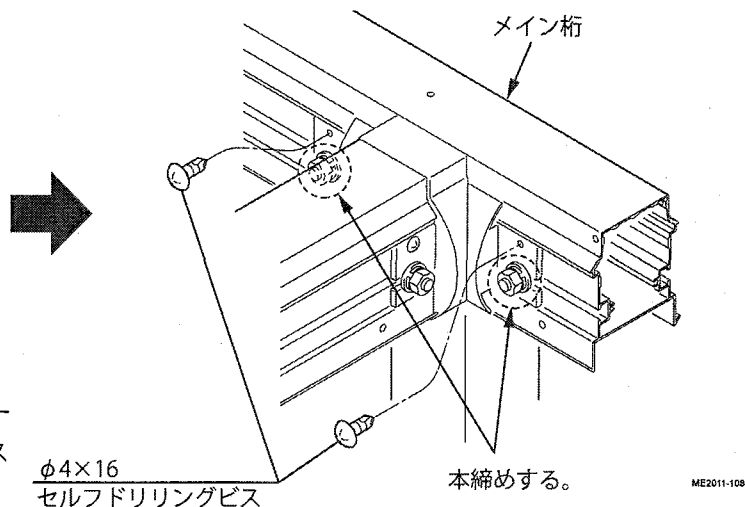
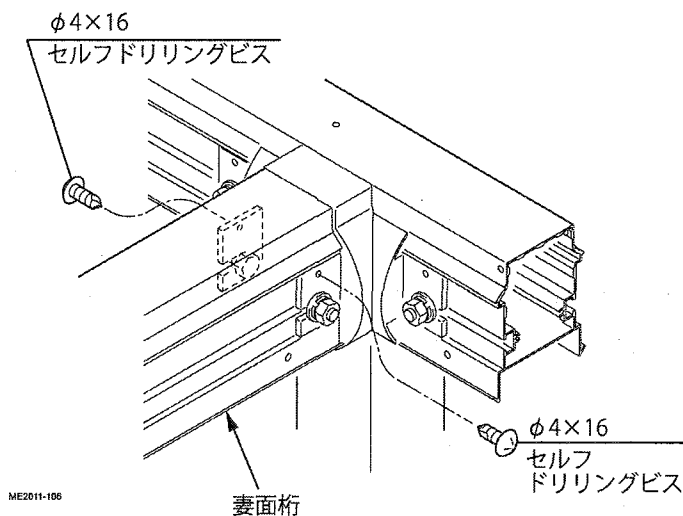
● 取付イメージ図



⑥桁ブラケットを、妻面桁にビス止めしてください。

⑦メイン桁側の桁ブラケットの六角ナットを本締めしてください。

⑧桁ブラケットを、メイン桁にビス止めしてください。



1-2 手すり接続部品の取付け



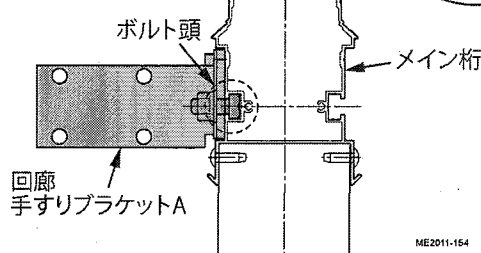
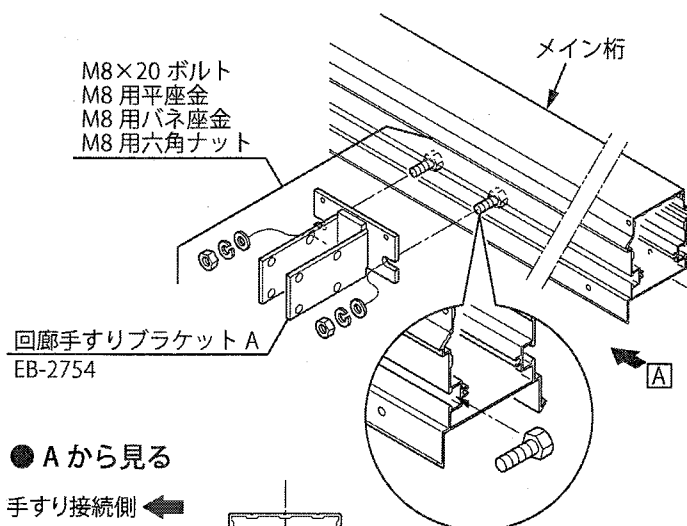
- 手すりを取付ける場合に参照してください。
- ここでは、接続部品のみを取付け、手すり本体の施工は、後工程で行います。



事前に完成プランを確認してください。

1-2-1 手すり接続部品（正面側）の取付け

- ①六角ボルト（ボルト頭）を、手すりを取付けるメイン桁のミゾにスライドさせて挿入してください。
- ②回廊手すりブラケット A を六角ボルトに取付けてください。

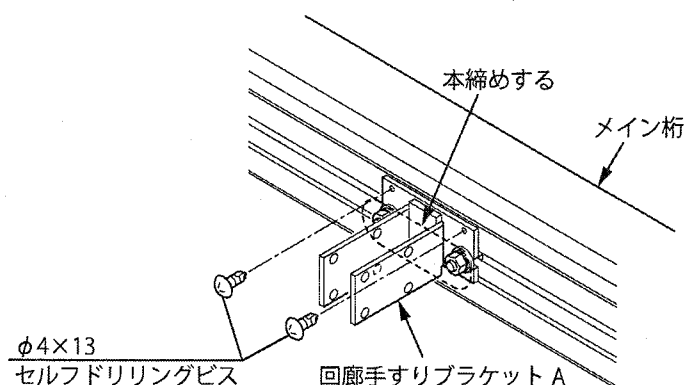


③回廊手すりブラケット A の六角ナットを本締めしてください。

④回廊手すりブラケット A をメイン桁にビス止めしてください。

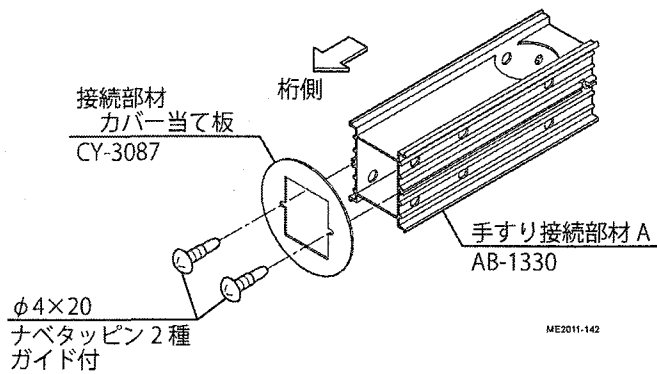


- 手すりのピッチについては、下記取付説明書を合わせて参照してください。
- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
 - ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

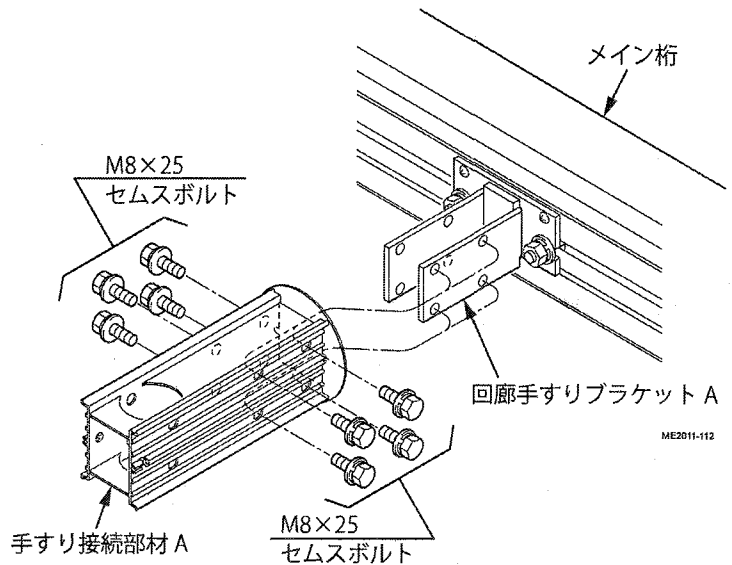


柱・桁の設置

- ⑤手すり接続部材 A に接続部材カバー当て板を取付けてください。

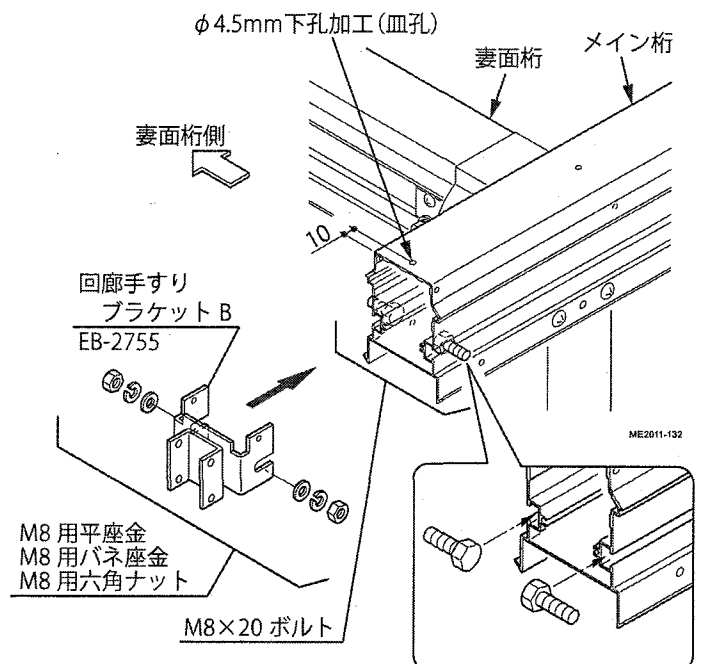


- ⑥手すり接続部材 A を、回廊手すりブラケット A に取付けてください

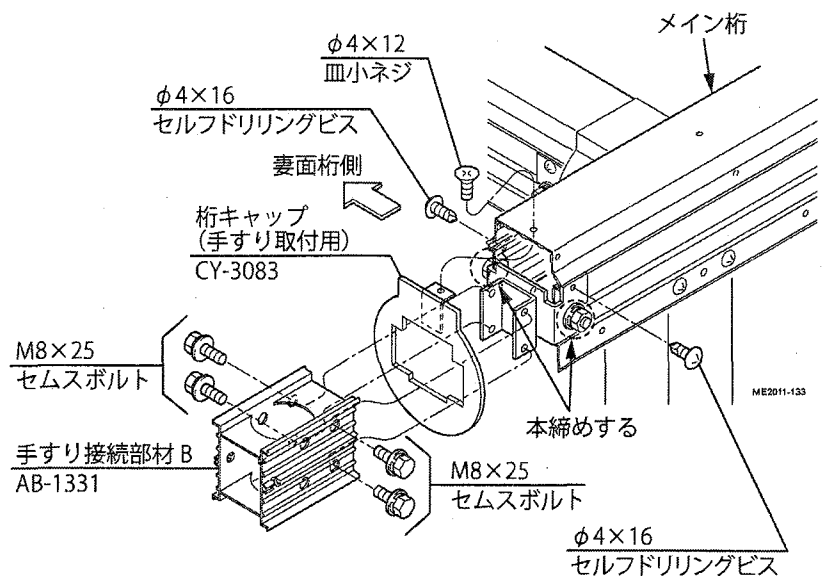


1-2-2 手すり接続部品（妻面側）の取付け

- ①手すりを取付けるメイン桁端部上面に下孔をあけてください。
- ②六角ボルト（ボルト頭）を、メイン桁のミゾにスライドさせて挿入してください。
- ③回廊手すりブラケット B を六角ボルトに取付けてください。



- ④回廊手すりブラケット B の六角ナットを本締めしてください。
- ⑤回廊手すりブラケット B をメイン桁にビス止めしてください。
- ⑥桁キャップ（手すり取付用）を、メイン桁端部に取付けてください。
- ⑦手すり接続部材 B を、回廊手すりブラケット B に取付けてください。



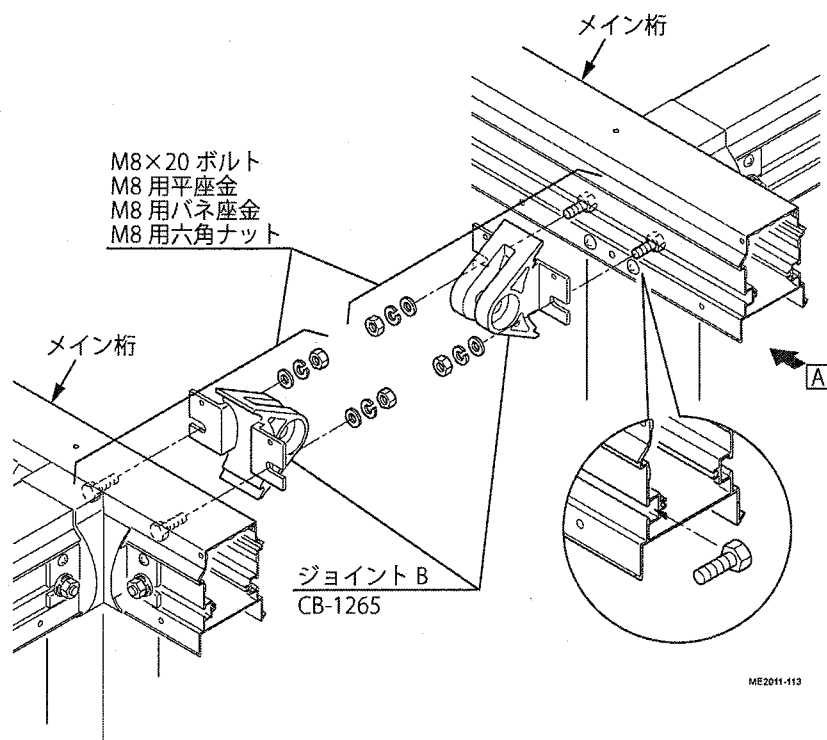
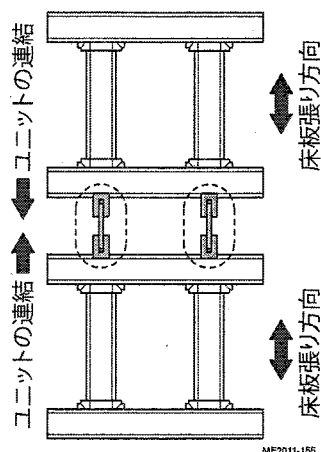
1-3 ユニットの連結 (※連結納まりの場合)



連結前に完成プランを確認してください。

1-3-1 並列連結納まりの場合

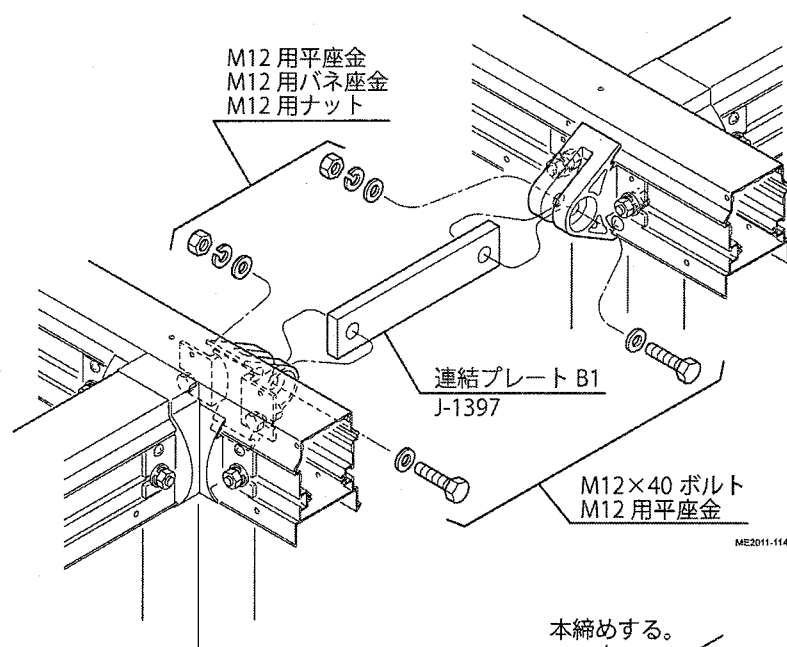
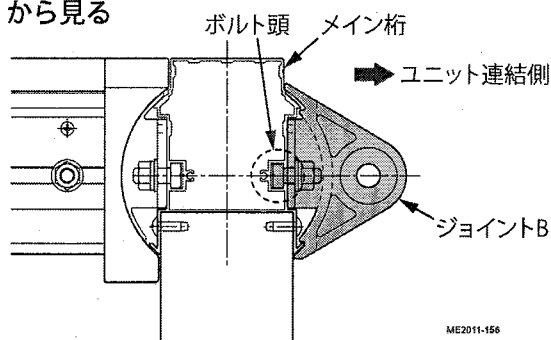
●取付イメージ図



①六角ボルト (ボルト頭) を、メイン桁のミゾにスライドさせて挿入してください。

②ジョイント B を六角ボルト (ボルト頭) に取付けてください。

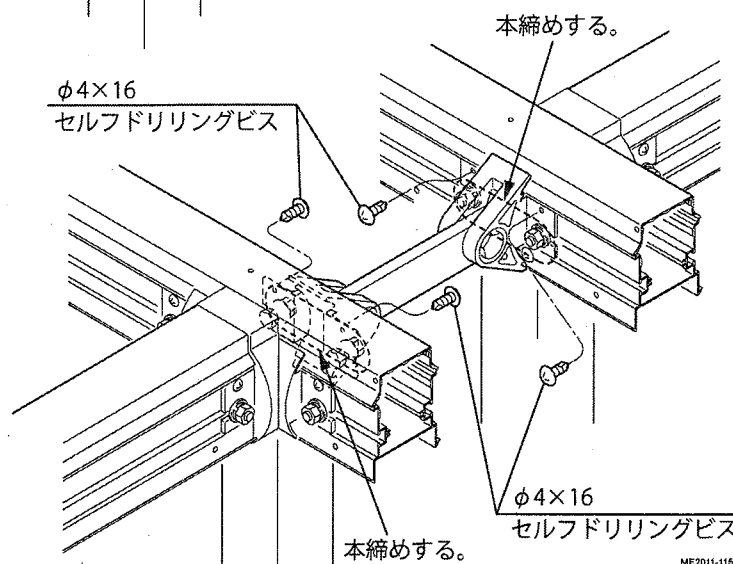
●Aから見る



③各ユニットのジョイント B を、連結プレート B1 を使用して連結させてください。

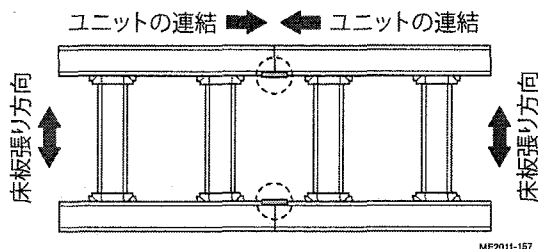
④各ジョイント B の六角ナットを本締めしてください。

⑤各ジョイント B をメイン桁にビス止めしてください。



1-3-2 直列連結納まりの場合

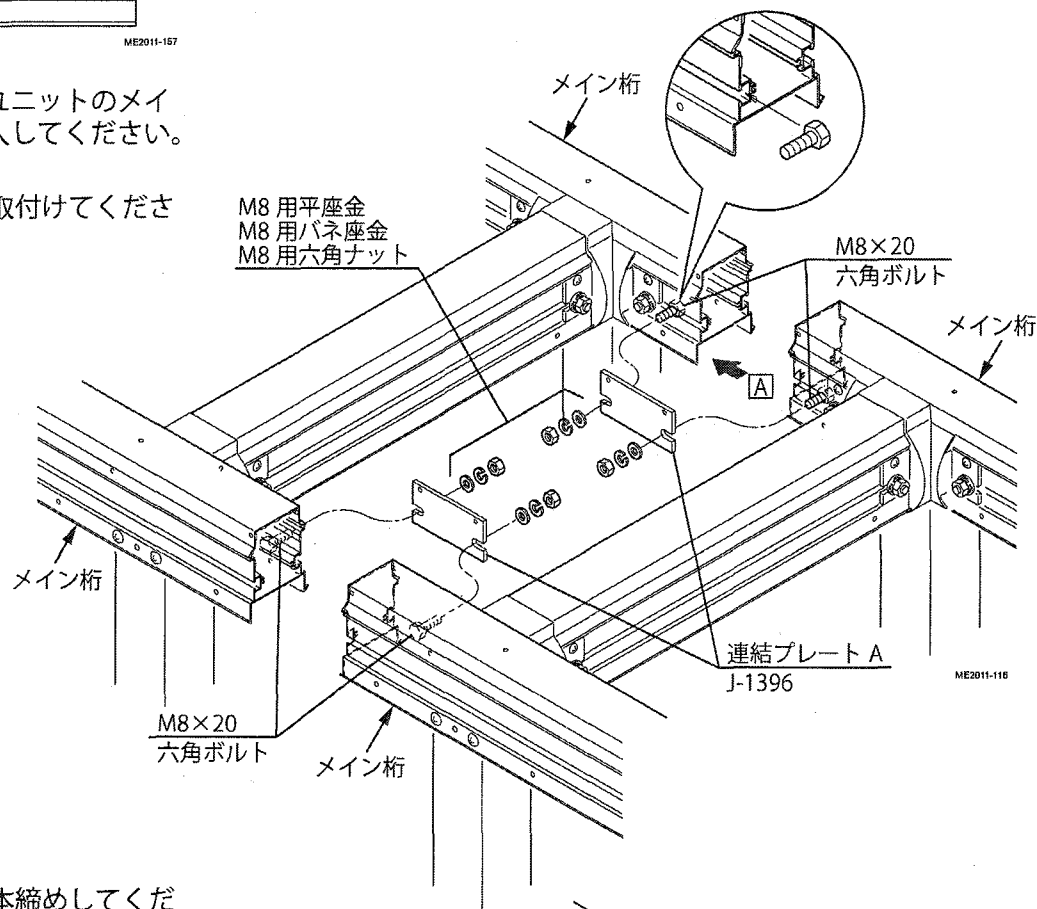
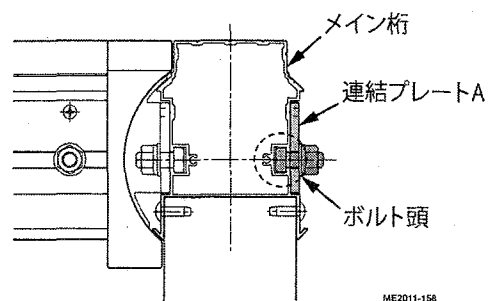
●取付イメージ図



①六角ボルト（ボルト頭）を、各ユニットのメイン桁のミゾにスライドさせて挿入してください。

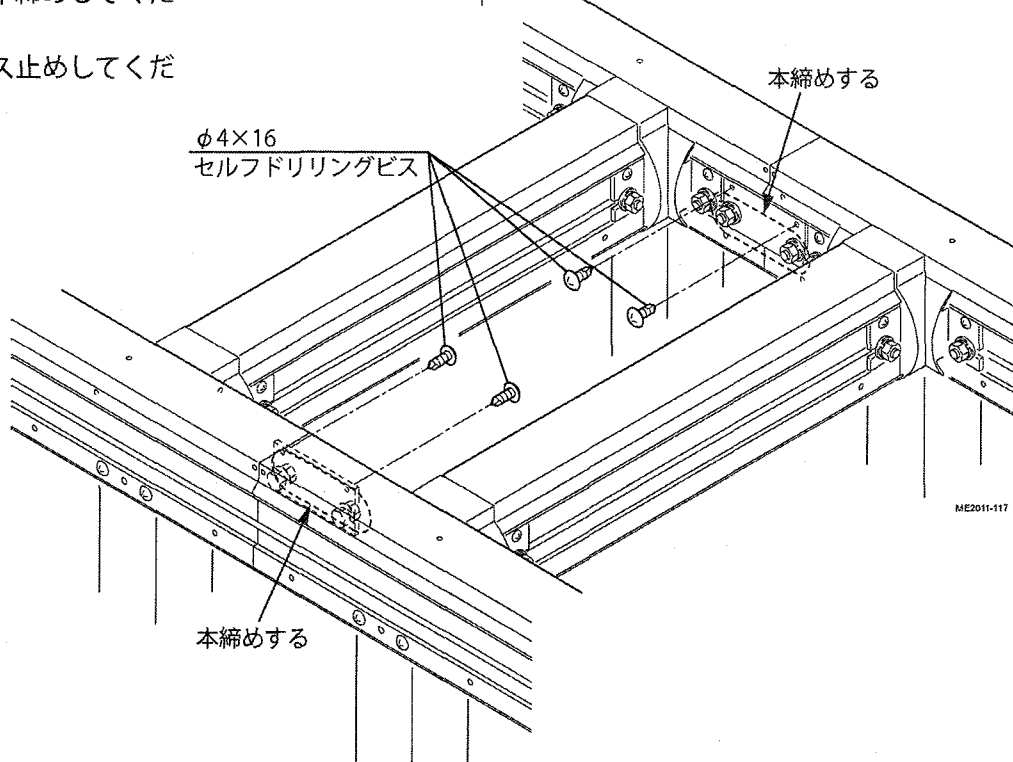
②連結プレート A を六角ボルトに取付けてください。

● A から見る



③連結プレート A の六角ナットを本締めしてください。

④連結プレート A をメイン桁にビス止めしてください。

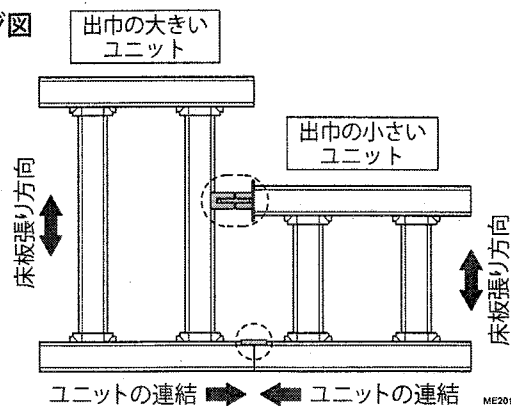


1-3-3 直列連結（出巾違い）納まりの場合

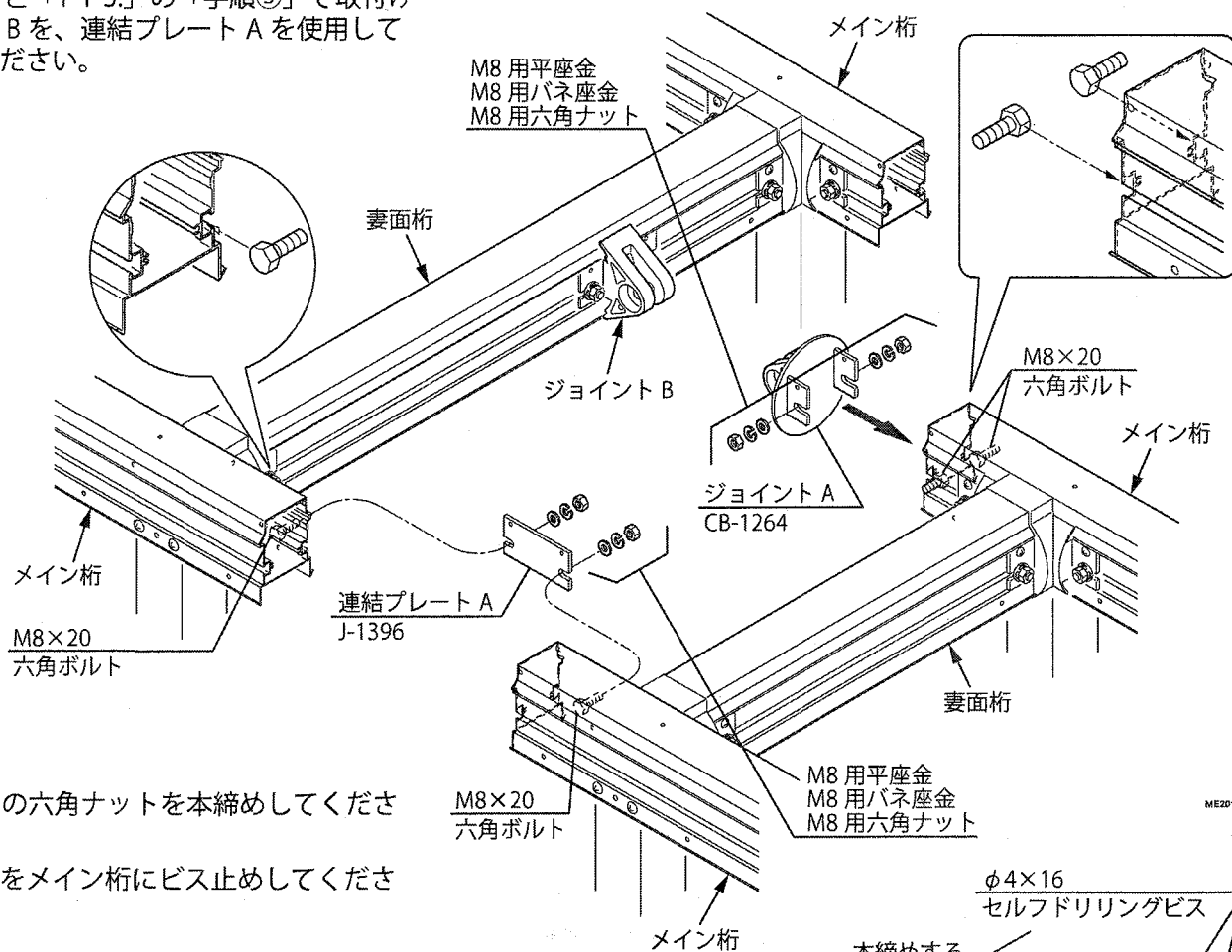


メイン桁の内、片側を一直線にそろえる場合は、その側のメイン桁は「1-3-2. 直列連結納まりの場合」と同様の連結となります。

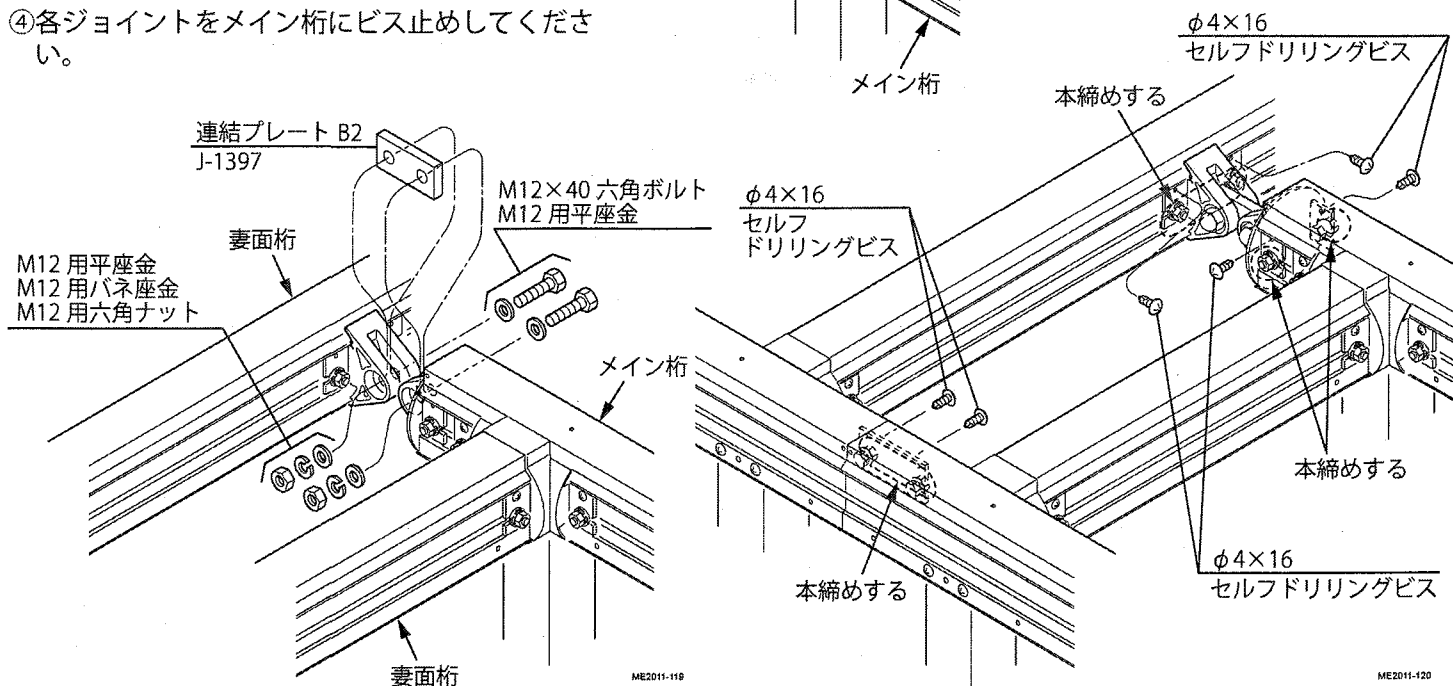
●取付イメージ図



- ①ジョイント A を、出巾の小さいユニットのメイン桁端部に取付けてください。
- ②ジョイント A と「1-1-3.」の「手順⑤」で取付けたジョイント B を、連結プレート A を使用して連結させてください。

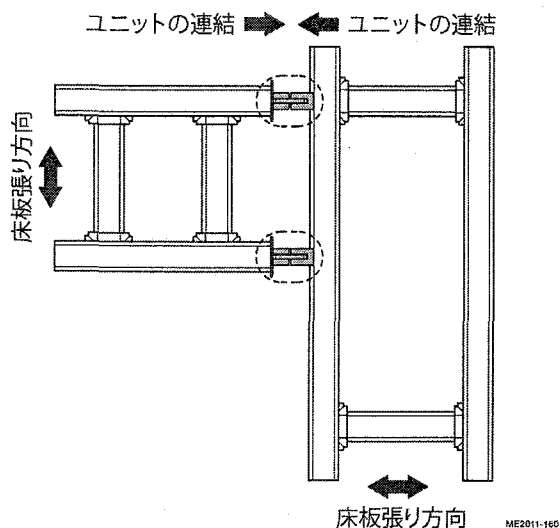


- ③ジョイント B の六角ナットを本締めしてください。
- ④各ジョイントをメイン桁にビス止めしてください。



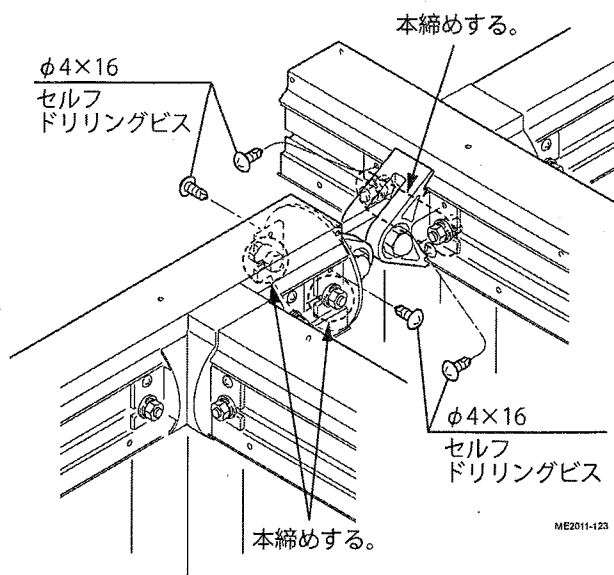
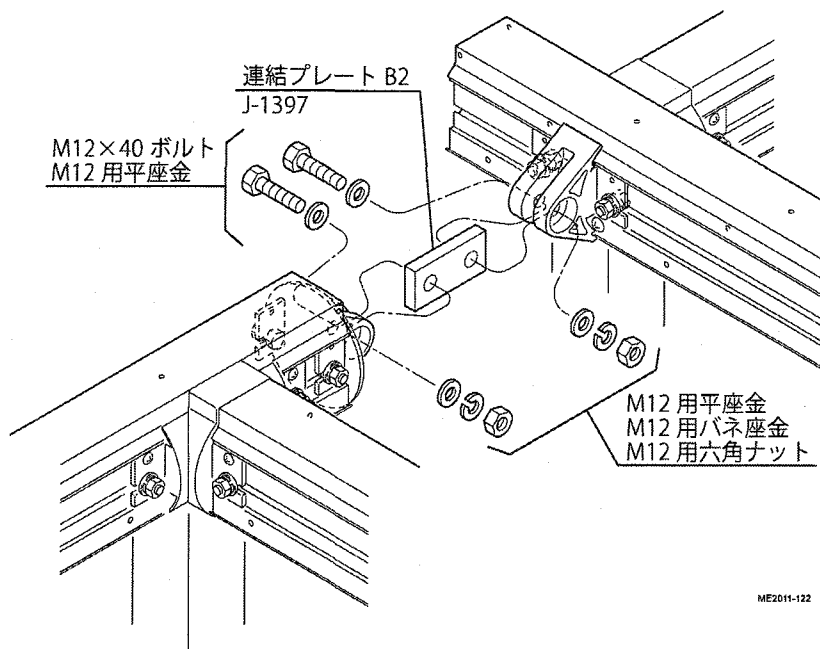
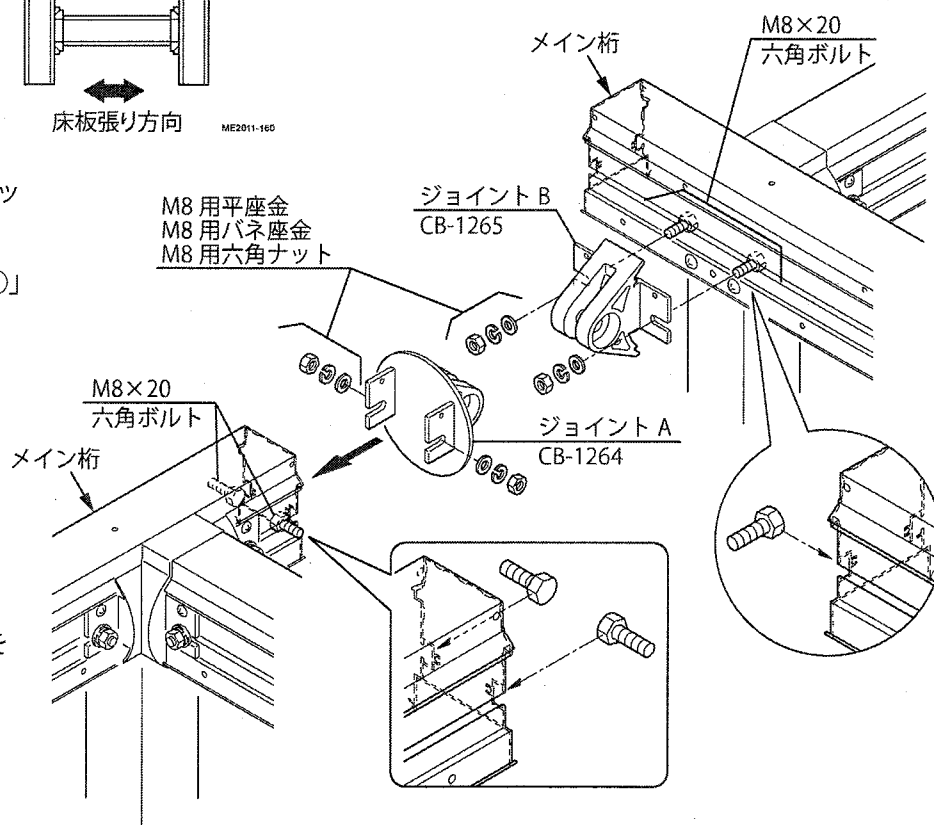
1-3-4 直角連結納まりの場合

●取付イメージ図



- ①ジョイント A を、裏面側で連結するユニットのメイン桁端部に取付けてください。
- ②ジョイント B を、「1-3-1.」の「手順①、②」と同様に、もう片方のユニットのメイン桁に取付けてください。

- ③ジョイント A・B を、連結プレート B2 を使用して連結させてください。
- ④ジョイント B の六角ナットを本締めしてください。
- ⑤各ジョイントをメイン桁にビス止めしてください。



1-4 桁カバー・桁キャップの取付け

1-4-1 桁カバーの切出し



メイン桁用の桁カバー A は、現場で指定寸法で切出してください。



妻面桁（回廊ジョイント付）の場合は、実寸 - 1mm で切断してください。

① 桁カバー A を、下表の寸法で切断してください。

メイン桁

●切断寸法表

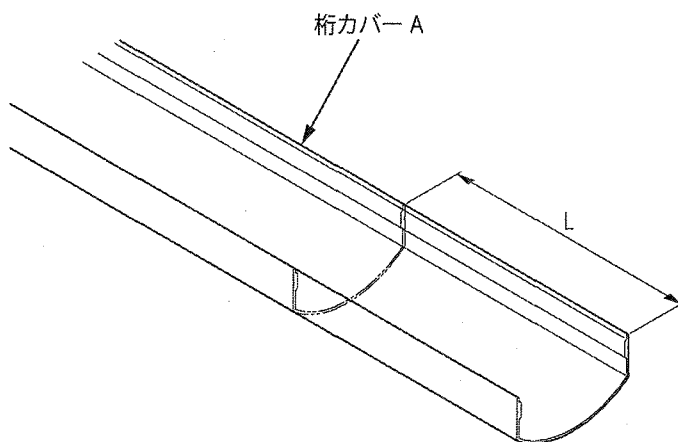
(mm)

間口	中間部用		端部用	
	L	本数	L	本数
0.5 間	540	1	115	2
1.0 間	1450	1		
1.5 間	1145	2		

※上記寸法は参考値です。実測 - 1mm で切断してください。



- 柱移動した場合や回廊ジョイントが取付く場合は、上記と異なります。
- 実測 - 1mm で切断してください。



ME2011-128



桁カバー B を、下記の箇所に取付ける場合は、現場で指定寸法で切出してください。

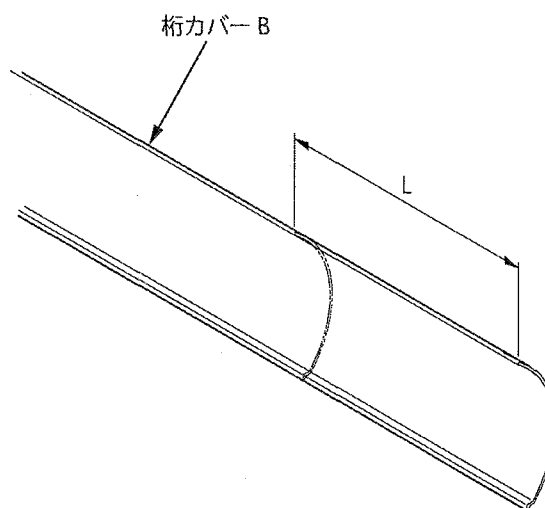
- ・メイン桁（内側）
- ・妻面桁（内側）・D1500 の場合

※上記以外の取付けの場合および補強桁の場合は、切断の必要はありません。



メイン桁（手すり取付側）の場合は、後工程で行います。

② 桁カバー B を、下表の寸法で切断してください。



ME2011-129

メイン桁（内側）

●切断寸法表

(mm)

間口	中間部用		端部用	
	L	本数	L	本数
0.5 間	480	1	85	2
1.0 間	1390	1		
1.5 間	2300	1		

※上記寸法は参考値です。実測 - 1mm で切断してください。

妻面桁（内側）・D1500 の場合

●切断寸法表

(mm)

出巾	L	本数
1500	470	2

※上記寸法は参考値です。実測 - 1mm で切断してください。

1-4-2 桁カバー・桁キャップの取付け

①下記の場合、メイン桁および妻面桁に下孔をあけてください。



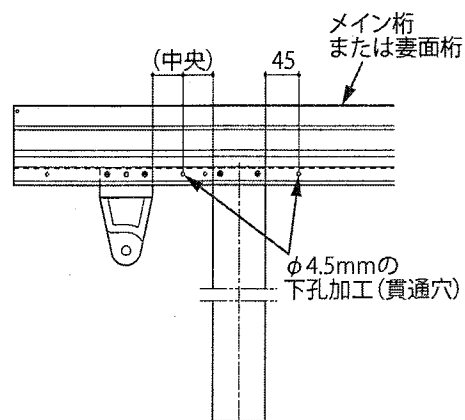
- 桁カバー A 下孔加工箇所
- ・柱移動した箇所
- ・回廊ジョイント取付箇所

②桁カバー A を、メイン桁および妻面桁・補強桁に取付けてください。

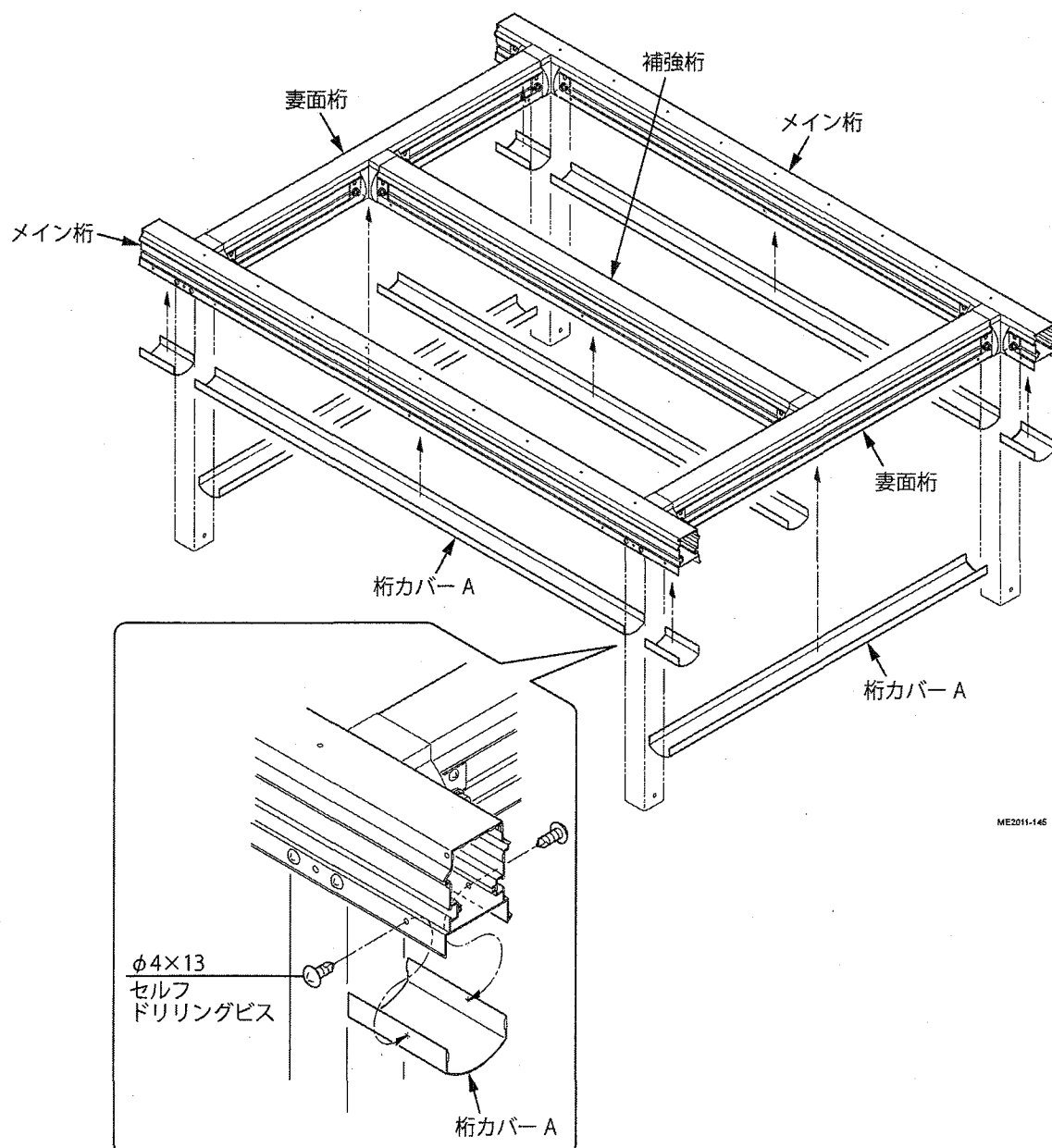


必ず、桁カバー A → 桁カバー B の順に取付けてください。

※逆の場合、桁カバー A を取付けることができません。



ME2011-161



ME2011-145

③ 桁カバーBを、メイン桁および妻面桁・補強桁に取付けてください。

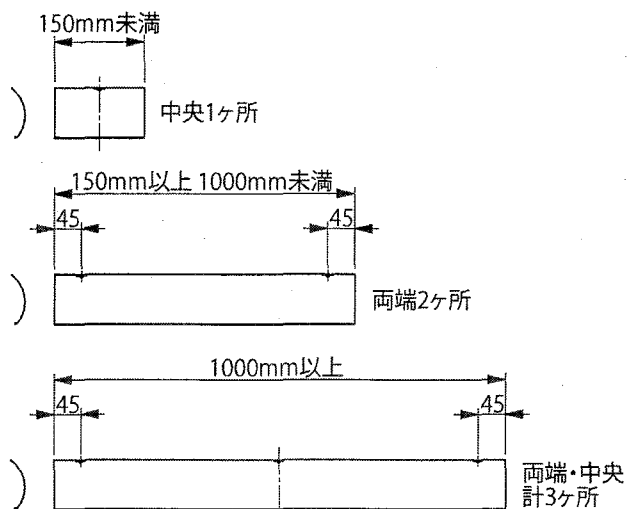


● 桁カバー B ビス止め位置

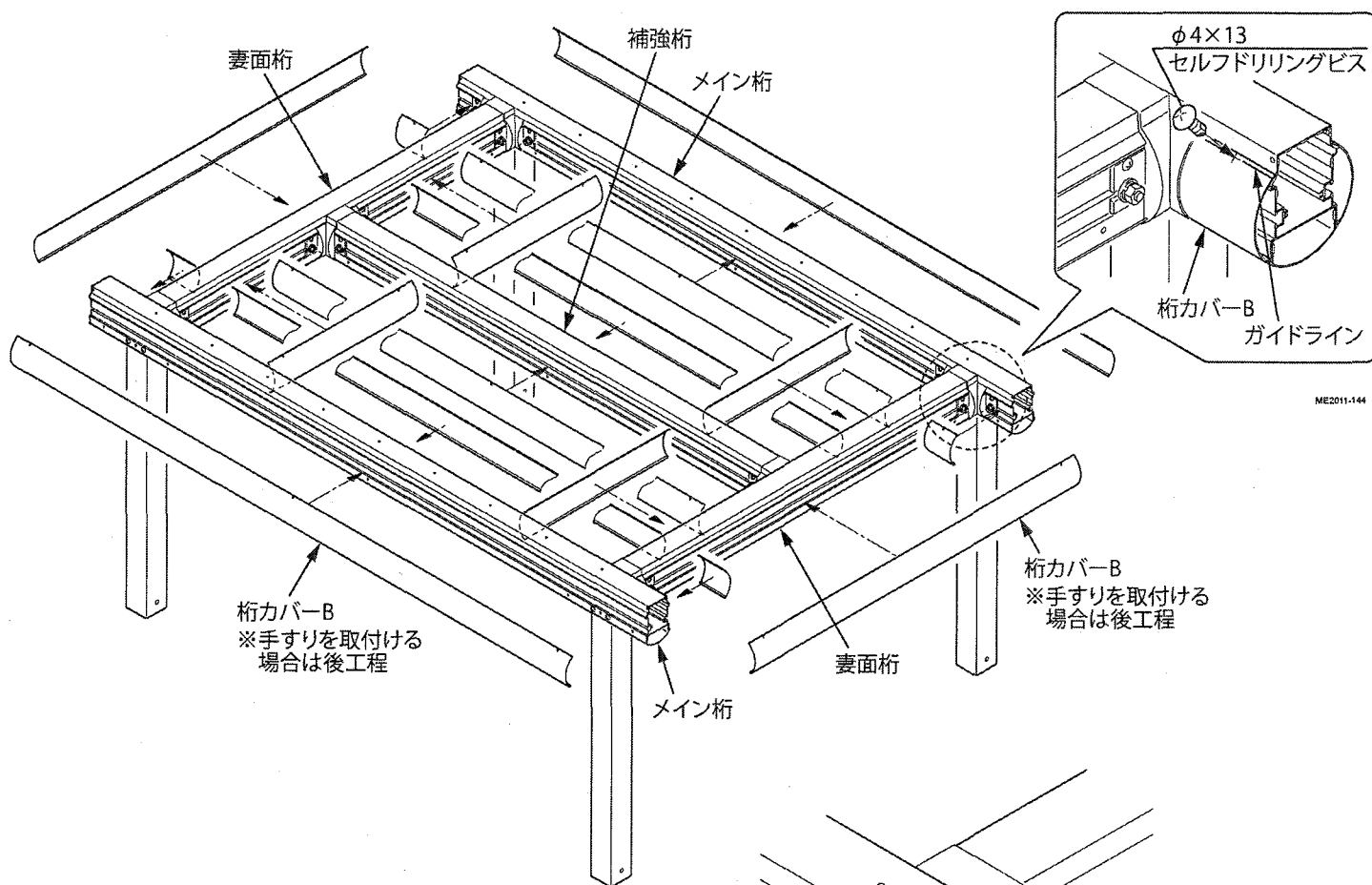
- ・ L=100mm 程度：中央 1ヶ所
- ・ L=150 ～ 1000mm 程度：両端 2ヶ所
- ・ L=1000mm 以上：両端・中央の 3ヶ所



メイン桁（手すり取付側）への取付けは、後工程で行います。

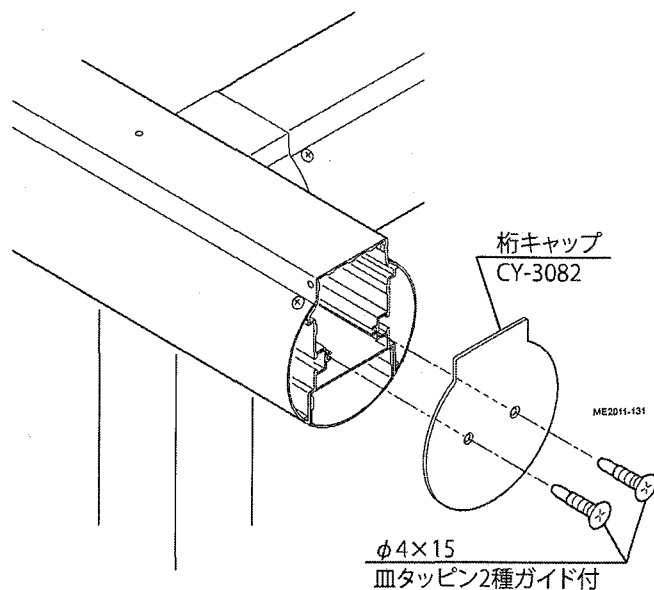


ME2011-146



ME2011-144

④ 桁キャップをメイン桁端部に取付けてください。



ME2011-131

1-5 柱の設置



柱の高さとレベルを正確に合わせてください。
※正確に合わせないと、床板の取付不良の原因となります。



必ず、指定の寸法で柱を埋め込んでください。
・埋め込み寸法：300mm

①「柱配置図」を参照し、柱の設置位置を確認してください。

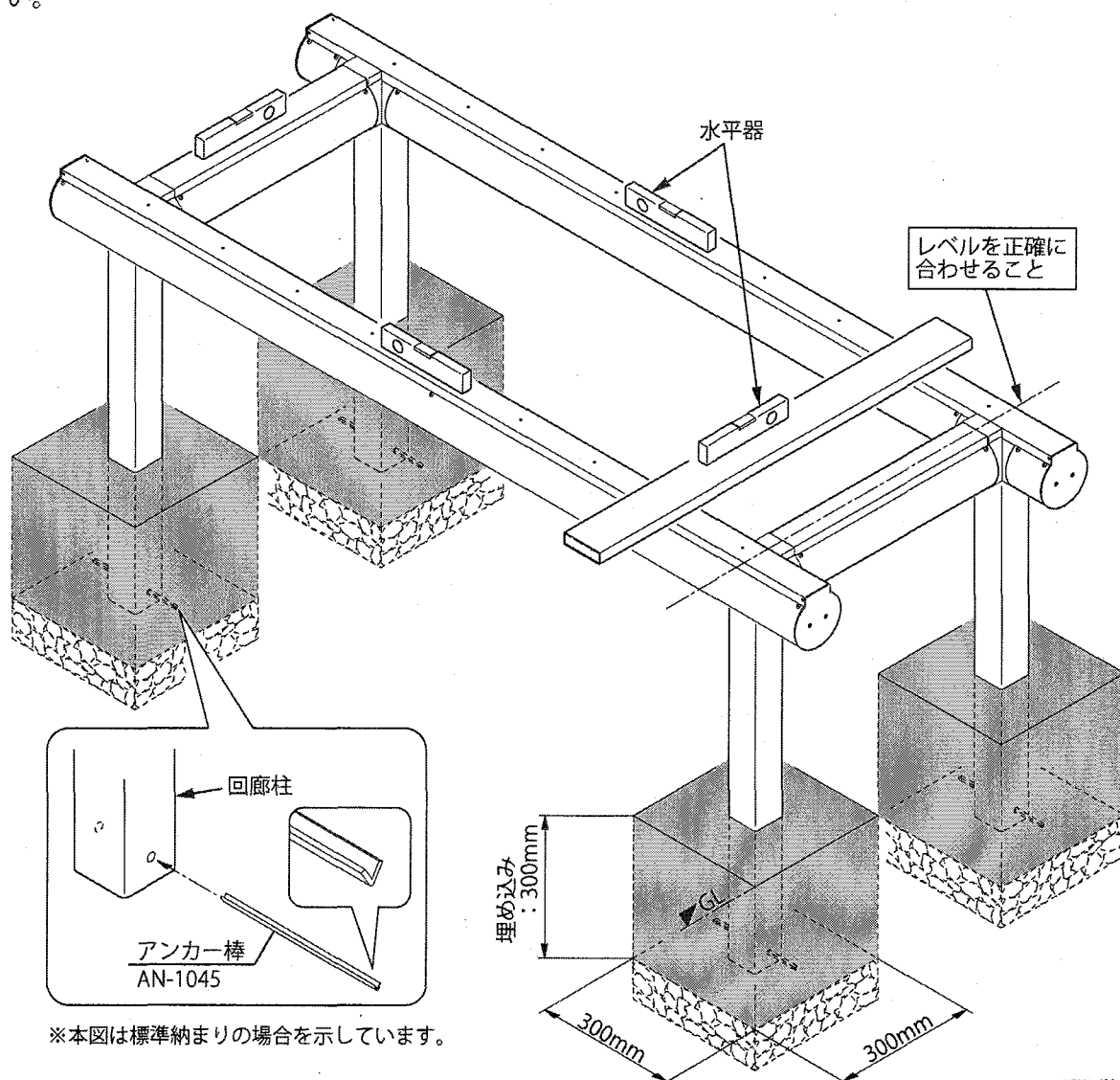


地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように、柱位置を決めてください。



階段を取付ける場合は、事前に取付位置に施工の障害となるものがないか確認してください。

②柱を設置してください。



※本図は標準納まりの場合を示しています。

1-6 手すり柱（コリドー用）の取付け



手すりを取付ける場合に参照してください。

①手すり柱を、手すり接続部材に取付けてください。



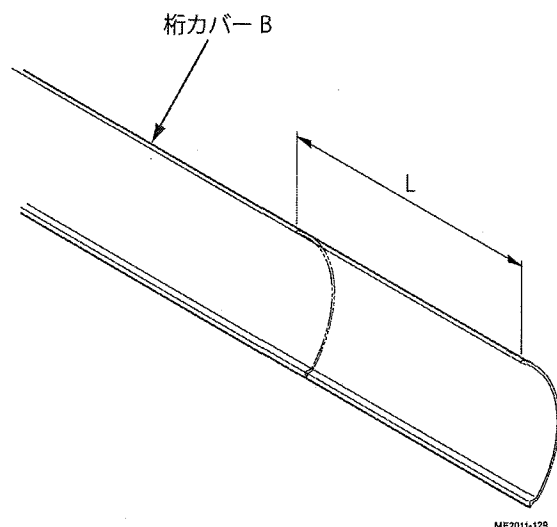
- 手すり柱は上側から取付けてください。
 - 取付けの際、接続部材カバー（上）の穴に通して取付けてください。
- ※穴を通さないと、カバーを取付けることができません。

②全ての手すり柱を取付後、柱の通りおよびピッチを確認してください。



正面側への取付けの場合は、桁カバー B の取付後は、手すり柱の調整ができません。

③桁カバー B を実測 - 1mm で切断してください。

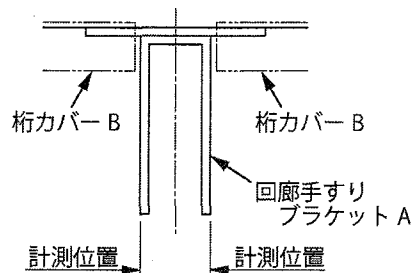


ME2011-129



手すり柱部品からは、下図の位置より計測してください。

●計測位置

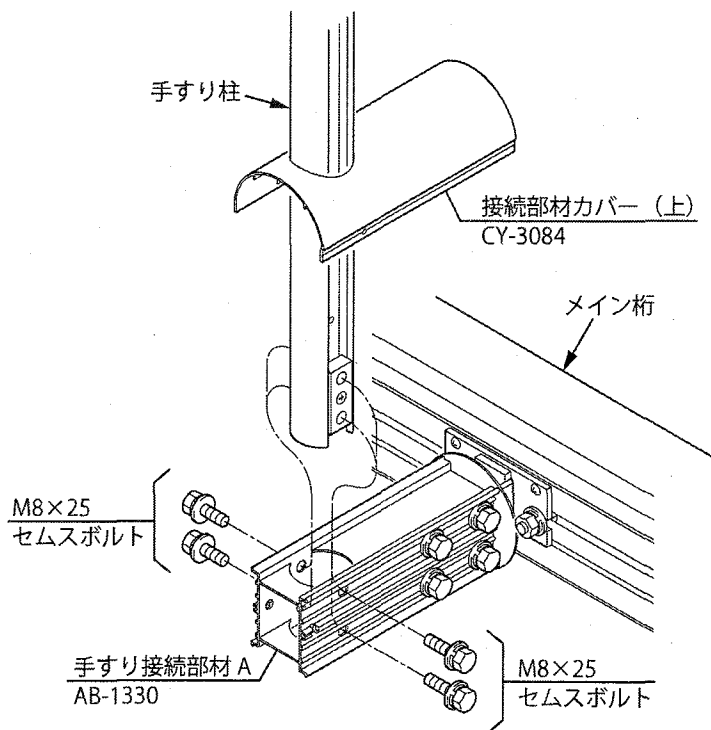


ME2011-162

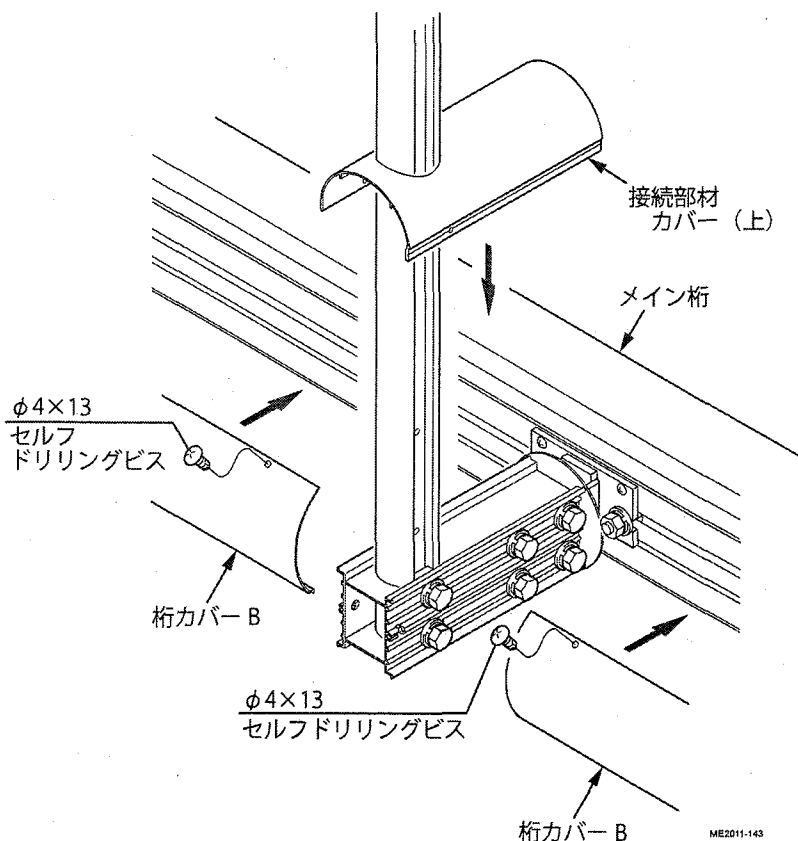
④桁カバー B をメイン桁に取付けてください。



取付けの詳細は、「1-4-2. 桁カバー・桁キャップの取付け」を参照してください。



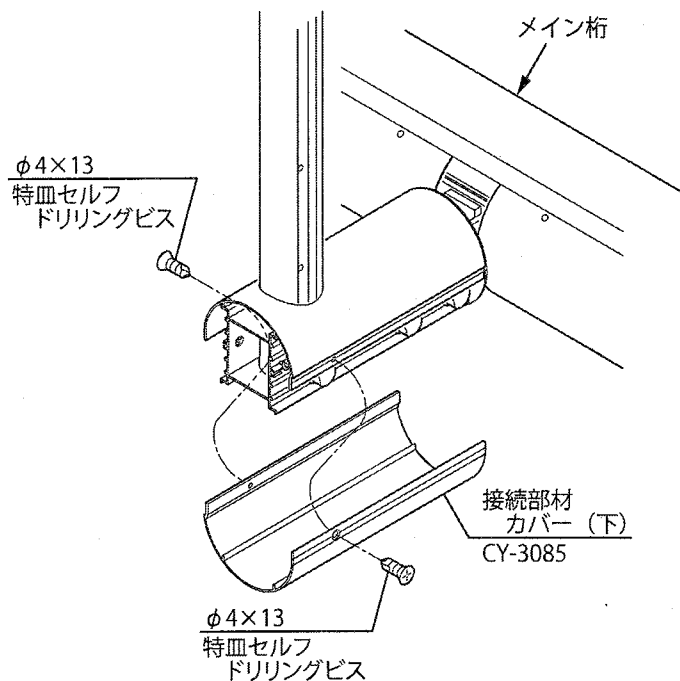
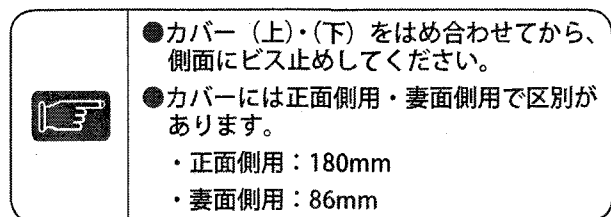
ME2011-138



ME2011-143

柱・桁の設置

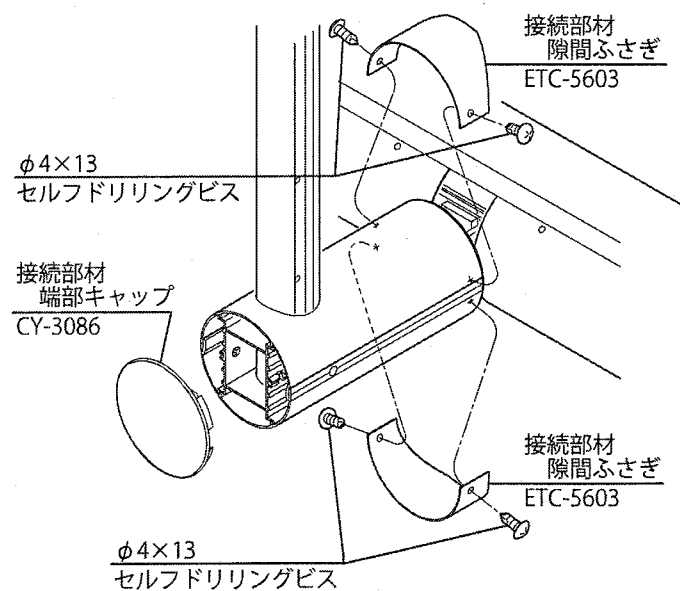
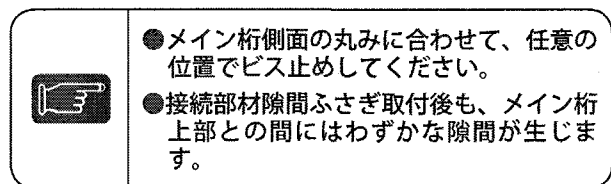
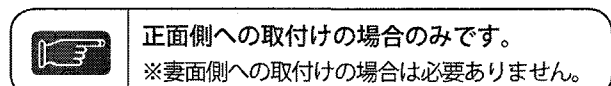
⑤接続部材カバー（上）・（下）を固定してください。



ME2011-139

⑥接続部材端部キャップを、手すり接続部材の端部に取り付けてください。

⑦正面側の場合は、接続部材隙間ふさぎを取付けてください。



ME2011-140

2

床板の取付け

2-1

施工前の確認



- 床板を取付ける前に、完成プランを確認してください。
- 床板の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため 10mm 以上のすき間をあけてください。
※ 10mm 以上あけないで施工すると、床板の凍結破損などの原因になります。「2-1-6. 床板の水抜きについて」を参照してください。

2-1-1 床板の種類



本商品には、右記の 2 種類の床板を取付けることができます。

- 再生木床の場合は、デッキ材小口キャップを床板端部に取付けてください。

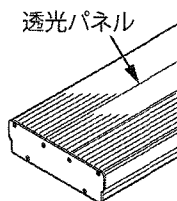


手すりを取付ける場合は、キャップ取付前に床板補強部品の取付けが必要な箇所があります。
※詳細は「2-2-2.」参照

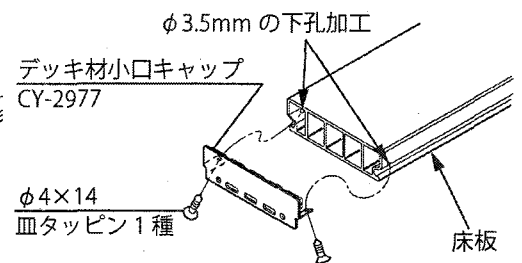


透光パネルには養生シートが貼られています。施工後に剥がしてください。

●透光床



●再生木床



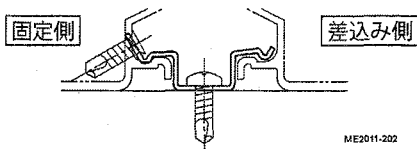
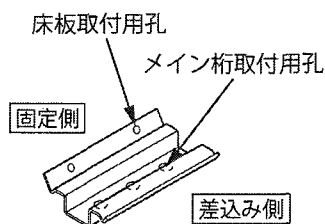
ME2011-201

2-1-2 床板取付金具について



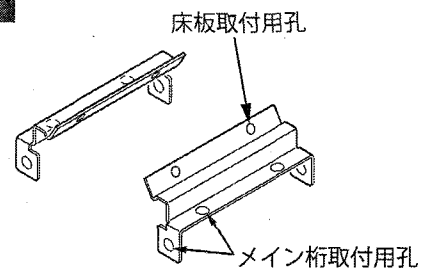
- 床板の取付けには、デッキ材取付金具または床板取付金具 (端部用) を使用します。
- デッキ材取付金具には、固定側と差込み側があります。

デッキ材取付金具



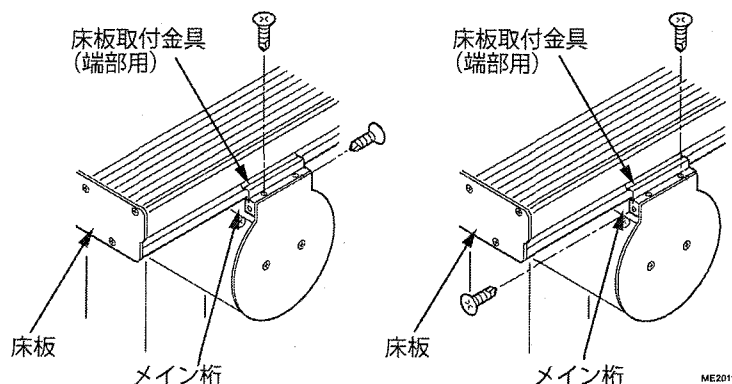
- ※ 1：床板取付用孔
床板 1 枚に対して、いずれか 1 つの取付孔を使用する。
- ※ 2：メイン桁取付用孔
中央の取付孔を使用する。

床板取付金具 (端部用)



ME2011-203

- ※ 3：床板取付用孔
床板 1 枚に対して、いずれか 1 つの取付孔を使用する。
- ※ 4：メイン桁取付用孔
側面 1 ケ所・上面 1 ケ所の対角の取付孔を使用する。
側面にビス止めできない場合は、上面 2 ケ所でも可能。

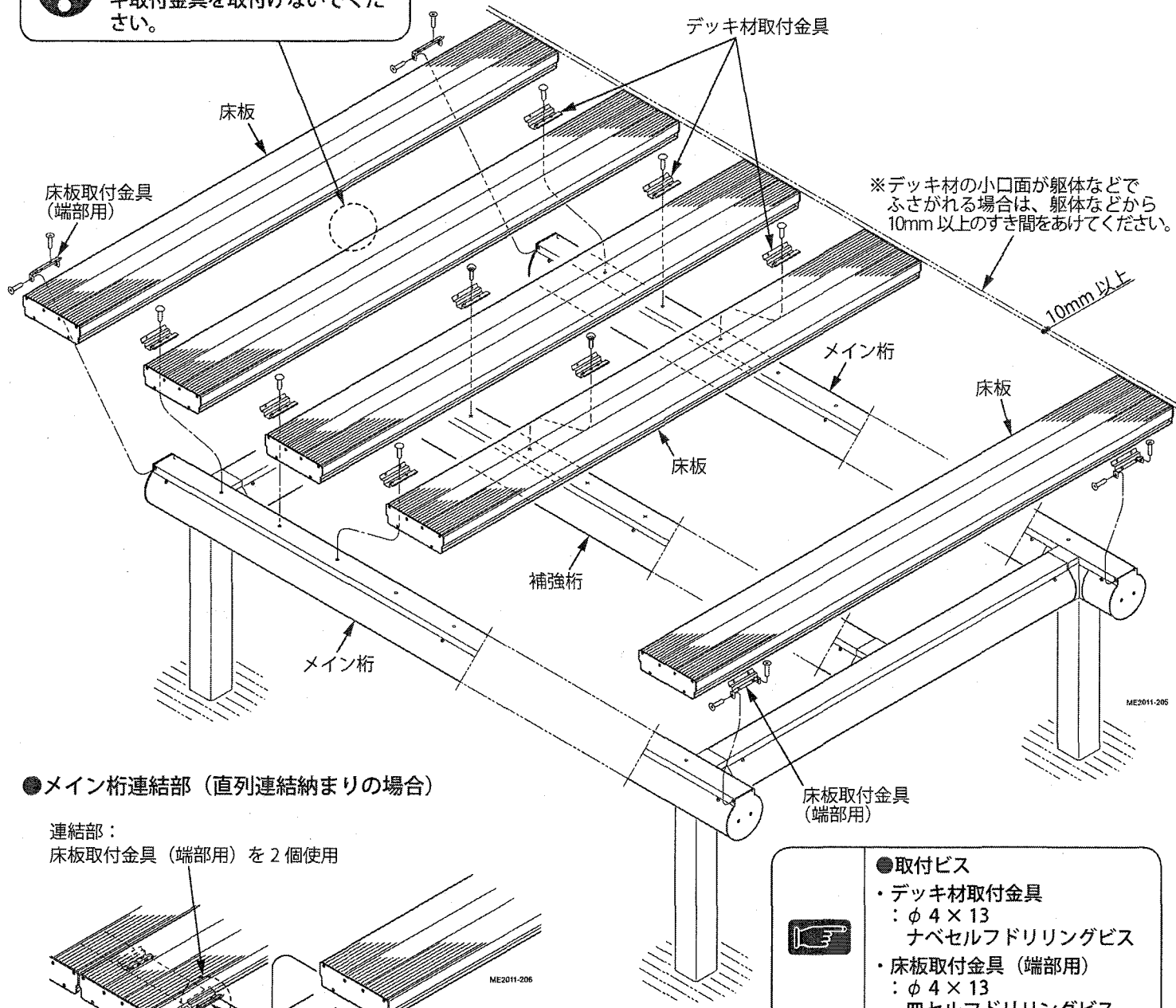


ME2011-204

2-1-3 取付イメージ図

- デッキ材取付金具と床板を、デッキ1枚につき1ヶ所、皿ビスで固定してください。
 - 床板取付金具（端部用）については、最後に取付ける側の端部に、床板へのビス止めを行ってください。
 - デッキ材取付金具をメイン桁の取付孔に合わせて取付けてください。
- ※床板すき間寸法を5mmで納めることができます。
- ※補強桁には取付孔がありません。デッキ取付金具をメイン桁に取付け、床板の位置が決まってから金具をあてがって取付けてください。
- 手すりを取付ける場合は、床板取付前に床板補強材部品を床板に取付けてください。（詳細は「2-2-2.」参照）

! D1500の場合、補強桁上の端部と2番目の床板の間には、デッキ取付金具を取付けないでください。



●メイン桁連結部（直列連結納まりの場合）

連結部：
床板取付金具（端部用）を2個使用

●取付ビス

- ・デッキ材取付金具
：φ4×13
ナベセルフドリリングビス
- ・床板取付金具（端部用）
：φ4×13
皿セルフドリリングビス

※本図はD1500・標準納まりの場合を示しています。



メイン桁を連結する場合は、連結部に床板取付金具（端部用）を使用してください。

2-1-4 床板の切詰めについて



- 出巾や間口により、床板を切断する場合があります。
- 「納まり図」で必要な長さを確認し、床板を切断してください。

透光床の場合は以下の点に注意してください。



- 透光パネルは床板の部材より 8mm で切断してください。
 - 両端部のパッキンは取外さないでください。
- ※透光パネルの熱伸縮を吸収する役割があります。

2-1-5 再生木床の色について



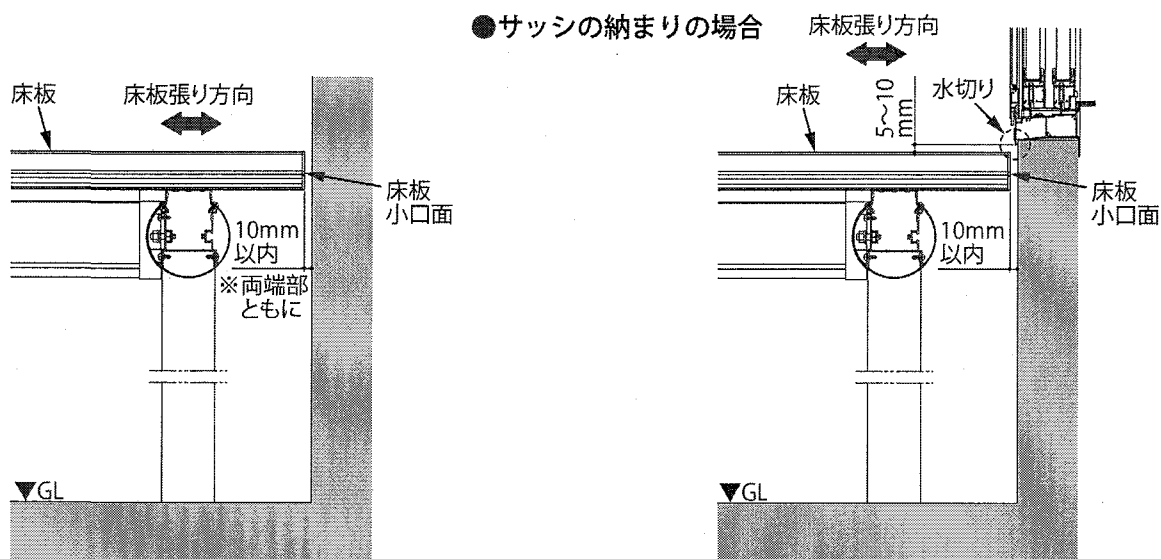
- 本商品は、100% リサイクル素材（再生木）を使用しているため、色調限度範囲内での色のばらつきがあります。
- 施工時は、床板の色を全体に分散させて取付けてください。

2-1-6 床板の水抜きについて



- 床板の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため、必ず 10mm 以上のすき間をあけて床板を取付けてください。
- シーリング材などで床板の小口面をふさがないでください。
- 両端部ともふさがれる場合には、両端部ともに 10mm 以上のすき間をあけてください。
- サッシの納まりの場合は、水切りとの間に 5 ～ 10mm のすき間をあけて床板を取付けてください。

● サッシの納まりの場合

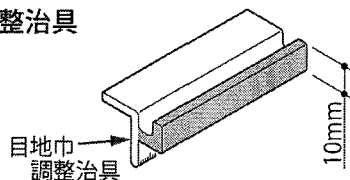


ME2011-221



すき間の調整には、目地巾調整治具を使用してください。

● 目地巾調整治具

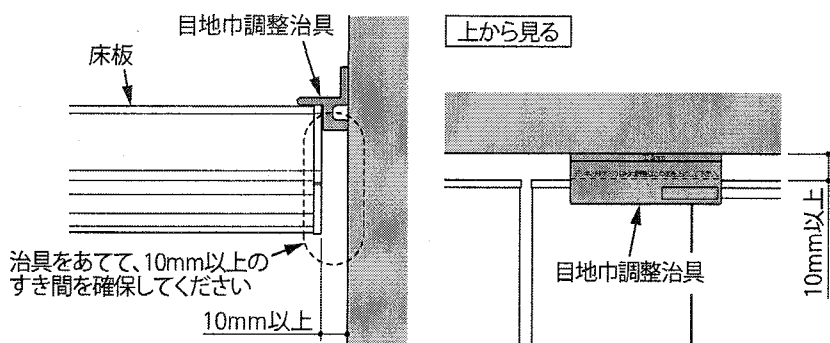


ME2011-230



治具方向に注意してください。
※部位により調整寸法が異なります。

● 調整方法



ME2011-229

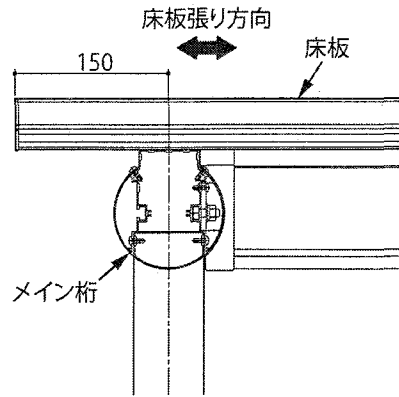
2-2 床板の取付け

2-2-1 床板取付位置の確認

- ①「納まり図」および「柱配置図」を参照して、床板の取付位置を確認してください。



床板の小口側（キャップ含む）が、メイン桁中心から150mmとなる位置に取付けてください。



ME2011-222

2-2-2 床板補強部品の取付け（※手すりを取付ける場合）



手すりを取付ける場合に参照してください。



- 床板を仮置きして、手すり柱に接する床板をあらかじめ確認してください。
※取付けは手すり柱に接する床板にのみです。
- 手すりを正面側・妻面側に手すりを取付ける場合で施工内容が異なります。

正面側（メイン桁側）に手すりを取付ける場合

- ①床板補強部品を床板に取付けてください。

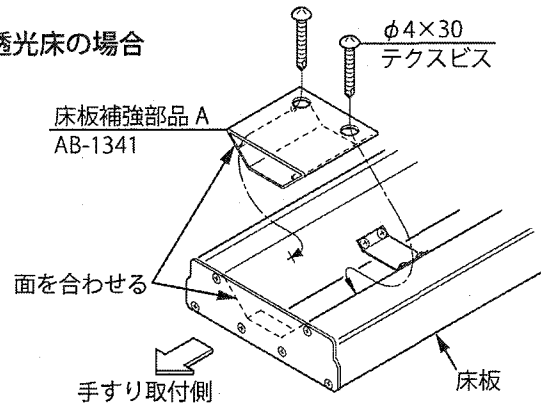


床板の種類によって取付けが異なります。

- ・透光床：床板補強部品 A を底面に取付け
- ・再生木床：床板補強部品 B1 を床板に挿入

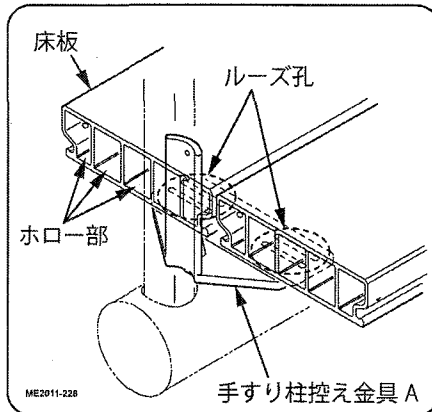
- ②再生木床の場合は、端部キャップを床板に取付けてください。

●透光床の場合

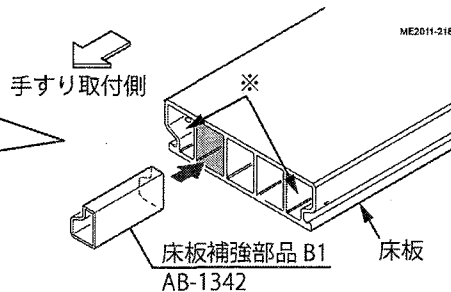


ME2011-217

●再生木床の場合



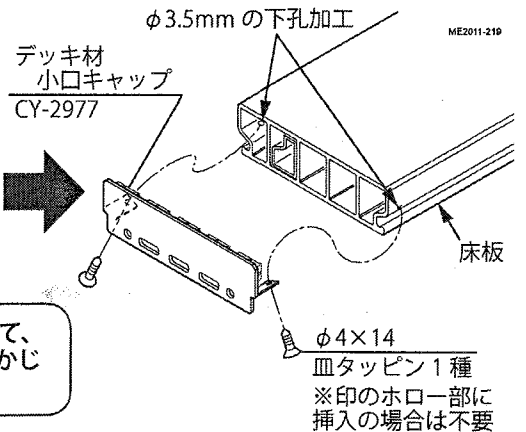
ME2011-228



ME2011-218



手すり柱控え金具 A をあてがって、ルーズ孔に合うホロー部をあらかじめ確認してください。



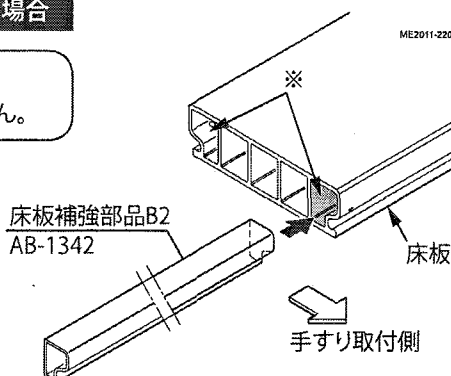
ME2011-219

妻面側（妻面桁側）に手すりを取付ける場合

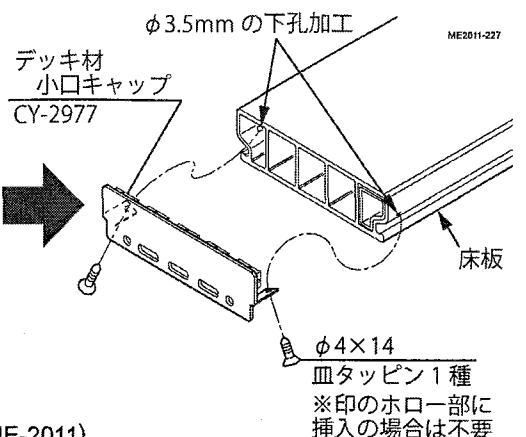


再生木床の場合のみです。
※透光床の場合は必要ありません。

- ①床板補強部品 B2 を床板に挿入してください。
- ②端部キャップを床板に取付けてください。



ME2011-220

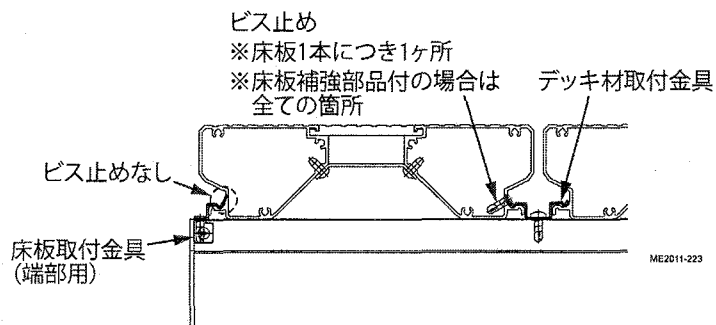


ME2011-227

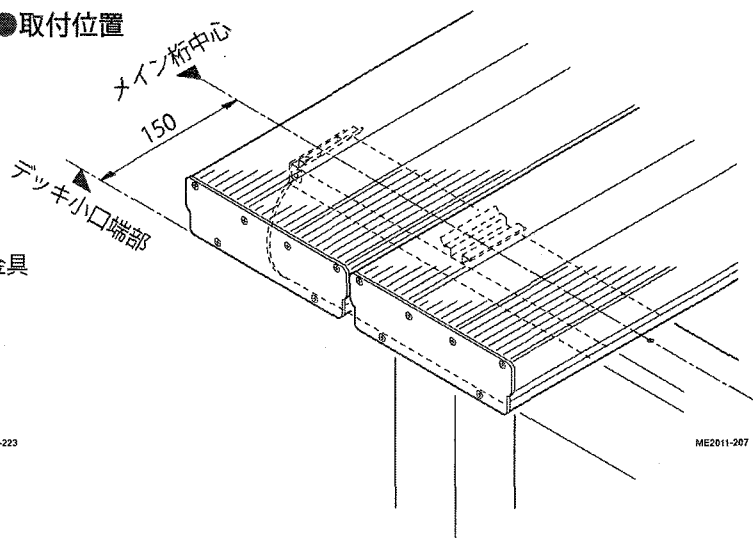
2-2-3 床板の取付け

- ①床板をメイン桁端部に置いてください。
- ②床板取付金具（端部用）をメイン桁に取付け、床板を固定してください。

●取付詳細図



●取付位置



- 床板取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。



- 側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。

※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。

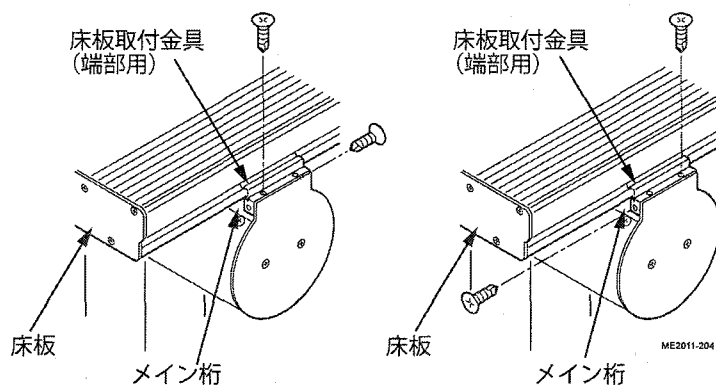
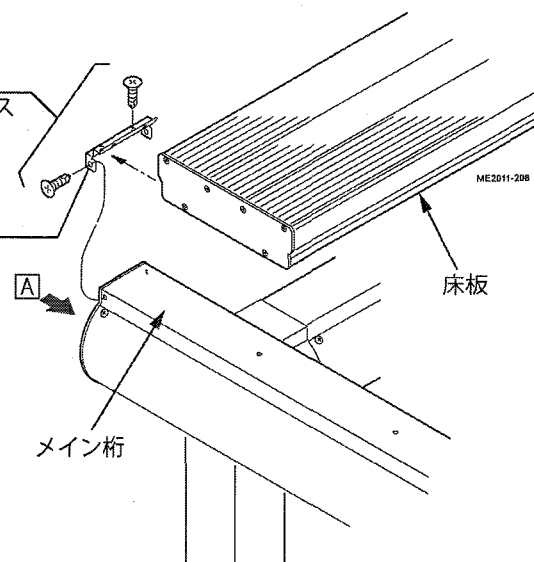
※ただし、メイン桁の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。

φ4×13

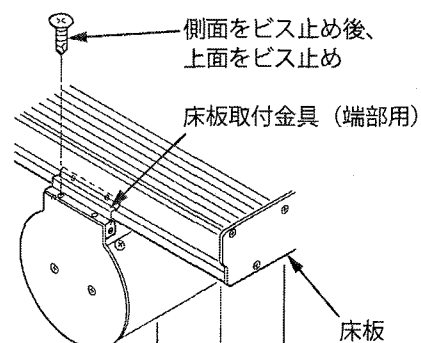
皿セルフドリリングビス

床板取付金具（端部用）

ETC-5594



●ビスの打ちかた (Aから見る)



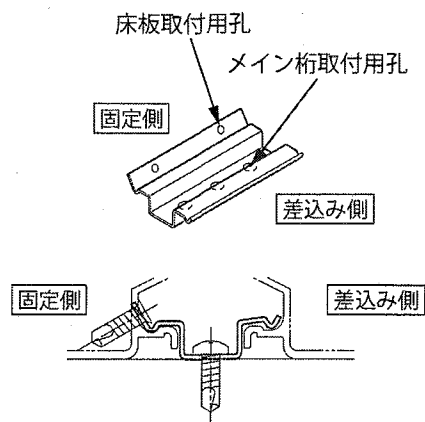
床板の取付け

- ③デッキ材取付金具の固定側で、床板のツメを固定し、ビスでメイン桁に取付けてください。



デッキ材取付金具の向きに注意してください。

●デッキ材取付金具の向き



ME2011-202

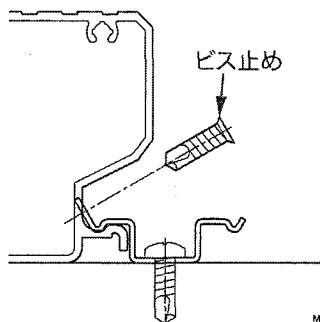
- ④デッキ材取付金具と床板を、皿ビスで固定してください。



●床板 1 枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。

※ビス止め位置を同じメイン桁上にそろえてください。

●手すり柱を取付ける位置の床板は、全ての箇所にビス止めしてください。



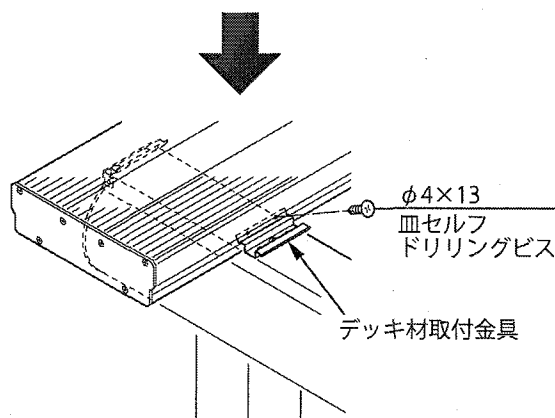
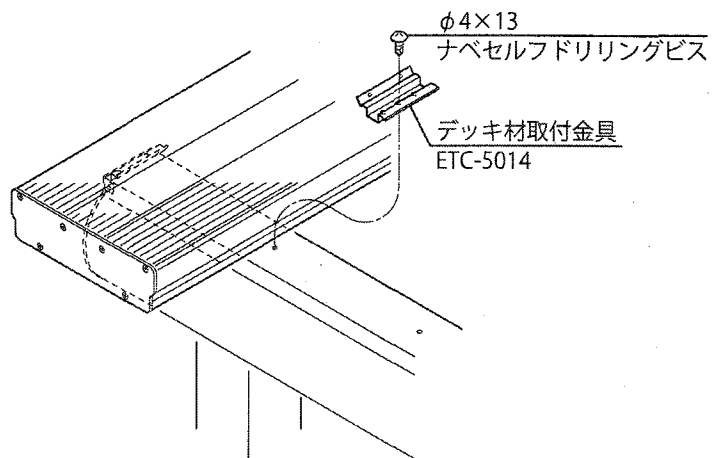
ME2011-224

- ⑤デッキ材取付金具の差込み側に床板のツメを差込んでください。

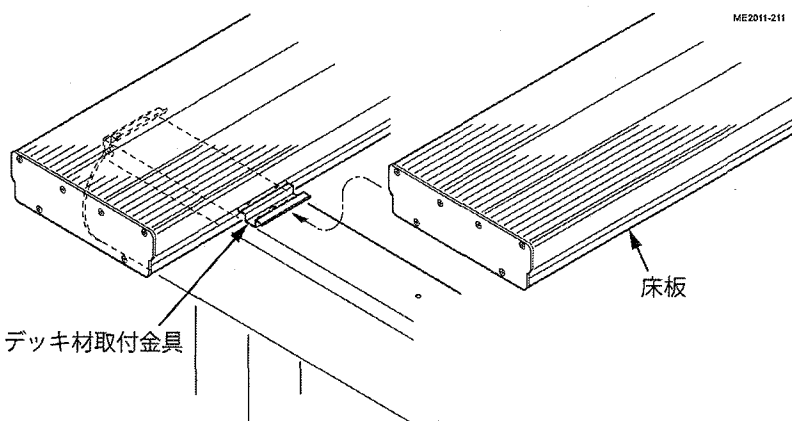


床板を水平に押し込んでください。
(次ページ参照)

- ⑥「手順③～⑤」の手順を繰り返し、床板を全て取付けてください。



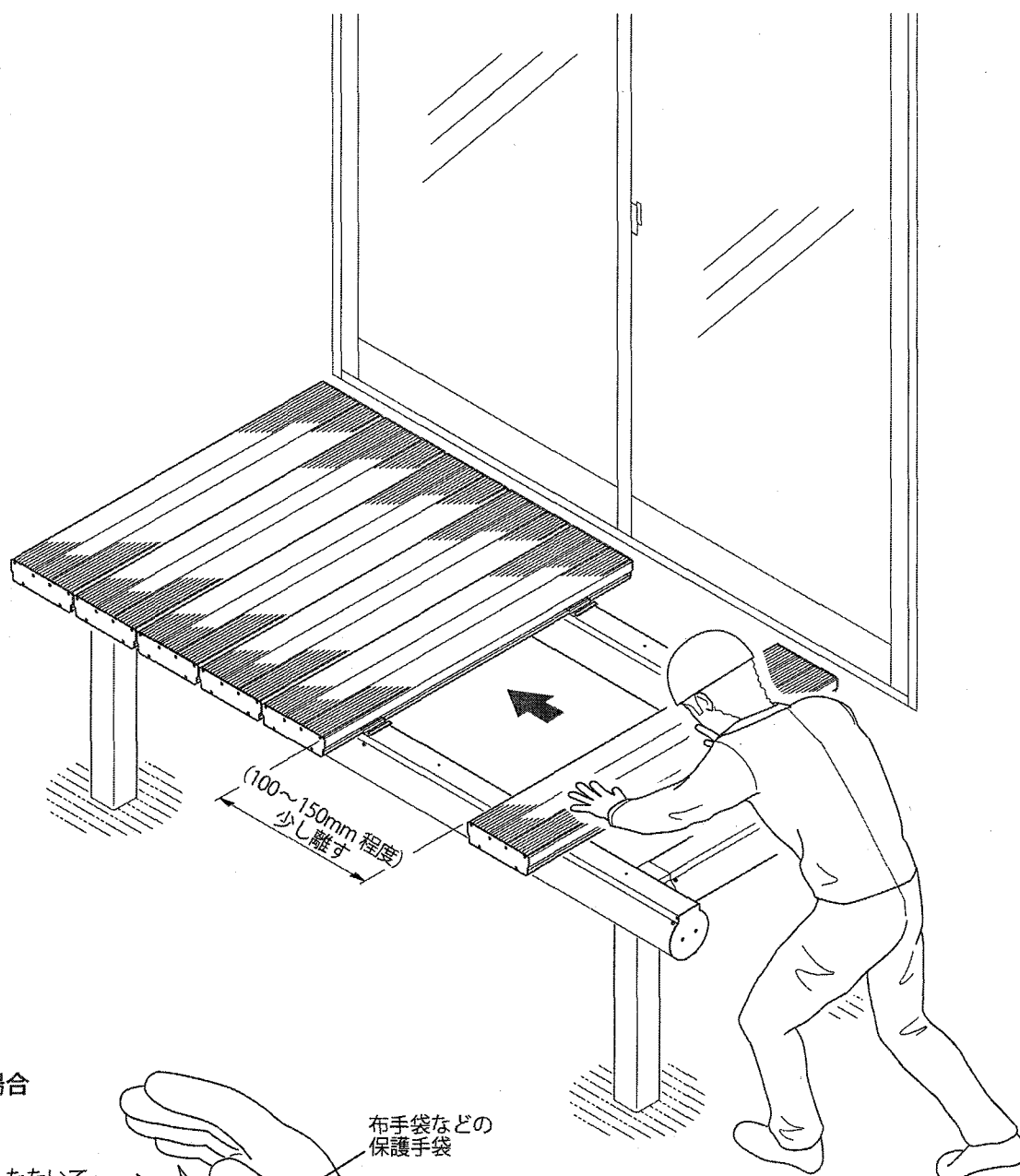
ME2011-210



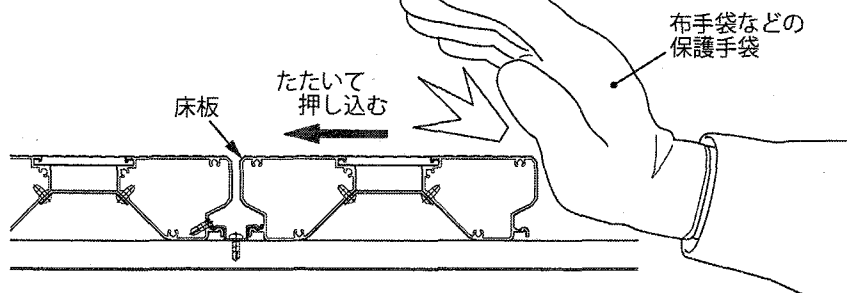
ME2011-211

●床板取付けのポイント

- 皮手袋などの保護手袋を着用し、ケガに注意して作業を行ってください。
- 下図を参照し、床板を水平に押し込んでください。
- 床板が入りにくい場合は、床板を手のひらでたたいて押し込んでください。
- ハンマーなどでたたき込まないでください。床板の割れの原因となります。



●床板が入りにくい場合



ME2011-212

ME2011-226

床板の取付け

⑦床板取付金具（端部用）をビスで固定してください。

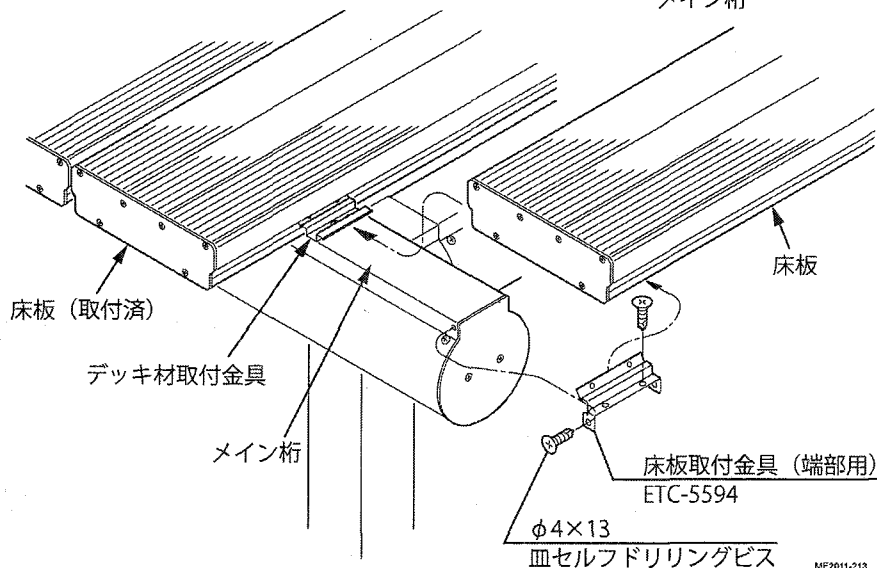
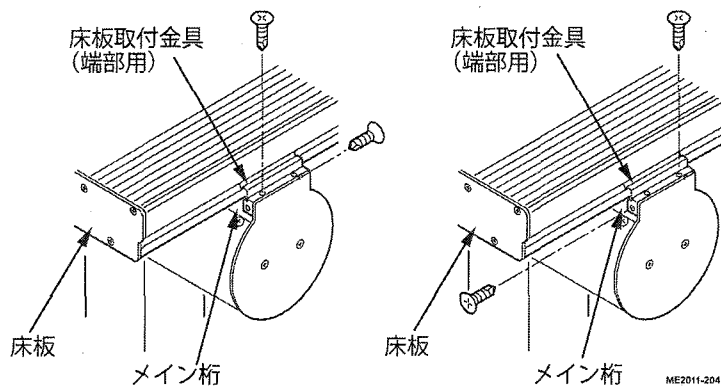
●床板取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。



●側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。

※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。

※ただし、メイン桁の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。

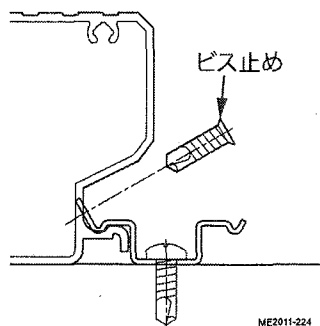


⑧床板取付金具（端部用）と床板を、皿ビスで固定してください。

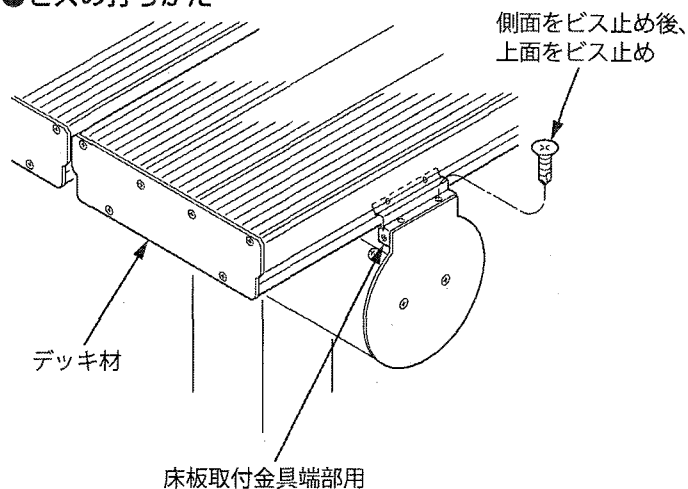


床板1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。

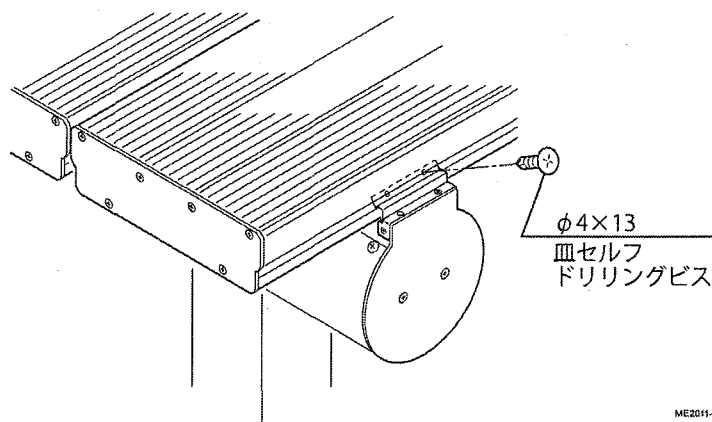
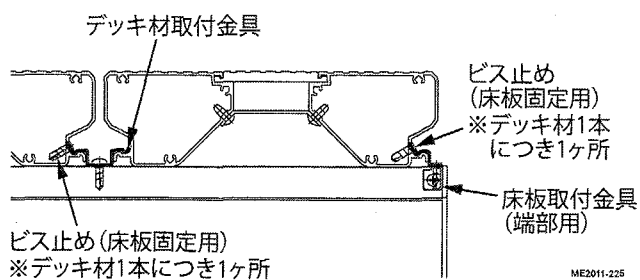
※ビス止め位置を同じメイン桁上にそろえてください。



●ビスの打ちかた



●取付詳細図



3

階段の取付け

●階段を取付ける場合に参照してください。

3-1 施工前の確認

3-1-1 階段踏板の種類

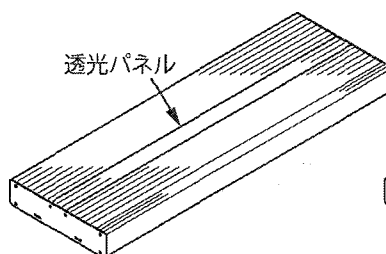


本商品には、右記の2種類の階段踏板を取付けることができます。

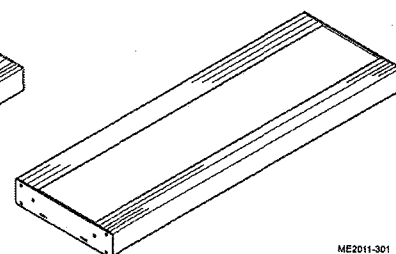


透光パネルには養生シートが貼られています。施工後に剥がしてください。

●透光踏板



●再生木踏板



ME2011-301

3-1-2 施工前の確認



事前に階段取付プランおよび完成プランを確認してください。

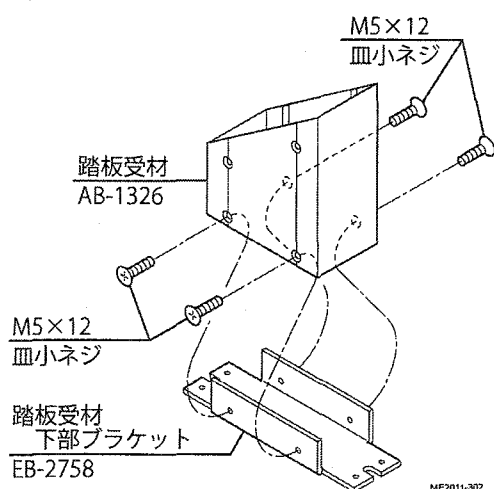
・階段取付プラン：「1-1-1.」参照

3-2 階段桁の組立て

①踏板受材を踏板下部ブラケットに取付けてください。



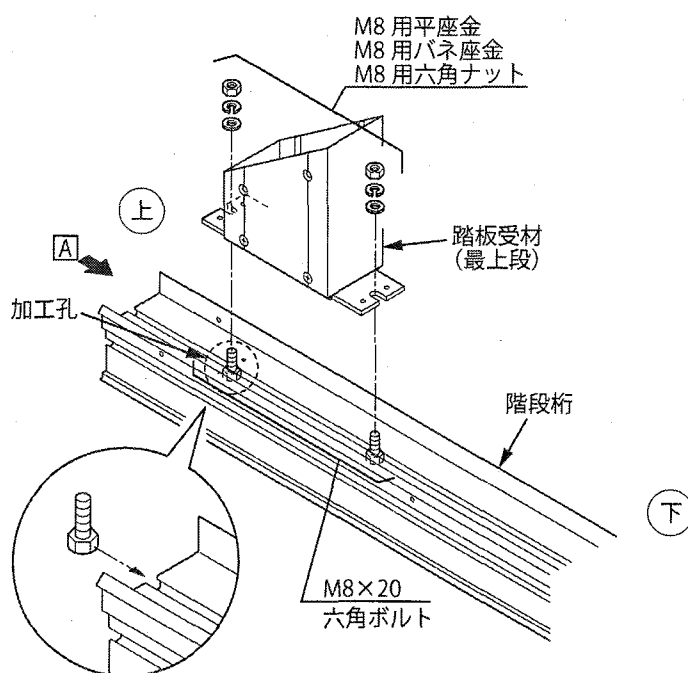
階段の段数分、組立ててください。



ME2011-302

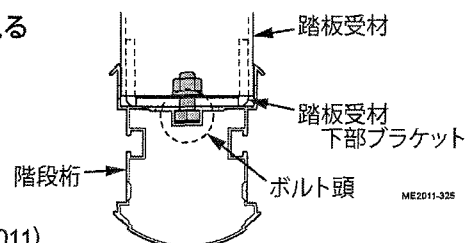
②六角ボルト（ボルト頭）を、階段桁上面のミゾにスライドさせて挿入してください。

③六角ボルトに踏板下部ブラケットを取付けてください。



ME2011-303

●Aから見る



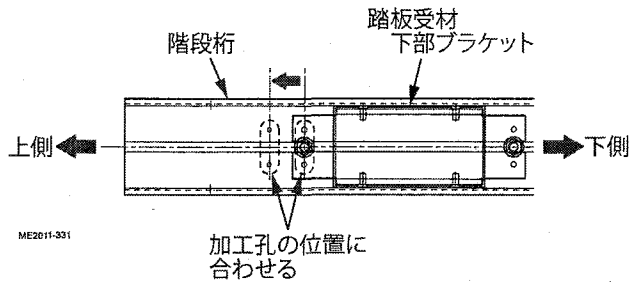
ME2011-325

階段の取付け

- ④最上段の踏板受材を、階段桁の加工孔の位置で六角ナットを本締めし、固定してください。



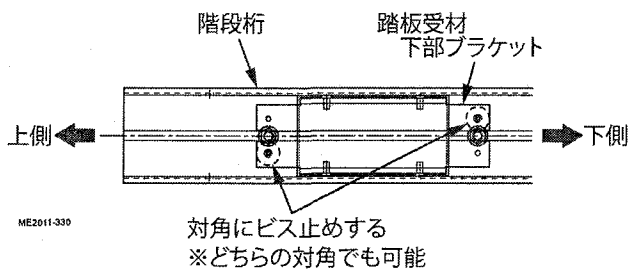
最上段から先に取付けてください。
※下段の取付けの基準となります。



- ⑤最上段の受材下部ブラケットの取付孔を、ビス止めしてください。



受材下部ブラケットは、4ヶ所の加工穴のうち対角を2点止めしてください。
※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。



- ⑥「手順②～⑤」と同様の手順で、下段の踏板受材も階段桁に取付けてください。

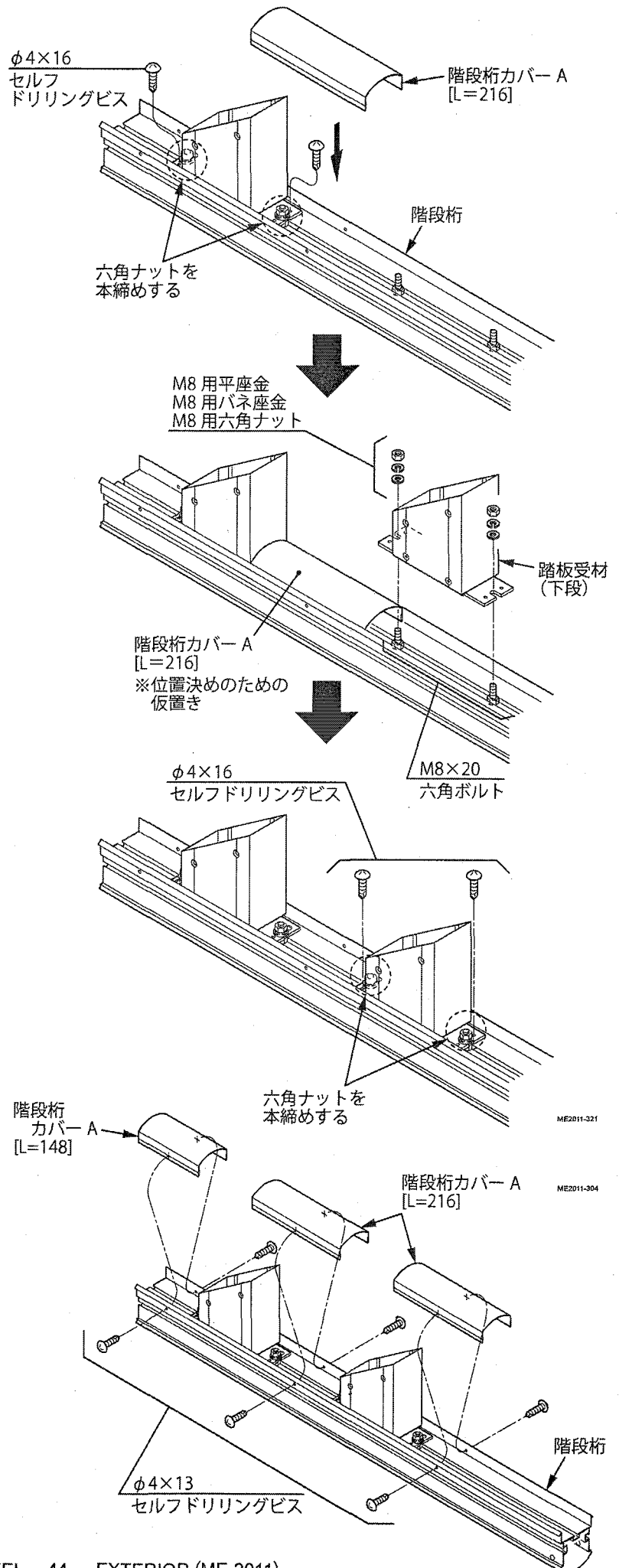


下段以降の踏板受材は、階段桁カバー A [L=216] を当てて位置を決めてください。

- ⑦階段桁カバー A を、階段桁に取付けてください。



階段桁カバー A には、最上段部用と中間部用の区別があります。
・最上段部用：148mm
・中間部用：216mm



3-3 階段手すり接続部品の取付け



●階段に手すりを取付ける場合に参照してください。

●ここでは、接続部品のみを取付け、手すり本体の施工は、後工程で行います。

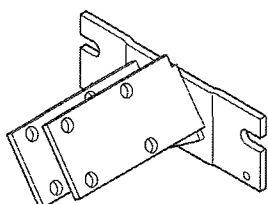
①六角ボルト（ボルト頭）を、手すりを取付ける階段桁のミゾにスライドさせて挿入してください。

②階段手すりブラケットを六角ボルトに取付けてください。

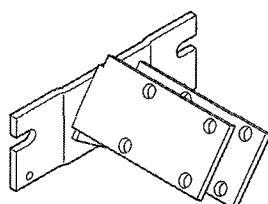


階段手すりブラケットには、左・右の区別があります。

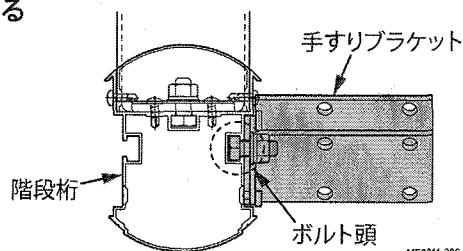
●左用



●右用



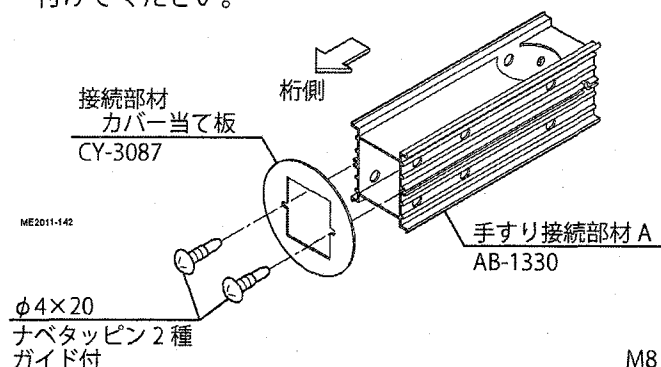
●Aから見る



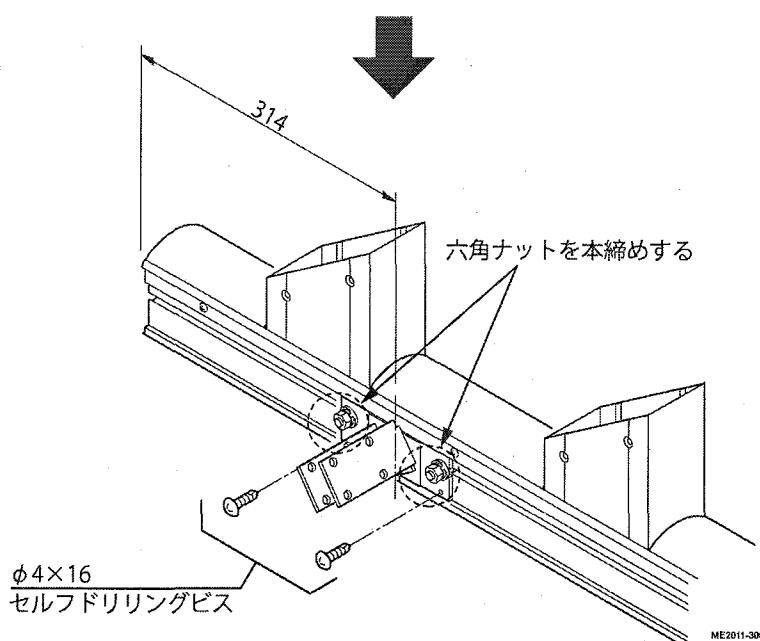
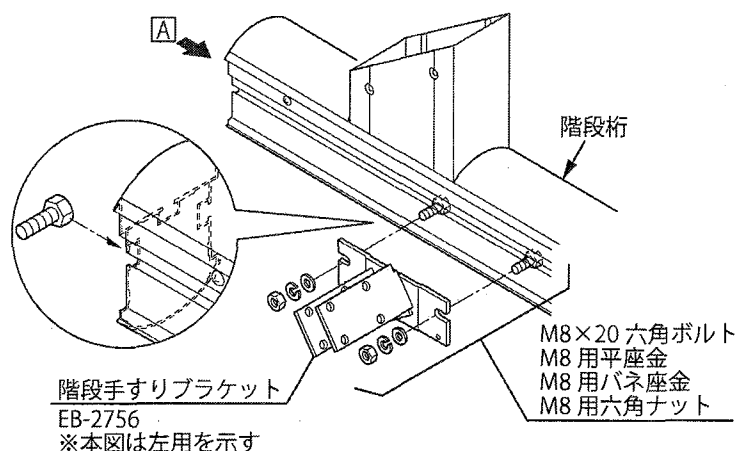
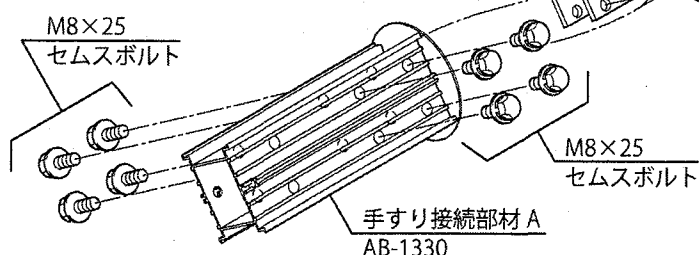
③階段手すりブラケットの六角ナットを、右図の位置で本締めしてください。

④階段手すりブラケットを階段桁にビス止めしてください。

⑤手すり接続部材 A に接続部材カバー当て板を取付けてください。

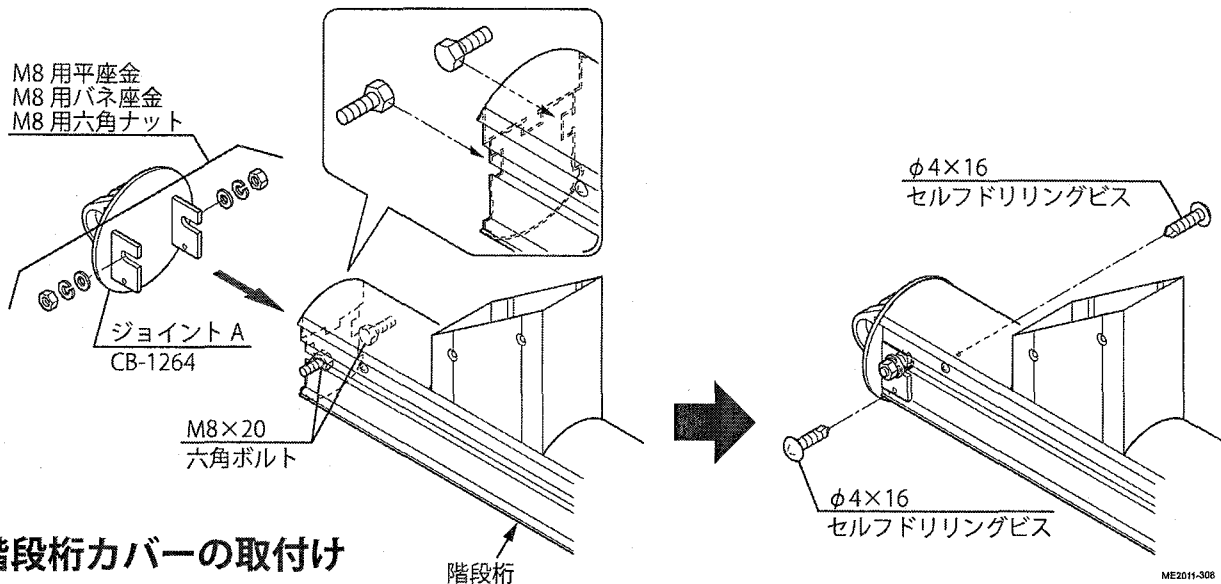


⑥手すり接続部材 A を、階段手すりブラケットに取付けてください。



3-4 階段接続部品（ステアー側）の取付け

①ジョイント A を階段桁上端部に取付けてください。



3-5 階段桁カバーの取付け

3-5-1 階段桁カバーの切出し

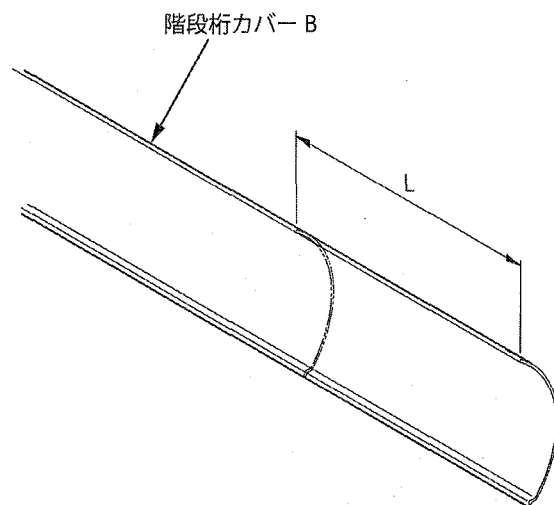


階段桁カバー B を、手すりを取付ける場合は、現場で指定寸法で切出してください。
※手すりを取付けない場合は、切断の必要はありません。

①階段桁カバー B を、下表の寸法で切断してください。

●切断寸法表 (mm)

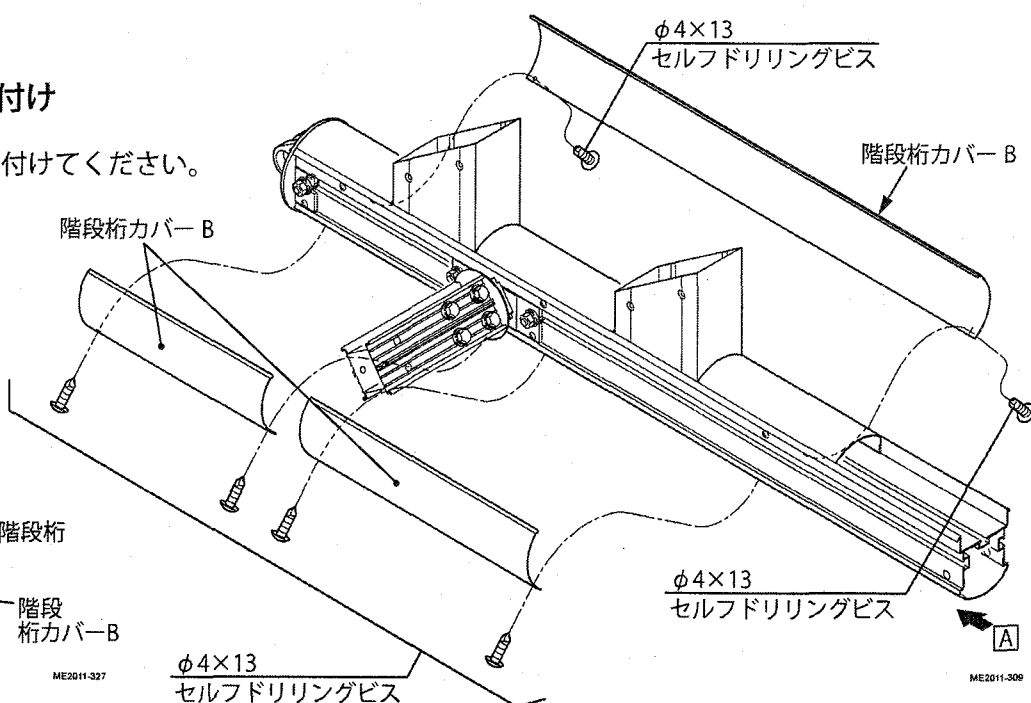
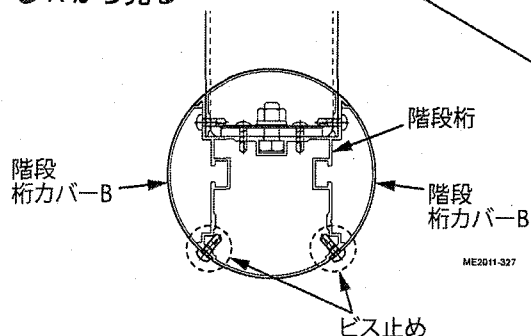
段数	上用		下用	
	L	本数	L	本数
2 段	284	1	356	1
3 段			516	1



3-5-2 階段桁カバーの取付け

①階段桁カバー B を、階段桁に取付けてください。

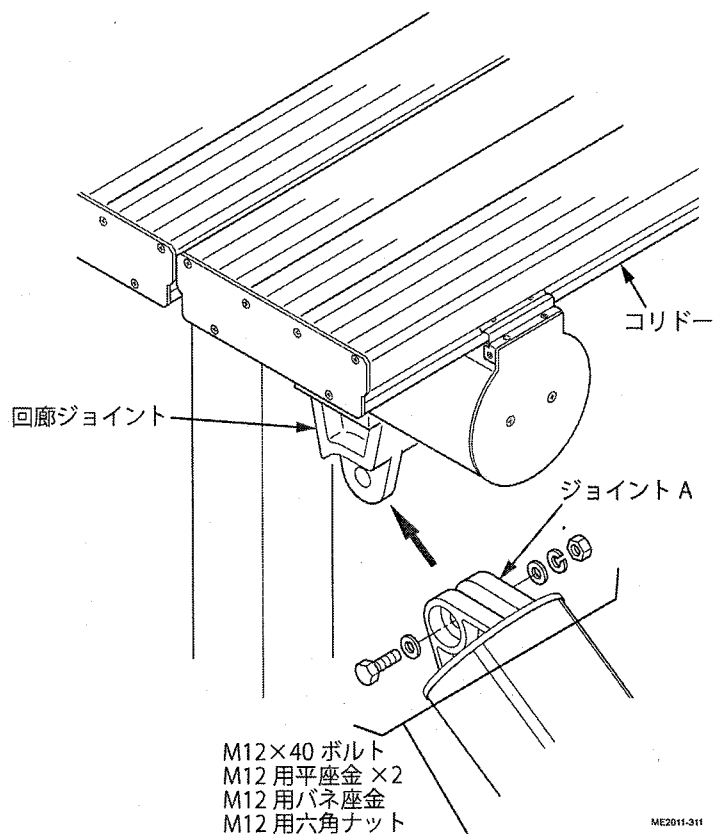
●A から見る



※本図は手すりを取付ける場合を示しています。

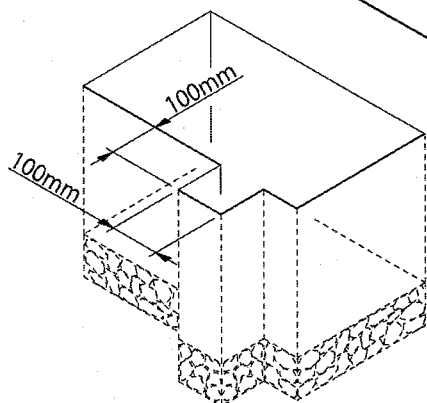
3-6 階段の接続

- ①階段取付位置に基礎穴を掘ってください。
- ②階段桁のジョイント A を、メイン桁の回廊ジョイントに取付け、階段を連結させてください。

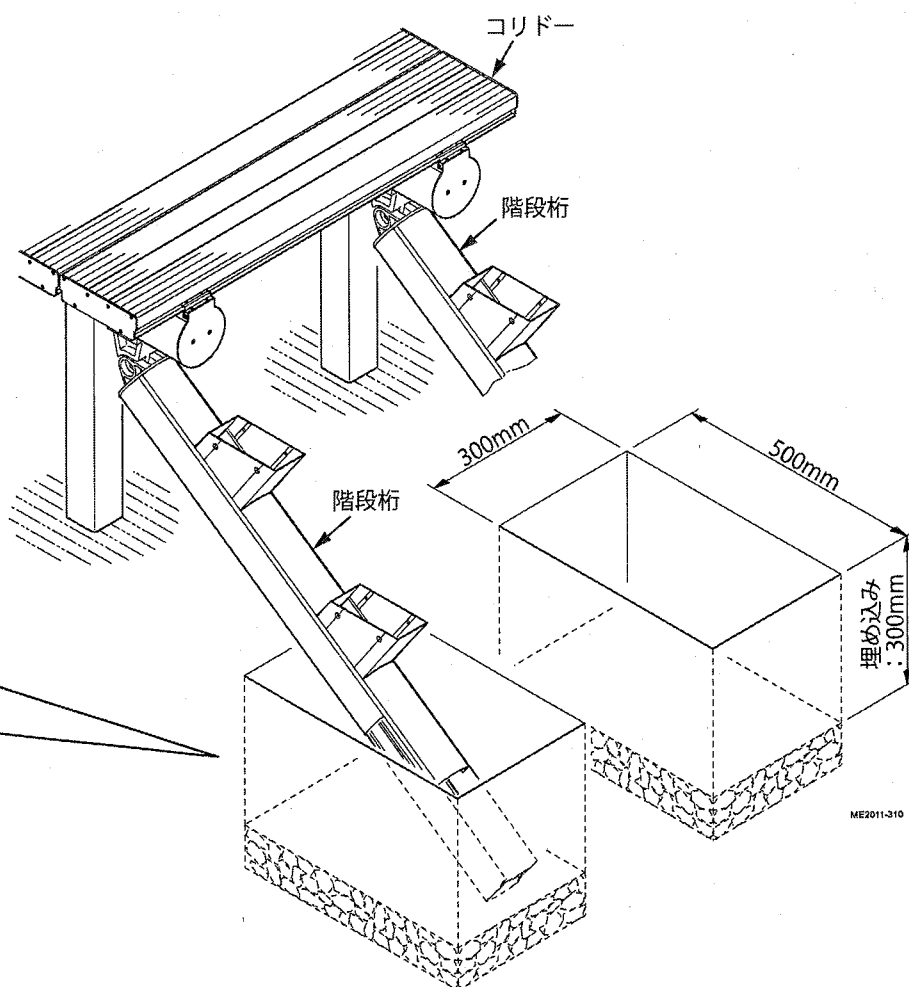


手すりを取付ける場合は、手すり柱（ステアー下部用）の基礎穴も合わせて掘ってください。
※基礎穴位置は「納まり図」および完成プランを確認してください。

●手すりを取付ける場合



※本図は階段左側に手すりを取付ける場合を示しています。



3-7 手すり柱（ステアー用）の取付け

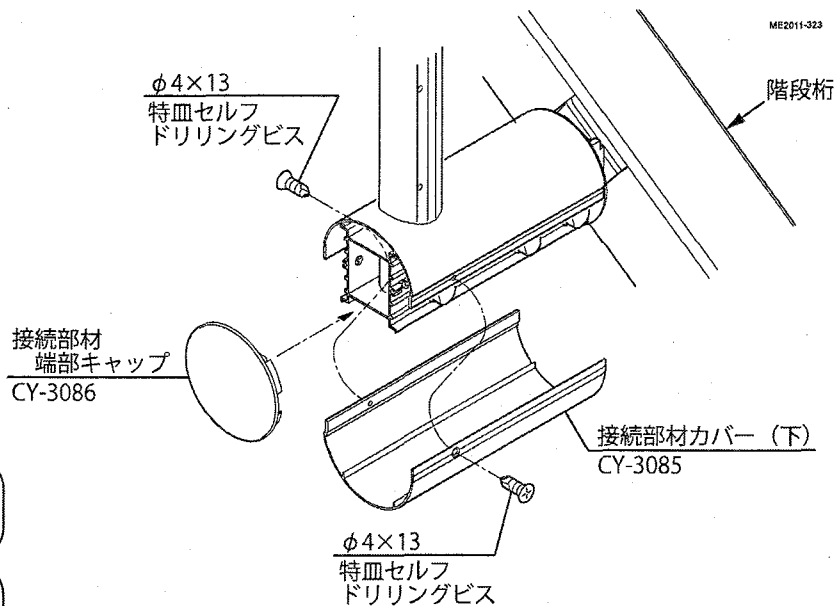
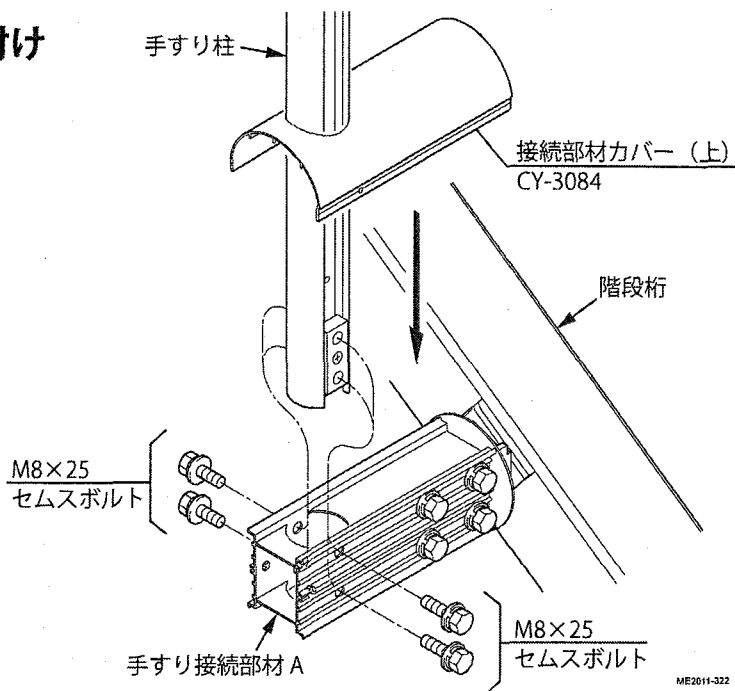


階段に手すりを取付ける場合に参照してください。



手すり柱（ステアー下部用）の設置は、後工程で行います。

①「1-6.手すり柱（コリドー用）の取付け」と同様の手順で、手すり柱を取付けてください。

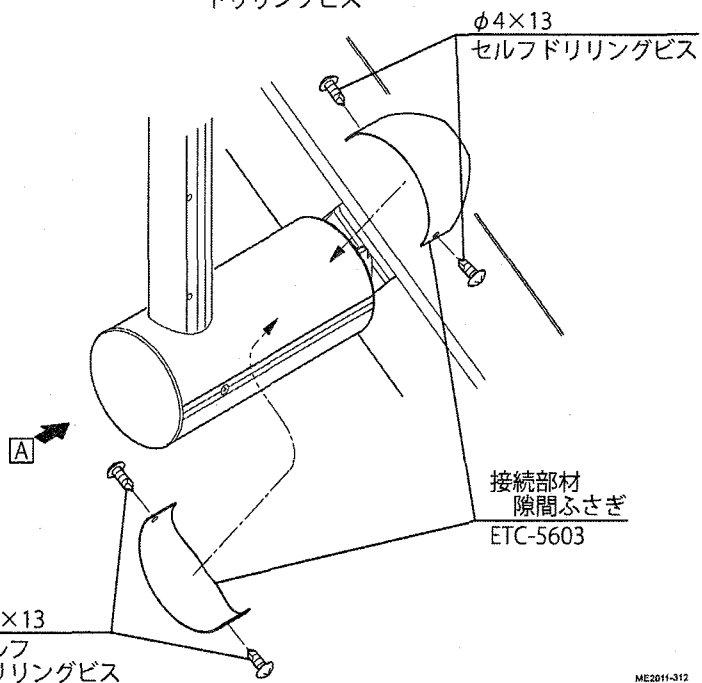
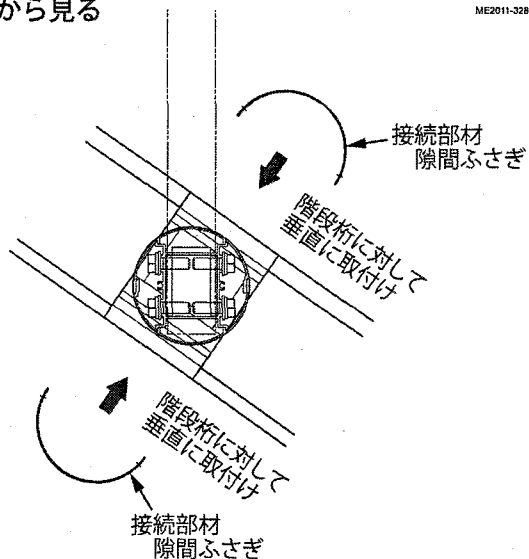


接続部材隙間ふさぎを取付けてください。



- 階段桁側面の丸みに合わせて、任意の位置でビス止めしてください。
- 接続部材隙間ふさぎ取付後も、階段桁下部との間にはわずかな隙間が生じます。

● A から見る



3-8 踏板の取付け

3-8-1 踏板の組立て

- ①踏板取付裏板を、踏板内部にスライドさせて挿入してください。



踏板の端部キャップの穴から挿入してください。

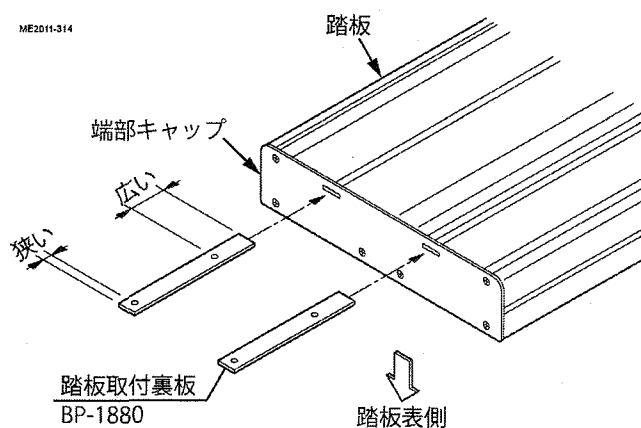
※端部キャップを取外す必要はありません。



裏板は、必ず端部と加工孔までの寸法が広い側から挿入してください。

※逆側から挿入すると、手すりを取付ける場合に後工程で手すり柱控え金具 A を取付けることができません。

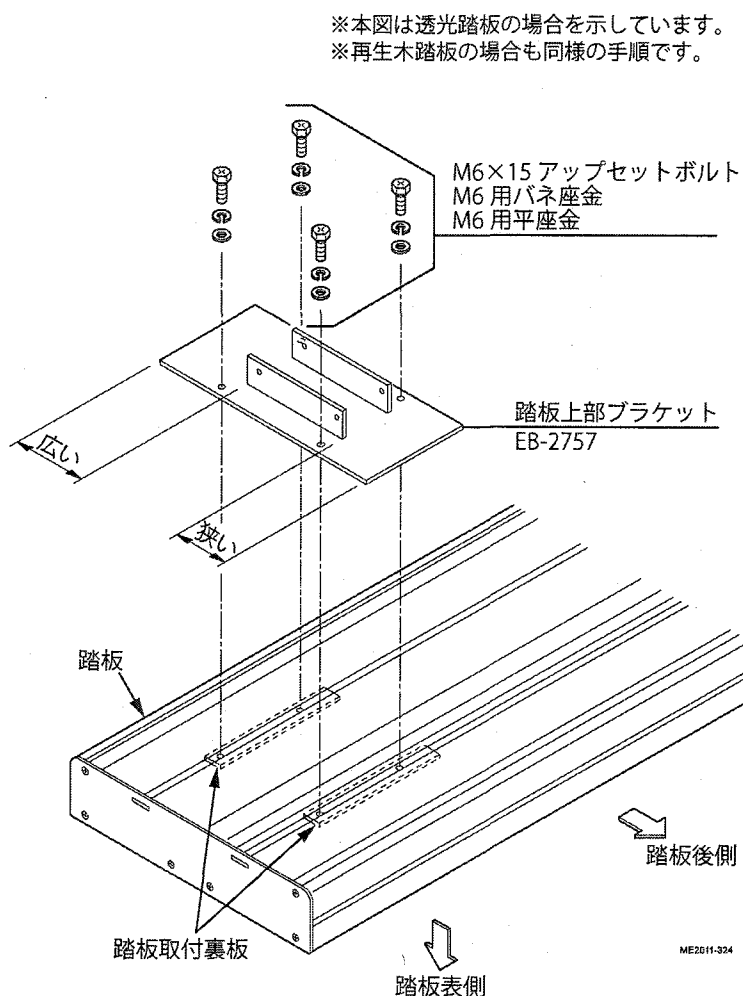
ME2011-314



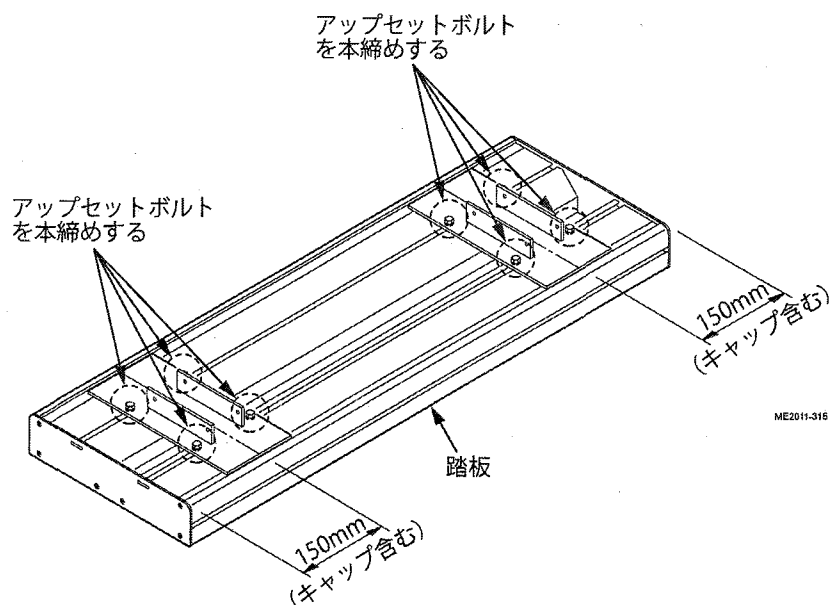
- ②踏板上部ブラケットを、踏板取付裏板に取付けてください。



踏板上部ブラケットには取付の向きがあります。右図で確認してください。



- ③踏板上部ブラケットのアップセットボルトを、右図の位置で本締めしてください。

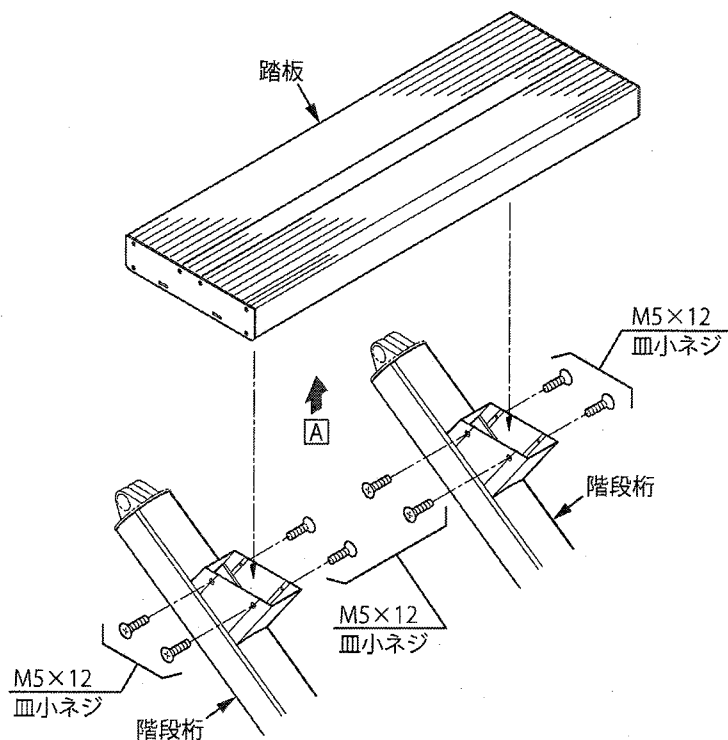
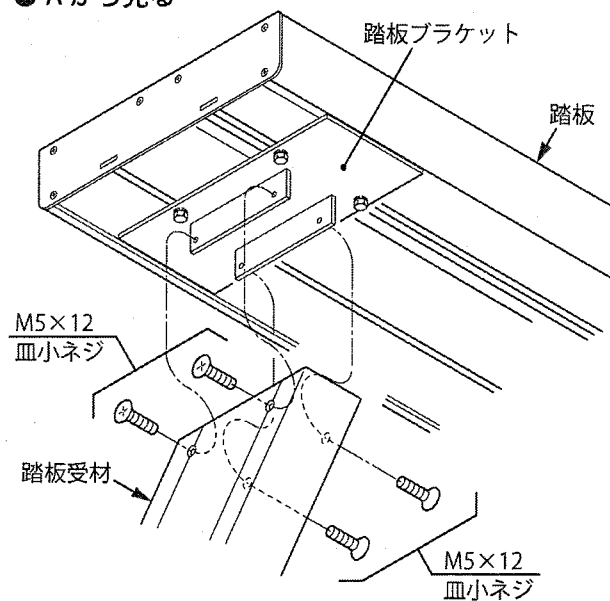


階段の取付け

3-8-2 踏板の取付け

- ①踏板的踏板上部ブラケットを、階段桁の踏板受材に取付けてください。

● A から見る



3-9 階段の設置



手すりを取付ける場合は、後工程で行います。ここでは固定しないでください。
※詳細は「4-5.」参照

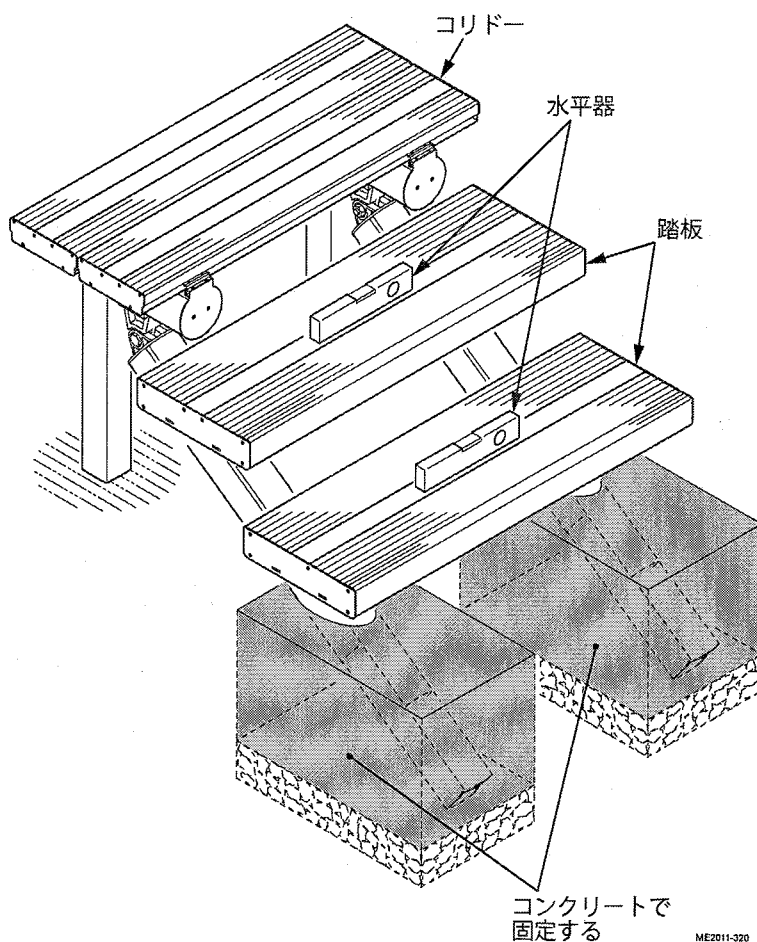
- ①階段をコンクリートで固定してください。



- 踏板的高さとレベルを正確に合わせてください。
- 階段桁の傾斜角度は 35°（角度一定）です。



地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように、桁位置を決めてください。



4

手すりの取付け

●手すりを取付ける場合に参照してください。

4-1

手すり柱控え金具の取付け

※本図は透光床の場合を示しています。



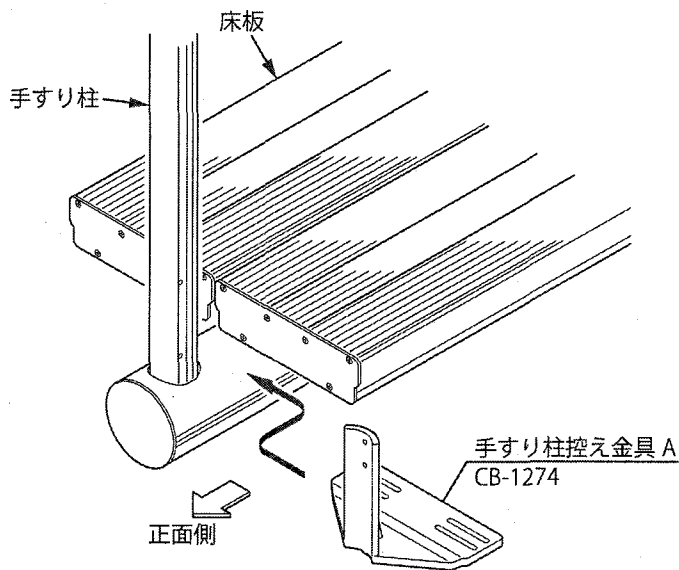
手すりを正面側・裏面側に取付ける場合で
施工内容が異なります。

正面側

①手すり柱控え金具 A を、手すり柱下部に配置してください。



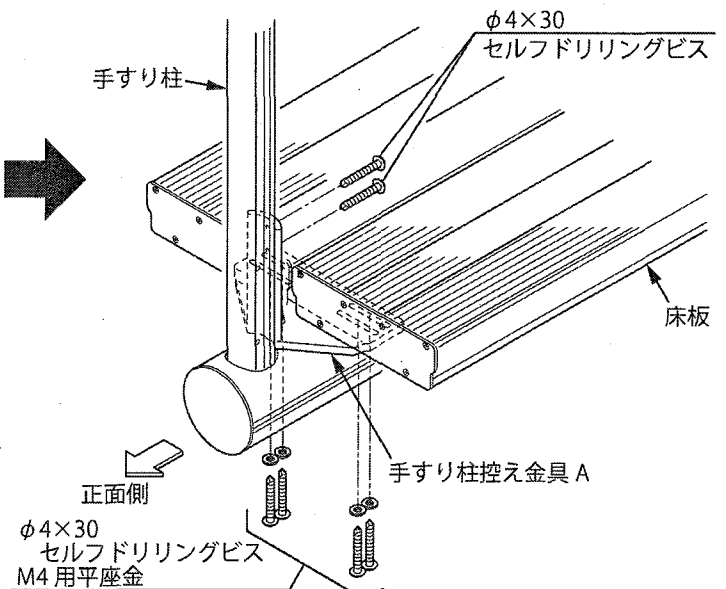
床板と手すり柱・手すり部材のすき間に、
横方向からスライドするように配置してください。



②手すり柱控え金具 A を、床板と手すり柱へ固定してください。



- 再生木床の場合、ビス止め位置に床板内部の床板補強部品があることを確認してください。
- 透光床の場合、ビス止め位置は床板補強部品以外の箇所（アルミ材）でも可能です。



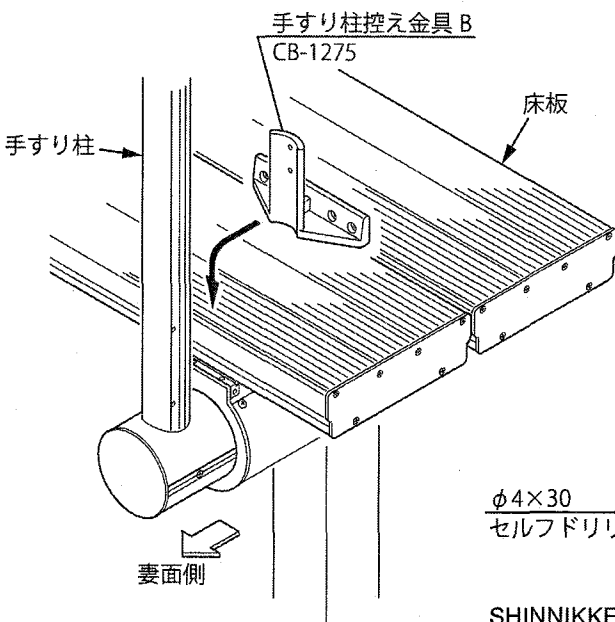
ME2011-410

裏面側

①手すり柱控え金具 B を、手すり柱下部に配置してくだ
さい。



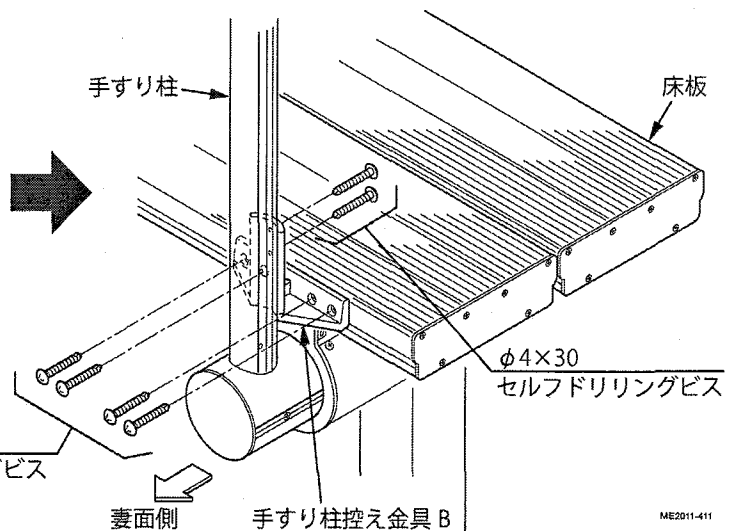
床板と手すり柱のすき間に、上方向からスライド
するように配置してください。



②手すり柱控え金具 B を、床板と手すり柱へ固定してください。



- 再生木床の場合、ビス止め位置に床板内部の床板補強部品があることを確認してください。



ME2011-411

手すりの取付け



階段に手すりを取付けた場合は、手すり柱（ステアー上部用）と最上段の踏板との間にも手すり柱控え金具を取付けてください。

階段踏板

- ①控え金具裏板を、踏板内部にスライドさせて挿入してください。



踏板の端部キャップの穴から挿入してください。
※端部キャップを取外す必要はありません。

- ②手すり柱控え金具 A を、手すり柱（ステアー上部用）下部に配置してください。

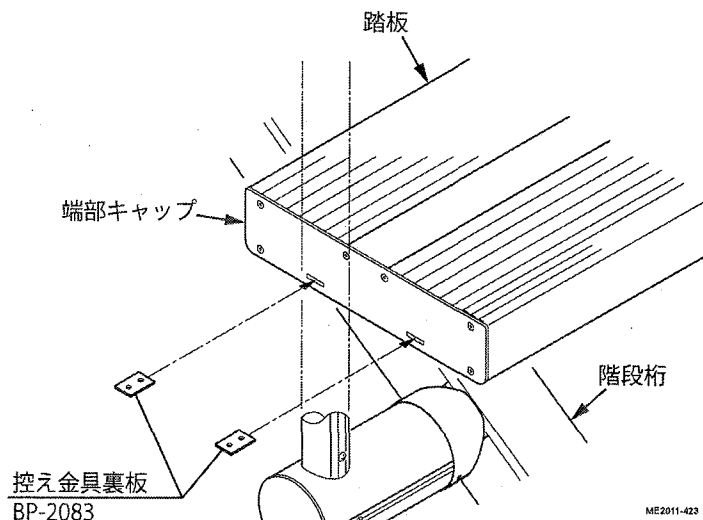


踏板と手すり柱・手すり部材のすき間に、横方向からスライドするように配置してください。

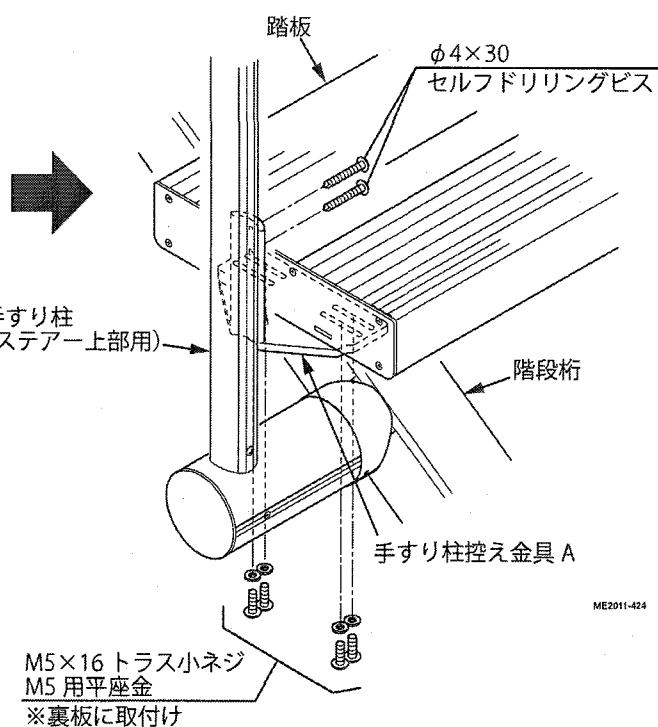
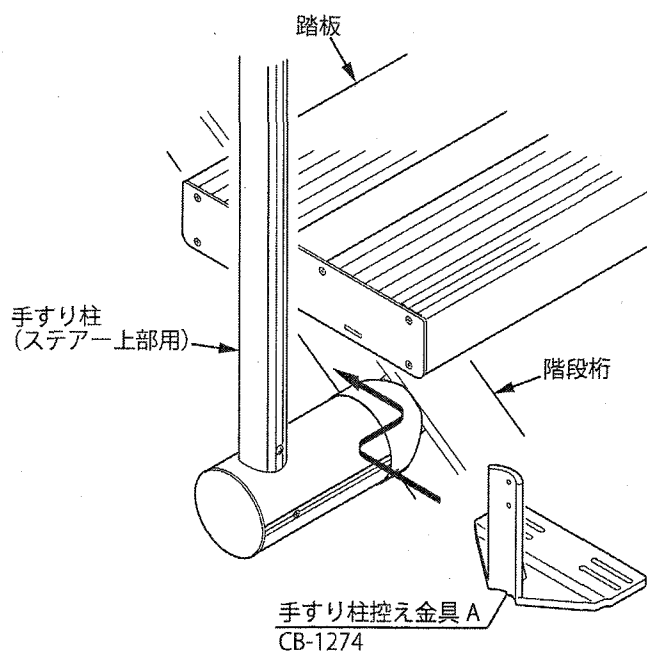
- ③手すり柱控え金具 A を、踏板と手すり柱（ステアー上部用）へ固定してください。



踏板へは「手順①」で取付けた裏板へ取付けてください。



ME2011-423



ME2011-424

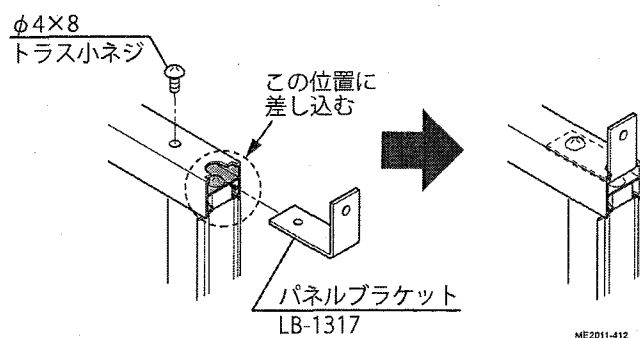
4-2 パネルの取付け



パネルを取付ける場合に参照してください。

①パネルブラケットを手すりパネルに取付けてください。

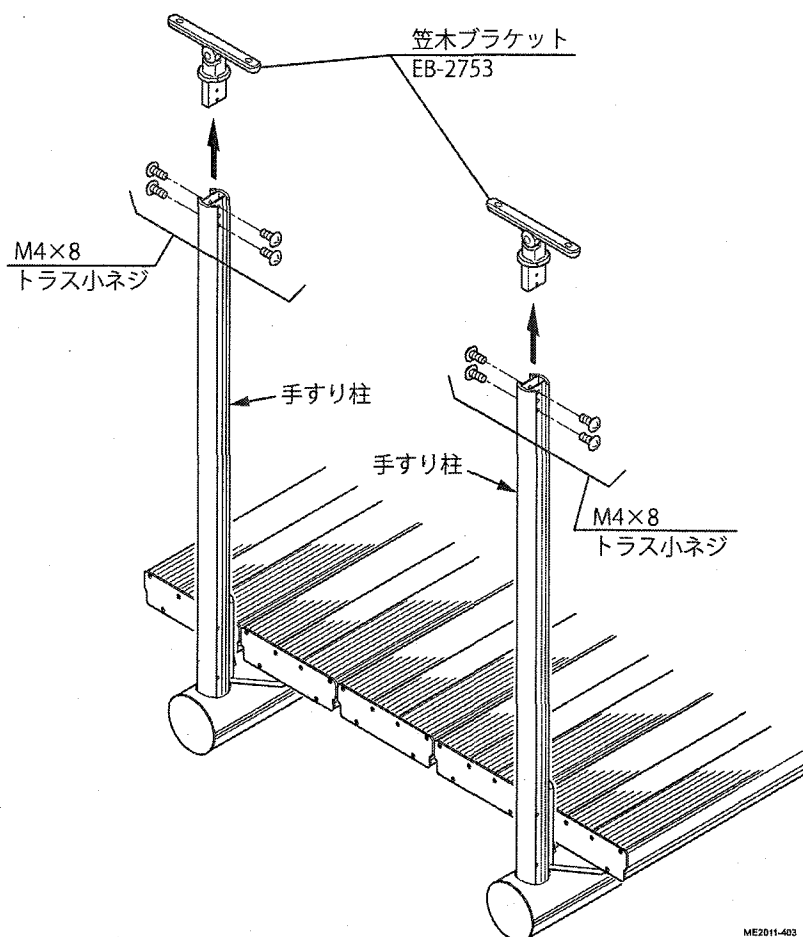
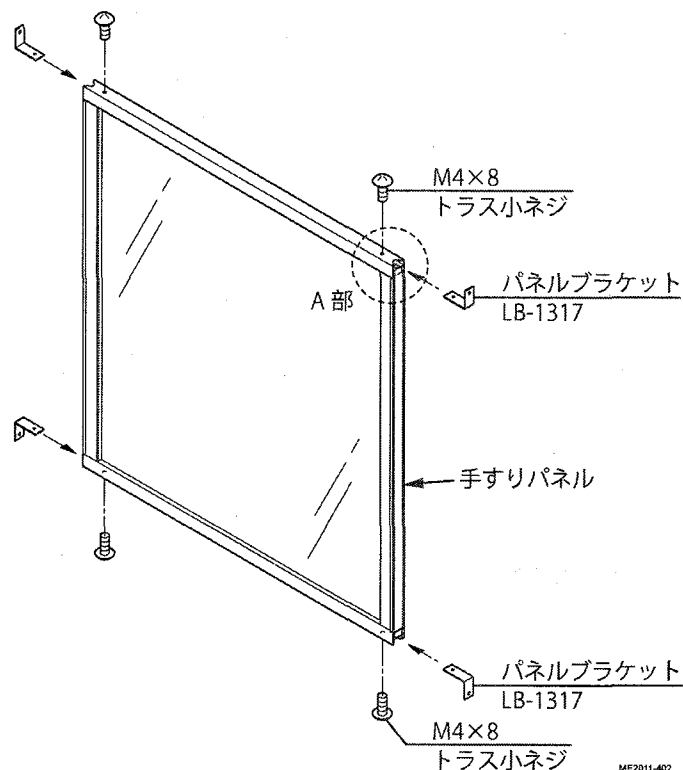
● A 部詳細図



②手すり柱から、笠木ブラケットを取外してください。



取外した部品は、再度取付けますのでなくさないでください。



手すりの取付け

③手すりパネルを、手すり柱に取付けてください。

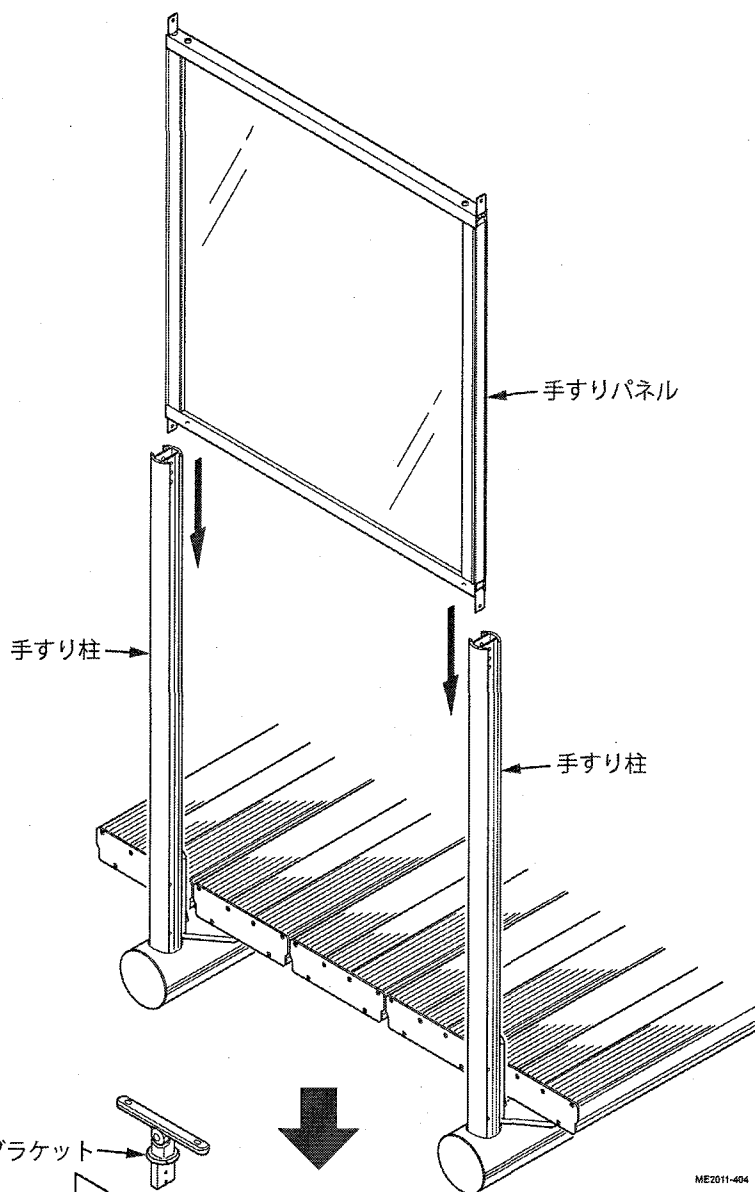


左右の手すり柱のミゾの間に納まるように、上から取付けてください。



取付けの際、上部下段のビスは笠木ブラケットと共締めしてください。

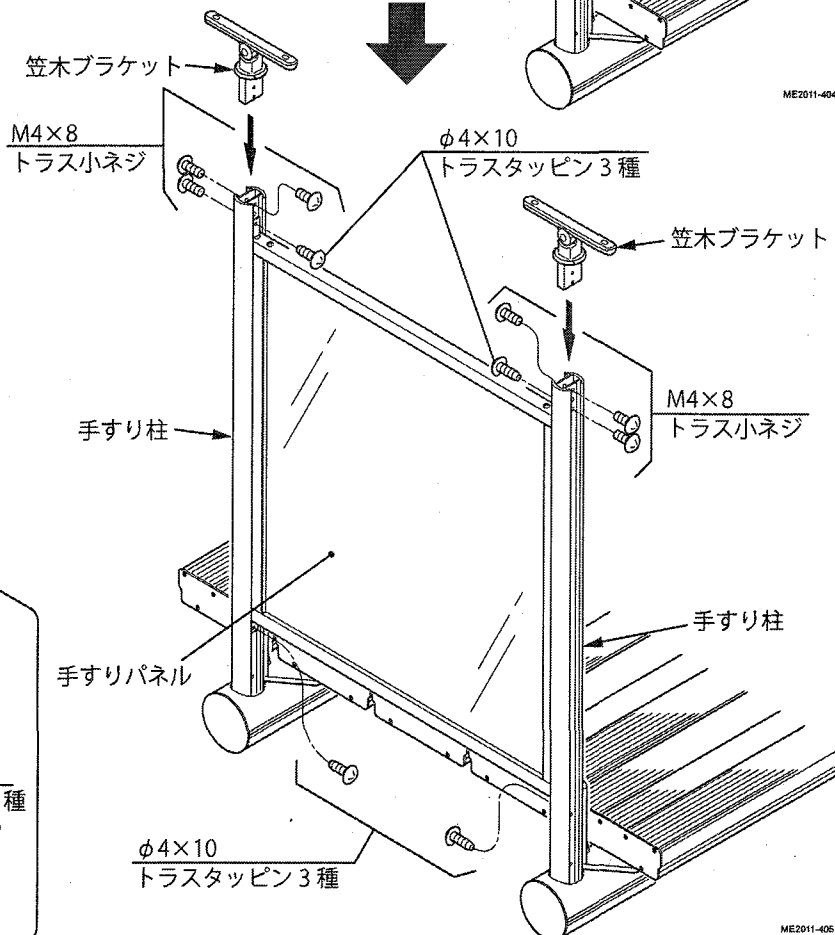
④再度、笠木ブラケットを手すり柱に取付けてください。



ME2011-404

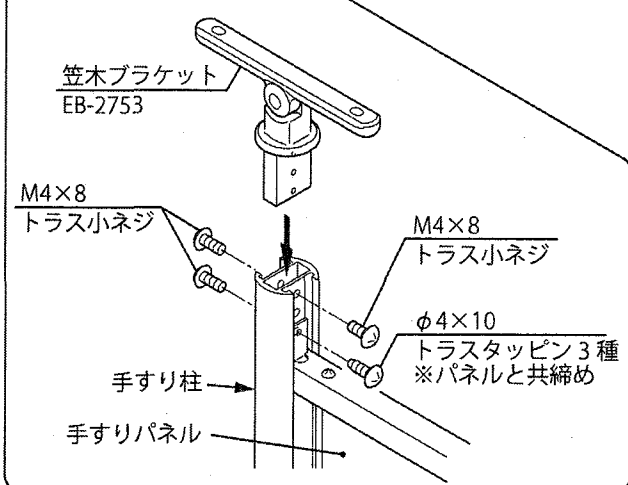


- 取付ビス
 - ・笠木ブラケット
 - ：M4×8 トラス小ネジ
 - ・手すりパネル
 - ：φ4×10 トラストッピン 3 種
 - ※笠木ブラケットとの共締め含む



ME2011-405

●取付部詳細図



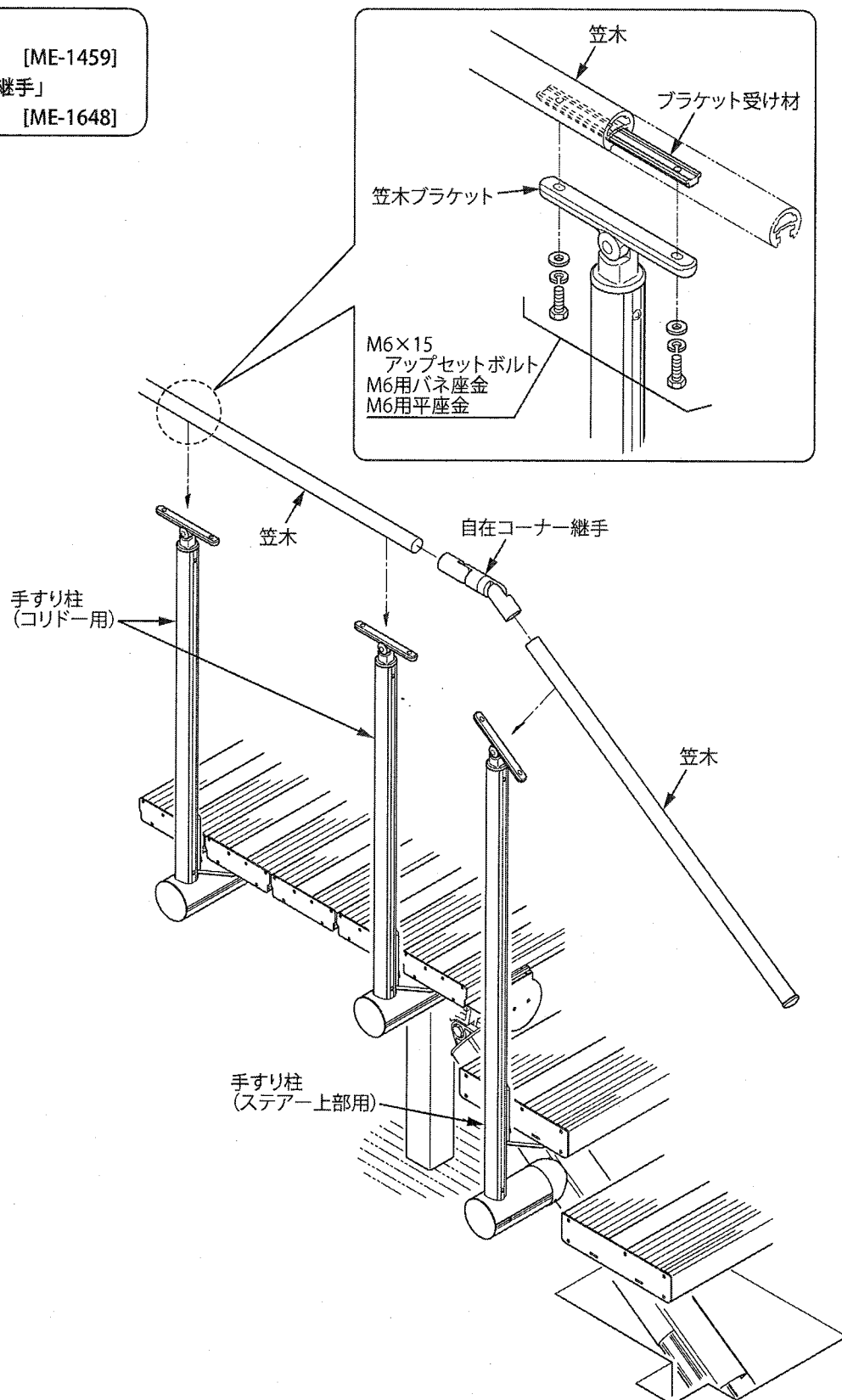
4-3 笠木の取付け

①手すりおよび継手に梱包されている取付説明書を参照して、手すりを手すり柱に取付けてください。



参照取付説明書

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]



ME2011-408

4-4 ワイヤーの取付け (※コリドー用の場合)



- ワイヤーを取付ける場合に参照してください。
 - ここではコリドー用の取付けを説明しています。
- ※ステアー用の場合は、後工程「4-6.」で行います。



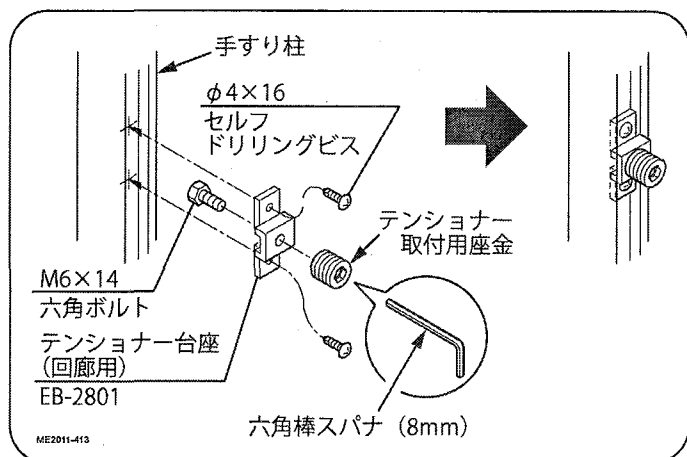
施工前に、笠木の取付けを完了させてください。

①テンショナー取付用座金を、テンショナー台座 (回廊用) に取付けてください。



- ワイヤーは最大3スパン分まで取付けが可能です。
- その場合は、両端の手すり柱に一对のロープテンショナーを取付け、中間の手すり柱および手すり柱カバーには、 $\phi 8\text{mm}$ の下孔をあけてワイヤーを通してください。

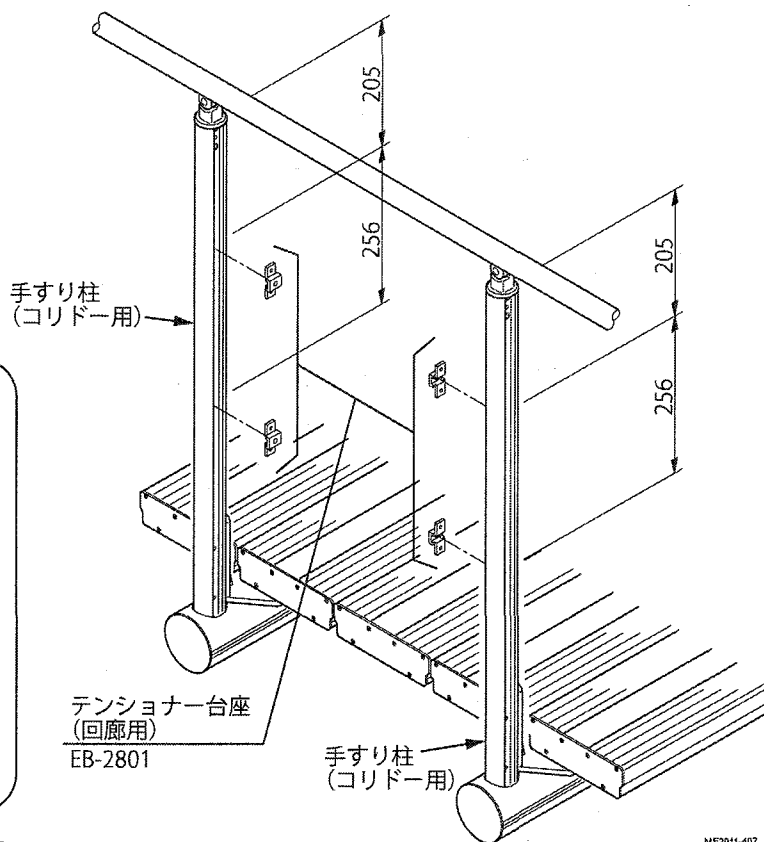
②テンショナー台座 (回廊用) を手すり柱に取付けてください。



ME2011-413



テンショナー取付用座金の締付けには六角棒スパナ (8mm) を使用してください。



ME2011-407

③ワイヤーを手すり柱に張ってください。

ワイヤーの張り方

※本図はコリドー用の場合を示しています。
※ステアー用も同様の手順で施工してください。

A. ワイヤーをロープテンショナー (RTS) に通してください。



ワイヤーの切断は、ワイヤーカッターを使用してください。

必ず、ワイヤーは先にロープテンショナー (RTS) に通してください。

B. ロープテンショナー (RTS) をテンショナー取付座金に仮固定してください。



取付けの左右の区別はありません。

C. ロープテンショナー (RTC) を、もう片方のテンショナー取付座金に仮固定してください。



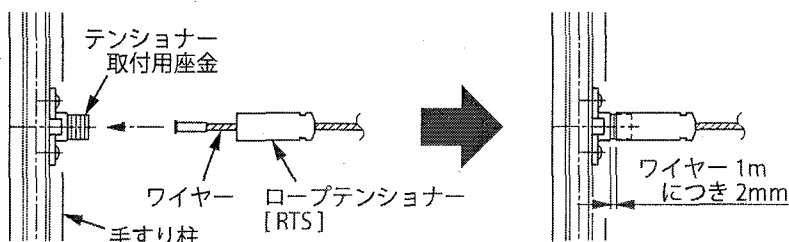
- ロープテンショナーは、RTS と RTC で一対となります。
- 必ず、RTS と RTC は同じ高さの座金に取付けてください。

D. RTC 側のワイヤーの端部を、右図の寸法で切断してください。

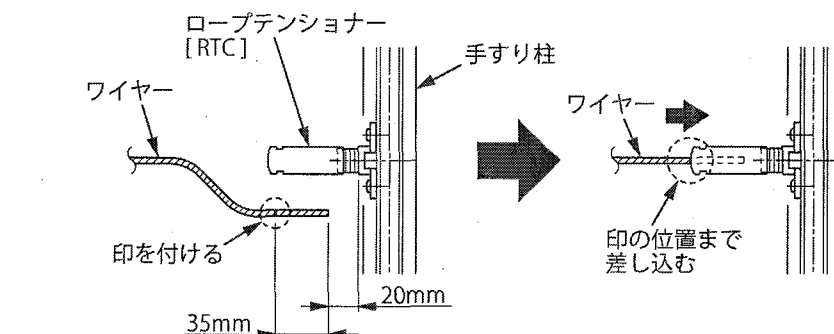
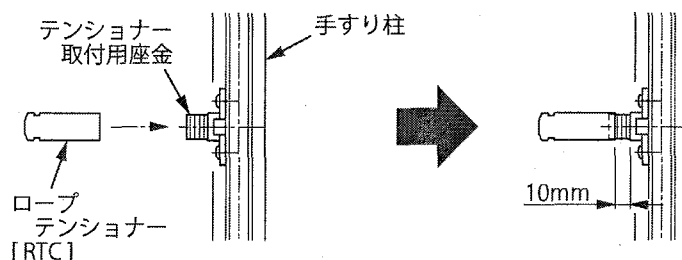
E. 切断部より 35mm の位置に、マジックなどで印をつけてください。

F. ワイヤーを、印をつけた箇所までロープテンショナー (RTC) に差し込んでください。

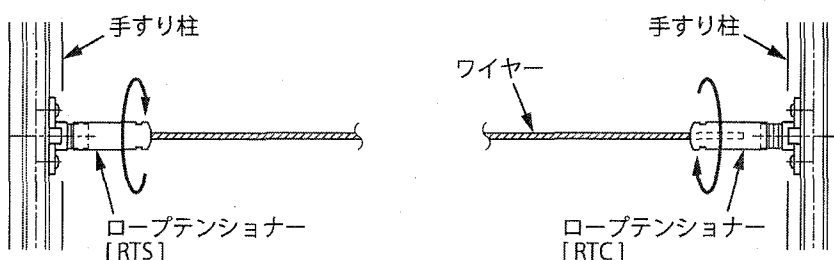
● RTS 側 (中にバネのある側)



● RTC 側



● RTS 側



G. RTC 側→ RTS 側の順で、それぞれのロープテンショナーを専用スパナでいっぱいまで締め込んでください。



必ず、RTS 側→ RTC 側の順で締め込んでください。

ワイヤーの外し方

※本図はコリドー用の場合を示しています。
※ステアー用も同様の手順で施工してください。

H. ロープテンショナー (RTC) を専用スパナで緩めてください。

I. ロックフリーを、ロープ差込み口より矢印方向に差込みながらロープを抜いてください。

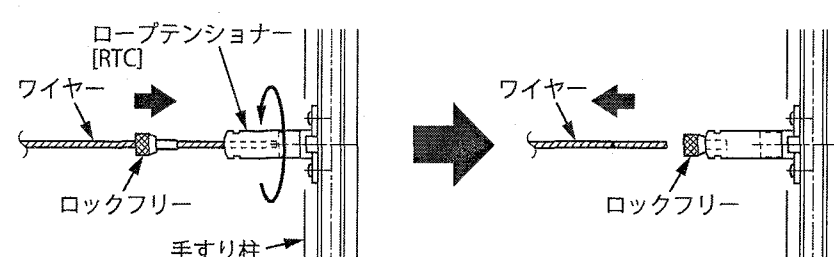


再度ワイヤーを取付ける場合は、「ワイヤーの張り方」と同様の手順です。



施工完了後、専用スパナ・ロックフリーは施主様にお渡しください。

● RTC 側



4-5 階段の設置 (※手すりを取付ける場合)



手すりを階段に取付けた場合に参照してください。

①現場状況に合わせて、手すり柱 (ステアー下部用) の設置位置を確認してください。



●必ず、取付済みの手すり柱と一直線上に配置してください。

●笠木との高さを正確に合わせてください。

※正確に合わせないと、笠木の取付不良の原因となります。

②階段および手すり柱 (ステアー下部用) を、コンクリートで固定してください。



●踏板の高さとレベルを正確に合わせてください。

●階段桁の傾斜角度は 35° (角度一定) です。



地下埋設物 (給排水管等) に影響を及ぼさないように、桁位置を決めてください。

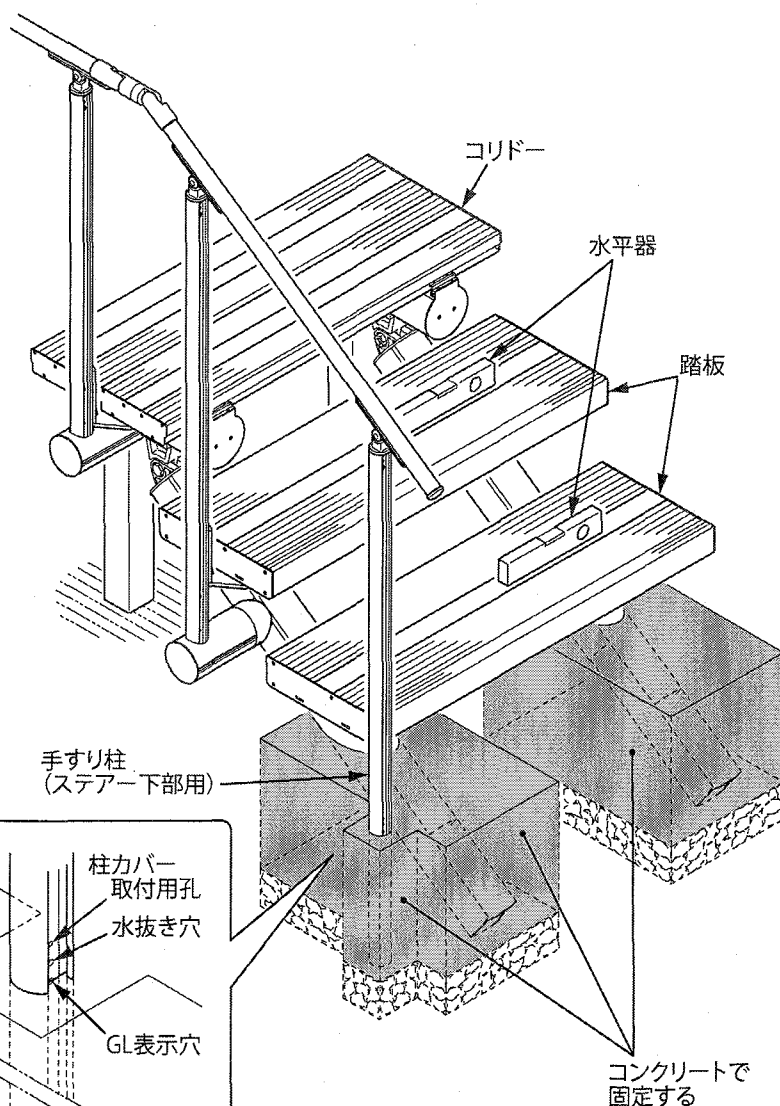


GL 表示穴を目安にしてください。



水抜き穴をふさがないようにしてください。

※凍結破損の原因になります。



4-6 ワイヤの取付け (※ステアー用の場合)



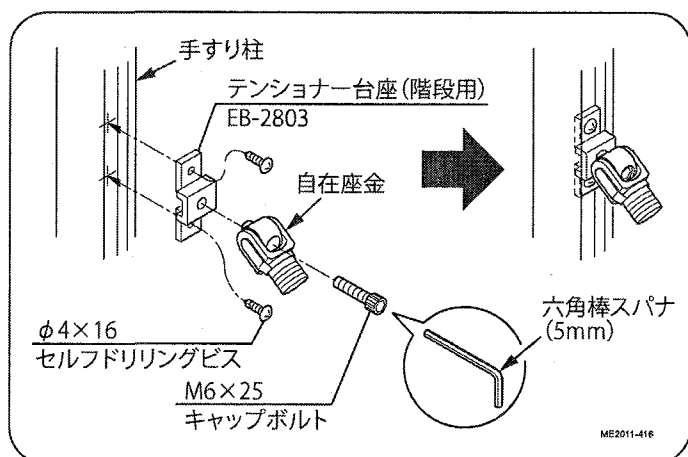
- ワイヤーを取付ける場合に参照してください。
- ここではステアー用の取付けを説明しています。



施工前に、笠木の取付けおよび階段の設置を完了させてください。

①自在座金を、テンショナー台座 (階段用) に取付けてください。

②テンショナー台座 (階段用) を手すり柱に取付けてください。

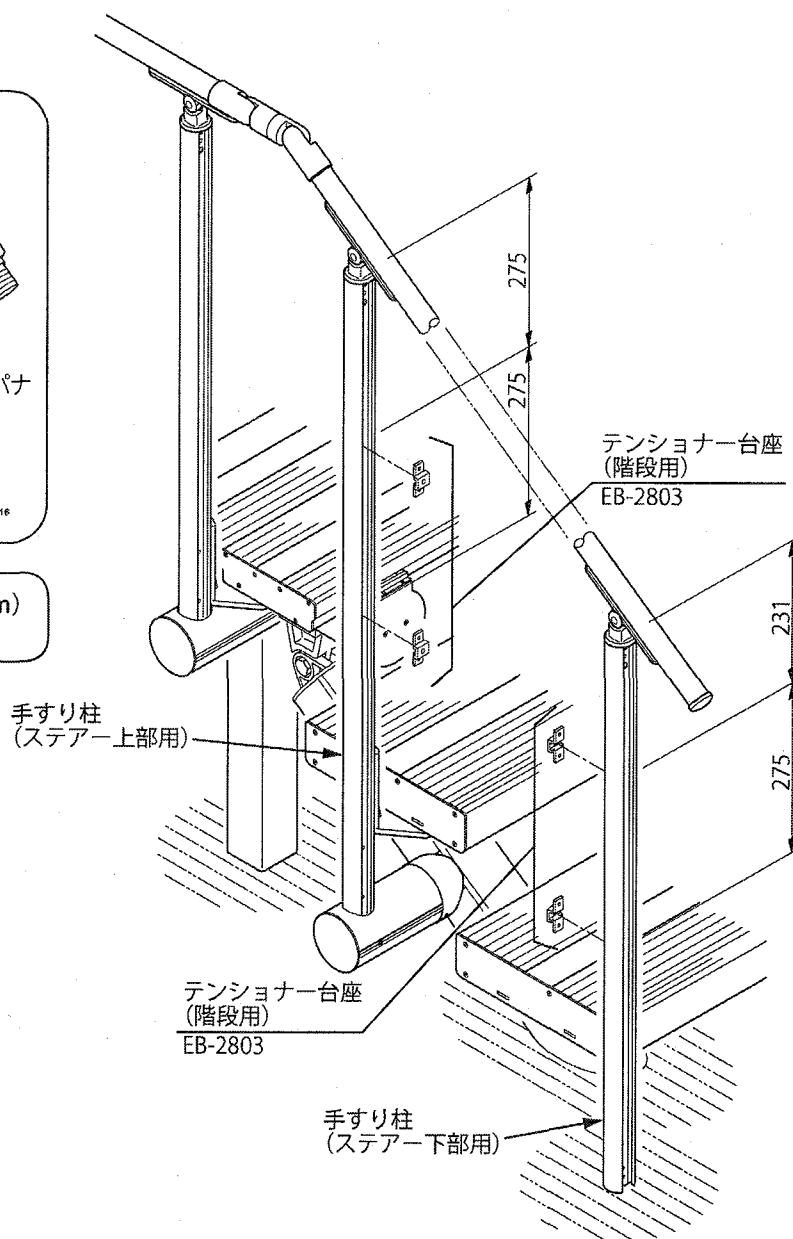


キャップボルトの締付けには六角棒スパナ (5mm) を使用してください。

③ワイヤーを手すり柱に張ってください。



57 ページの「ワイヤーの張り方」を参照し、同様の手順でワイヤーを張ってください。



4-7 手すり柱カバーの取付け

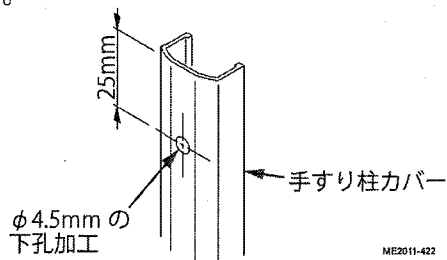
4-7-1 手すり柱カバーの加工



パネル・ワイヤーを取付ける場合は、手すり柱カバーを切詰めてください。

- ①手すり柱カバーを、右図を参照して切断してください。
- ②切断側の手すり柱カバーの端部に、下孔をあけてください。

●下孔加工



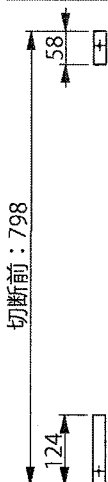
ME2011-422



ワイヤーを2スパン以上分取付ける場合は、合わせてワイヤーを通す位置にφ8mmの下孔をあけてください。
※詳細は「4-4.」参照

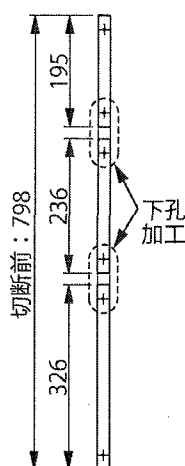
●パネル

コリドー用

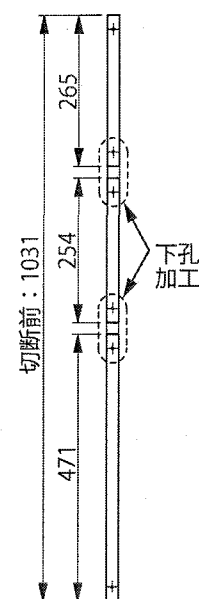


●ワイヤー

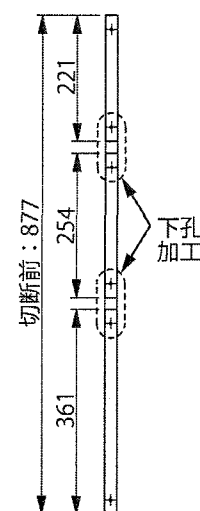
コリドー用



ステアー上部用



ステアー下部用



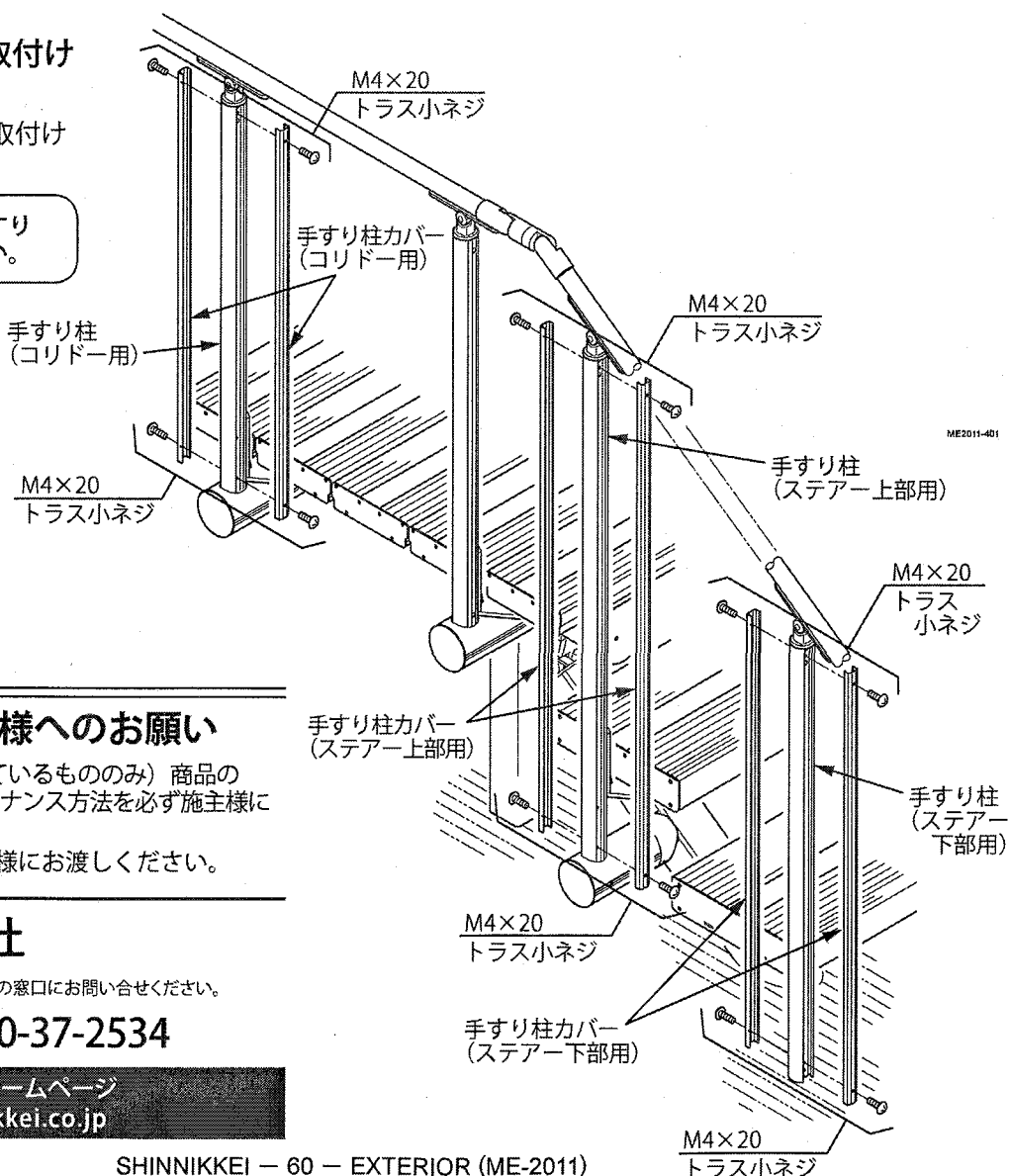
ME2011-421

4-7-2 手すり柱カバーの取付け

- ①手すり柱カバーを、手すり柱に取付けてください。



同様の手順で、全ての手すり柱カバーを取付けてください。



ME2011-401

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室 0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ
<http://www.shinnikkei.co.jp>